

資料名 PDFの目次（しおり）にて、資料名をクリックすると該当ページを閲覧できます。

1-2-2_教員の年齢別・性別内訳
1-3-1_教員組織と教育組織の対応表
1-3-2_規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧
1-3-3_規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧
2-1-1_内部質保証に係る責任体制等一覧
2-1-2_教育研究上の基本組織一覧
2-1-3_質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧
2-1-4_研究活動等の質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧
2-2-2_教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧
2-2-3_自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧
2-2-4_意見聴取の実施時期、内容等一覧
2-2-5_検討、立案、提案の責任主体一覧
2-2-6_実施の責任主体一覧
2-3-1_計画等の進捗状況一覧
2-5-1_教員の採用・昇任の状況(過去5年分)
2-5-2_教員業績評価の実施状況
2-5-3_評価結果に基づく取組
2-5-4_FDの内容・方法及び実施状況一覧
2-5-5_教育支援者、指導補助者（教育補助者）一覧
2-5-6_教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧
3-1-2_予算・決算の状況(過去5年間分)が分かる資料
3-2-2_法令遵守事項、危機管理体制等一覧
3-2-3_研究の実施に関する方針等一覧、研究の支援・推進制度等一覧
3-3-1_事務組織一覧
3-3-2_教育の国際化を推進する組織一覧
3-4-1_教職協働の状況
3-4-2_SDの内容・方法及び実施状況一覧
3-6-1_法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧
4-1-1_夜間の授業又は2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧
4-1-2_附属施設等一覧
4-1-3_施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況及び安全・防犯面への配慮状況
4-1-6_自主的学習環境整備状況一覧
4-1-7_研究環境整備状況一覧
4-1-8_社会からの期待に対応して行う活動一覧
4-2-1_相談・助言体制等一覧
4-2-2_課外活動に係る支援状況一覧
4-2-3_留学生への生活支援の内容及び実施体制
4-2-4_障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制
4-2-5_経済的支援の整備状況、利用実績一覧

資料名 PDFの目次（しおり）にて、資料名をクリックすると該当ページを閲覧できます。

5-2-1_入学者選抜の方法一覧

6-4-4_教育上主要と認める授業科目

6-5-1_履修指導の実施状況

6-5-2_学習相談の実施状況

6-5-3_社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組

6-5-4_履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況

6-5-5_国内学生海外派遣実績

6-8-1_標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）

6-8-2_就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況

認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1(改正後基準)

認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式2

基準1-2 教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること

分析項目1-2-2 教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと

【分析の手順】

・教育研究上の基本組織ごとに、教員の年齢及び性別の構成を職階別に確認する。

・教員の年齢別・性別内訳（別紙様式1-2-2）

所属	職名	人数	内訳						
			性別		年齢				
			男性	女性	～34歳	35～ 44歳	45～ 54歳	55～ 64歳	65歳～
人文社会科学部	教授	19	15	4			9	10	
	准教授	26	23	3		6	14	6	
	講師	2	2				1	1	
	助教	15	9	6	7	6	1	1	
		0							
	計	62	49	13	7	12	25	18	0
	%		79.0%	21.0%	11.3%	19.4%	40.3%	29.0%	0.0%

人文社会科学研究科	教授	13	11	2			5	8	
	准教授	20	18	2		3	11	6	
	講師	1	1				1		
	助教	13	7	6	6	5	1	1	
		0							
	計	47	37	10	6	8	18	15	0
	%		78.7%	21.3%	12.8%	17.0%	38.3%	31.9%	0.0%

教育学部	教授	24	20	4			8	16	
	准教授	25	18	7		4	15	6	
	講師	5	4	1		2	3		
	助教	12	8	4	5	6	1		
		0							
	計	66	50	16	5	12	27	22	0
	%		75.8%	24.2%	7.6%	18.2%	40.9%	33.3%	0.0%

教育学研究科	教授	24	19	5			4	20	
	准教授	15	12	3		3	8	4	
	講師	2	1	1			2		
	助教	7	2	5	2	4	1		
		0							
	計	48	34	14	2	7	15	24	0
	%		70.8%	29.2%	4.2%	14.6%	31.3%	50.0%	0.0%

医学部 (医学科)	教授	40	38	2		1	11	27	1
	准教授	33	30	3		1	23	9	
	講師	17	16	1		8	6	3	
	助教	63	49	14	11	36	12	4	
		0							
	計	153	133	20	11	46	52	43	1
	%		86.9%	13.1%	7.2%	30.1%	34.0%	28.1%	0.7%

医学部 (保健学科)	教授	23	14	9			5	18	
	准教授	13	8	5		3	8	2	
	講師	9	6	3		1	6	2	
	助教	30	14	16	8	18	4		
		0							
	計	75	42	33	8	22	23	22	0
	%		56.0%	44.0%	10.7%	29.3%	30.7%	29.3%	0.0%

医学部 (心理支援科学科)	教授	5	2	3		1	1	3	
	准教授	4	2	2		1	1	2	
	講師	0							
	助教	1		1	1				
		0							
	計	10	4	6	1	2	2	5	0
	%		40.0%	60.0%	10.0%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%

医学研究科	教授	39	37	2	1	11	26	1	
	准教授	25	23	2	1	16	8		
	講師	0							
	助教	0							
		0							
	計	64	60	4	2	27	34	1	0
	%		93.8%	6.3%	3.1%	42.2%	53.1%	1.6%	0.0%

保健学研究科 保健学専攻 (博士前期課程)	教授	27	18	9			7	20	
	准教授	15	9	6		4	9	2	
	講師	7	5	2		1	4	2	
	助教	11	8	3	1	10			
		0							
	計	60	40	20	1	15	20	24	0
	%		66.7%	33.3%	1.7%	25.0%	33.3%	40.0%	0.0%

保健学研究科 保健学専攻 (博士後期課程)	教授	28	19	9			7	21	
	准教授	10	8	2		3	7		
	講師	2	2			1	1		
	助教	4	4			4			
		0							
	計	44	33	11	0	8	15	21	0
	%		75.0%	25.0%	0.0%	18.2%	34.1%	47.7%	0.0%

保健学研究科 心理支援科学専攻 (修士課程)	教授	5	2	3		1	1	3	
	准教授	4	2	2		1	1	2	
	講師	0							
	助教	0							
		0							
	計	9	4	5	0	2	2	5	0
	%		44.4%	55.6%	0.0%	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%

理工学部	教授	44	43	1		1	13	30	
	准教授	36	31	5		8	17	11	
	講師	3	3					3	
	助教	22	18	4	12	10			
		0							
	計	105	95	10	12	19	30	44	0
	%		90.5%	9.5%	11.4%	18.1%	28.6%	41.9%	0.0%

理工学研究科 (博士前期課程)	教授	43	42	1		1	13	29	
	准教授	32	28	4		7	14	11	
	講師	3	3					3	
	助教	20	17	3	10	10			
		0							
	計	98	90	8	10	18	27	43	0
	%		91.8%	8.2%	10.2%	18.4%	27.6%	43.9%	0.0%

理工学研究科 (博士後期課程)	教授	46	45	1		1	14	31	
	准教授	33	29	4		8	17	8	
	講師	0							
	助教	9	8	1	2	7			
		0							
	計	88	82	6	2	16	31	39	0
	%		93.2%	6.8%	2.3%	18.2%	35.2%	44.3%	0.0%

農学生命科学部	教授	27	25	2			11	16	
	准教授	30	28	2		6	20	4	
	講師	0							
	助教	16	11	5	7	6	1	2	
		0							
	計	73	64	9	7	12	32	22	0
	%		87.7%	12.3%	9.6%	16.4%	43.8%	30.1%	0.0%

農学生命科学研究科	教授	21	19	2			8	13	
	准教授	24	22	2		5	16	3	
	講師	0							
	助教	15	11	4	7	5	1	2	
		0							
	計	60	52	8	7	10	25	18	0
	%		86.7%	13.3%	11.7%	16.7%	41.7%	30.0%	0.0%

地域社会研究科	教授	21	18	3			10	11	
	准教授	7	7			3	3	1	
	講師	1	1			1			
	助教	0							
		0							
	計	29	26	3	0	4	13	12	0
	%		89.7%	10.3%	0.0%	13.8%	44.8%	41.4%	0.0%

地域共創科学研究科	教授	24	22	2			12	12	
	准教授	25	22	3		5	17	3	
	講師	0							
	助教	8	6	2	3	4	1		
		0							
	計	57	50	7	3	9	30	15	0
	%		87.7%	12.3%	5.3%	15.8%	52.6%	26.3%	0.0%

※学部・研究科ごとに算出してください。

※算出にあたっては、認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1の「教員組織」のデータと整合性をとってください。

基準 1 - 3 教育研究活動を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目 1 - 3 - 1 教員の組織的な役割分担の下で、教育研究に係る責任の所在が明確になっていること

【分析の手順】

- ・教員の所属する教員組織（学部・研究科等又は研究院等）及び学部・研究科等における教育の担当の状況について確認する。
- ・学部と大学院それぞれの教員組織における責任体制（学部であれば学部長、学科であれば学科長あるいは学科主任等）についても確認する。
- ・教員組織と教育組織の対応表（別紙様式 1 - 3 - 1）

教員組織	主に対応する教育組織		根拠資料
	学士課程	大学院課程	
人文社会科学部	人文社会科学部	人文社会科学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 3 条、第 4 条 弘前大学教員組織規程第 3 条
教育学部	教育学部	教育学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 3 条、第 4 条 弘前大学教員組織規程第 3 条、第 4 条
医学研究科	医学部医学科	医学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 3 条、第 4 条 弘前大学教員組織規程第 4 条～第 6 条 国立大学法人弘前大学寄附講座及び寄附研究部門規程第 9 条 国立大学法人弘前大学共同研究講座及び共同研究部門規程第 11 条
保健学研究科	医学部保健学科 医学部心理支援科学科	保健学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 3 条、第 4 条 弘前大学教員組織規程第 4 条
理工学研究科	理工学部	理工学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 3 条、第 4 条 弘前大学教員組織規程第 4 条、第 6 条 国立大学法人弘前大学共同研究講座及び共同研究部門規程第 11 条

教員組織	主に対応する教育組織		根拠資料
	学士課程	大学院課程	
農学生命科学部	農学生命科学部	農学生命科学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 3 条、第 4 条 弘前大学教員組織規程第 3 条
地域社会研究科		地域社会研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 4 条 弘前大学教員組織規程第 4 条
地域共創科学研究科		地域共創科学研究科	国立大学法人弘前大学管理運営規則第 4 条 弘前大学教員組織規程第 4 条

基準 1 - 3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目 1 - 3 - 2 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること

【分析の手順】

- ・教授会等（教育活動に係る重要事項を審議するための組織）について、構成、責任体制及び審議事項、権限委任事項等を確認する。
- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績を確認する。

※教育活動に係る重要な審議事項とは、学校教育法第 93 条第 2 項に定めるものをいう。

- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式 1 - 3 - 2）

会議等名称	規定上の開催頻度	前年度における開催実績
人文社会科学部教授会	原則月 1 回	13 回
大学院人文社会科学研究科委員会	開催頻度の定め無し	12 回
教育学部教授会	原則月 1 回	13 回
大学院教育学研究科委員会	(定めなし)	13 回
医学科会議	原則月 1 回	14 回
大学院医学研究科教授会	(定めなし)	15 回
保健学科会議	原則月 1 回	12 回
心理支援科学科会議	原則月 1 回	12 回
大学院保健学研究科教授会	原則月 1 回	11 回
大学院保健学研究科博士前期課程会議	原則月 1 回	12 回
大学院保健学研究科博士後期課程会議	原則月 1 回	9 回
理工学部教授会	原則月 1 回	12 回
大学院理工学研究科教授会	(定めなし)	12 回

別紙様式 1 - 3 - 2

弘前大学

会議等名称	規定上の開催頻度	前年度における開催実績
農学生命科学部教授会	原則月 1 回	13 回
大学院農学生命科学研究科教授会	(定めなし)	11 回
大学院地域社会研究科教授会	(定めなし)	13 回
大学院地域共創科学研究科教授会	(定めなし)	13 回

基準 1-3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目 1-3-3 全学的見地から、学長若しくは副学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が機能していること

【分析の手順】

- ・教育研究活動について全学的に審議し又は実施する組織については、構成、責任体制及び審議事項、権限委任事項等を確認する。
- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績を確認する。

※教育研究活動について全学的に審議し又は実施する組織とは、教育研究評議会（国立大学）、教育研究審議機関（公立大学）、全学教務委員会、教育改革推進機構等を指す。

- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式 1-3-3）

会議等名称	規定上の開催頻度	前年度における開催実績
教育研究評議会	特に定めなし	12回
教育推進機構会議	特に定めなし	8回
教育委員会	特に定めなし	13回

基準 2 - 1 【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 1 大学等の教育研究活動等の質及び学生の学習成果の水準について、継続的に維持、向上を図ることを目的とした全学的な体制（以下「機関別内部質保証体制」という。）を整備していること

【分析の手順】

- ・該当する体制に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）が定められていることを確認する。
- ・該当する体制において、教育研究活動等及び各教育課程について責任をもつ者（学部長や研究科長等。分析項目 2 - 1 - 2 との関連に留意）と上記責任者との情報共有の形態（委員会やセンターのような組織の名称と体制。複数の組織が共同して行う場合には複数の組織名称を記載）を確認する。

※内部質保証：「大学等が、自らの責任で自学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を基に改革・改善に努め、それによってその質を自ら保証すること」（大学改革支援・学位授与機構『高等教育に関する質保証関係用語集第 5 版』）。

・内部質保証に係る責任体制等一覧（別紙様式 2 - 1 - 1）

確認すべき要素	大学における状況	根拠規定
(1) 中核となる委員会等の名称	役員会 教育研究評議会	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価 規程第 8 条、第 9 条
(2) 統括責任者	学長	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価 規程第 3 条
(3) 自己点検・評価の責任者	理事及び部局長	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価 規程第 4 条～第 6 条、
(4) 改善・向上活動の責任者	理事及び部局長	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価 規程第 4 条、第 5 条、第 9 条
(5) 委員会等の構成員	<役員会> 学長及び理事	国立大学法人弘前大学管理運営規則 第 32 条

確認すべき要素	大学における状況	根拠規定
	<p><教育研究評議会></p> <p>(1)学長</p> <p>(2)学長が指名する理事</p> <p>(3)副学長（前号の理事が兼ねる副学長を除く。）</p> <p>(4)人文社会科学部，教育学部及び農学生命科学部並びに大学院医学研究科，保健学研究科及び理工学研究科並びに医学部附属病院の長</p> <p>(5)大学院地域社会研究科長及び地域共創科学研究科長</p> <p>(6)各研究所長</p> <p>(7)附属図書館長</p> <p>(8)学長が指名する教員</p> <p>(9)学長が指名する教員以外の職員</p>	<p>国立大学法人弘前大学管理運営規則 第 53 条</p>

※複数の組織が共同して行う場合には、相互の関係が根拠資料から分析可能であること。

基準 2 - 1 【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 2 それぞれの教育研究上の基本組織が、教育課程について責任をもつように質保証の体制が整備されていること

【分析の手順】

- ・教育研究上の基本組織と教育課程との関係を確認する。
- ・共同教育課程、国際連携教育課程として設置された教育研究上の基本組織の場合は、当該教育課程に係る全体としての教育研究活動の状況を示す報告書を確認する。
- ・教育研究上の基本組織一覧（別紙様式 2 - 1 - 2）

組織番号	教育研究上の基本組織	組織等の長	教育課程	教育課程ごとの質保証の責任者	備考
01	人文社会科学部	人文社会科学部長	文化創生課程	人文社会科学部長	
//	//	//	社会経営課程	//	
02	人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	人文社会科学専攻	人文社会科学研究科長	
03	教育学部	教育学部長	学校教育教員養成課程初等中等教育専攻 小学校コース	教育学部長	
//	//	//	学校教育教員養成課程初等中等教育専攻 中学校コース	//	
//	//	//	学校教育教員養成課程特別支援教育専攻	//	
//	//	//	養護教諭養成課程	//	
04	教育学研究科	教育学研究科長	教職実践専攻	教育学研究科長	
05	医学部	医学部長	医学科	医学部長	
//	//	//	保健学科	医学部保健学科長	

組織番号	教育研究上の基本組織	組織等の長	教育課程	教育課程ごとの 質保証の責任者	備考
//	//	//	心理支援科学科	医学部心理支援科学科長	
06	医学研究科	医学研究科長	医科学専攻	医学研究科長	
07	保健学研究科	保健学研究科長	保健学専攻（博士前期課程）	保健学研究科長	
//	//	//	保健学専攻（博士後期課程）	//	
//	//	//	心理支援科学専攻（修士課程）	//	
08	理工学部	理工学部長	数物科学科	理工学部長	
//	//	//	物質創成化学科	//	
//	//	//	地球環境防災学科	//	
//	//	//	電子情報工学科	//	
//	//	//	機械科学科	//	
//	//	//	自然エネルギー学科	//	
09	理工学研究科	理工学研究科長	理工学専攻（博士前期課程）	理工学研究科長	
//	//	//	機能創成科学専攻（博士後期課程）	//	
//	//	//	安全システム工学専攻（博士後期課程）	//	
10	農学生命科学部	農学生命科学部長	生物学科	農学生命科学部長	
//	//	//	分子生命科学科	//	
//	//	//	食料資源学科	//	
//	//	//	国際園芸農学科	//	
//	//	//	地域環境工学科	//	
11	農学生命科学研究科	農学生命科学研究科長	農学生命科学専攻	農学生命科学研究科長	
12	地域社会研究科	地域社会研究科長	地域社会専攻	地域社会研究科長	
13	地域共創科学研究科	地域共創科学研究科長	地域リノベーション専攻	地域共創科学研究科長	

別紙様式 2 - 1 - 2

弘前大学

組織 番号	教育研究上の基本組織	組織等の長	教育課程	教育課程ごとの 質保証の責任者	備考
//	//	//	産業創成科学専攻	//	

- ※ 教養教育を実施する組織が、学部や研究科と同様、その質保証に責任をもっている場合は、この表に記載することができる。
- ※ 複数分野にまたがる教育課程を有し、その課程を教育研究上の基本組織とみなしている場合は、この表に記載することができる。
- ※ 組織番号は、領域6の資料名作成の際に利用します。

○学生募集を停止した教育研究上の基本組織（廃止した教育研究上の基本組織を含む。）

組織番号	教育研究上の基本組織	教育課程	備考
14	人文社会科学研究科	文化科学専攻	令和2年度学生募集停止 令和7年3月31日廃止
15	人文社会科学研究科	応用社会科学専攻	令和2年度学生募集停止 令和4年9月30日廃止
16	教育学研究科	学校教育専攻	令和2年度学生募集停止 令和6年3月31日廃止

※ 組織番号は、領域6の資料名作成の際に利用します。

基準 2 - 1 【重点評価項目】 内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 3 施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に関して質保証について責任をもつ体制を整備していること

【分析の手順】

- ・施設及び設備（情報関連施設設備及び図書館を含む。）の質保証に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・学生支援の質保証に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・学生の受入に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・機関別内部質保証体制と上記責任者との情報共有の形態（委員会やセンターのような組織の名称と体制。複数の組織が共同して行う場合はすべてを記載）を確認する。
- ・該当する体制（組織）の構成員を確認する。

※「管理運営等の質保証」については、基準 3 - 5 で確認する。

- ・質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧（別紙様式 2 - 1 - 3）

施設設備（情報関連施設設備及び図書館を含む。）

組織	責任者	活動の内容	構成員
安全衛生委員会	総括安全衛生管理者（理事（総務担当）、附属病院長）	各事業場の安全衛生に関すること	総括安全衛生管理者（理事（総務担当）、附属病院長）、衛生管理者の中から総括安全衛生管理者が指名した者、産業医の中から総括安全衛生管理者が指名した者、安全及び衛生に関する経験を有する者の中から総括安全衛生管理者が指名した者
環境安全推進本部	本部長（理事（総務担当））	大学の環境保全及び安全衛生管理に関すること	本部長（理事（総務担当））、副本部長（本部長が指名

組織	責任者	活動の内容	構成員
		施設・設備・環境の適切な整備に関すること	した者)、施設環境部長
情報連携統括本部	本部長（理事（企画担当））	情報環境・設備の整備に関すること	本部長（理事（企画担当））、 副本部長（情報基盤センター長）1名、副本部長（総務部長）1名、兼任教員3名、広報・情報戦略課事務職員5名、技術職員4名、事務補佐員2名
附属図書館	附属図書館長	附属図書館の管理運営に関すること	附属図書館長、副館長、運営委員会委員、図書館事務部職員

学生支援

組織	責任者	活動の内容	構成員
教育委員会	理事（教育担当）	理事（教育担当）が所掌する教育・学生に関すること について必要な事項の審議	理事（教育担当）、人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部並びに大学院医学研究科、保健学研保健管理センター学術科及び理工学研究科の長より推薦された教員各1名、学務部長、学務部教務課長、学務部学生課長、学務部入試課長、理事（教育担当）が指名する職員
教育推進機構学生特別支援室	室長：教育推進機構長が指名する者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害学生（当該学生に係る職員・家族等を含む）からの相談に関すること。 ・ 障害学生への合理的配慮の提供に関すること。 ・ 障害学生の修学及び学生生活に係る連絡調整に関すること。 ・ 障害学生支援の啓発に関すること。 	室長、副室長、教育推進機構から指名された者、保健管理センター所長から推薦された者、その他室長が必要と認めた職員
教育推進機構学生修学支援室	室長：教育推進機構長が指名する者	・ 修学支援学生の修学上の相談に関すること。	室長、副室長、人文社会科学部、教育学部及び農学生

組織	責任者	活動の内容	構成員
	る者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学支援学生の相談に係る調査・分析及び統計に関すること。 ・ 修学支援学生の修学及び学生生活に係る連絡調整に関すること。 	命科学部並びに大学院医学研究科、保健学研究科及び理工学研究科から選出された教員、教育推進機構長から指名された者
保健管理センター	保健管理センター所長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健管理に関する専門的な調査、研究 ・ 保健管理に関する計画の企画、立案及び実施 ・ 定期及び臨時の健康診断、健康指導及び精神衛生管理の実施 ・ 健康診断の事後措置、その他健康の保持増進に関する指導 ・ 精神的、身体的健康相談 ・ 応急処置等の実施 ・ 保健衛生に関する知識の普及、啓発 ・ 予防接種その他の伝染病対策 ・ 環境衛生に関する指導及び援助 	所長、専任教員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、カウンセラー、その他の職員
教育推進機構キャリアセンター	センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育 ・ 就職・キャリア相談 ・ 就職支援 	センター長、副センター長、専任教員、兼任教員、キャリアアドバイザー、その他センター長が必要と認めた職員
教育推進機構キャリアセンター会議	センター長	キャリアセンターで行うキャリア教育、就職・キャリア相談及び就職支援等に係る各種業務に関する事項の審議	センター長、副センター長、専任教員、兼任教員、就職支援室長、キャリアアドバイザー、その他センター長が必要と認めた者
国際連携本部	国際連携本部長	本学学生の留学に係る修学上及び生活上の指導助言に関すること	本部長、副本部長、部門長、専任教員、本部長が指名する教員（兼任教員）

組織	責任者	活動の内容	構成員
		<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生に対する日本語及び日本事情の教育並びに修学及び生活に係る指導助言に関すること ・外国人留学生の交流に関すること 	

学生受入

組織	責任者	活動の内容	構成員
教育推進機構アドミッションセンター	センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前大学の入学者受入方針に応じた優れた入学者の確保及び質保証のための入学者選抜方法等に関する調査研究及び企画立案並びに入試広報に関する企画立案及び実施 ・センターに、調査研究部門及び入試広報部門を設置 	専任教員、兼任教員、その他センター長が必要と認めた職員
入学試験委員会	学長	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の基本方針、試験の実施等に関する審議 ・入学者の選抜選考に関する審議（※入学者選抜選考委員会の議決をもって入学試験委員会の議決とする） ・大学入試センター試験の実施に関する審議 ・その他入学試験の重要事項及び質保証に関する審議 	学長、理事(教育担当)、各学部長、医学部保健学科長、地域社会研究科長、地域共創科学研究科長、学部及び大学院研究科の入学試験委員会委員のうちから各1名、保健管理センター所長、学務部長、入試課長
入学者選抜改革検討委員会	理事（教育担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜方法に関する質保証を行うため、入学者選抜試験における多様な能力を評価する個別選抜の方法を検討し、入学者選抜の改革案を策定 	理事（教育担当）、教育推進機構アドミッションセンター長、各学部長、医学部保健学科長、各学部及び医学部保健学科の教員各1名、教育推進機構アドミッションセンターの専任教員、学務部長、学務部入試課長

基準 2 - 1 【重点評価項目】 内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 4 研究活動、地域貢献活動又は教育の国際化の組織的取組が行われている場合には、その質保証について責任をもつ体制を整備していること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

- ・ 研究活動の組織的取組の質保証に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・ 地域貢献活動の組織的取組の質保証に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・ 教育の国際化の組織的取組に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・ 機関別内部質保証体制と上記責任者との情報共有の形態（委員会やセンターのような組織の名称と体制。複数の組織が共同して行う場合はすべてを記載）を確認する。
- ・ 該当する体制（組織）の構成員を確認する。

※ この分析項目は、研究活動、地域貢献活動、教育の国際化の組織的取組の各項目の内容を十分に実現している場合に限り、それぞれ分析する。

- ・ 研究活動、地域貢献活動又は教育の国際化の組織的取組の質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧（別紙様式 2 - 1 - 4）

研究活動の組織的取組

組織	責任者	活動の内容	構成員
研究・イノベーション推進機構	理事（研究担当）	(1) 戦略的研究開発の推進に関すること。 (2) イノベーションの創出に関すること。 (3) 研究基盤支援の企画・立案に関すること。 (4) 戦略的知的資産経営に関すること。	(1) 機構長 (2) 副機構長 (3) センター長 (4) 部門長

組織	責任者	活動の内容	構成員
		(5) 研究推進のための外部資金の獲得に関する こと。 (6) 受託研究・受託事業・共同研究の推進に関する こと。 (7) 国内外企業との産学連携の推進に関する こと。 (8) 研究の国際化に関する こと。 (9) 研究微生物、動物実験、組換え DNA 実験及び安 全保障輸出管理に関する こと。 (10) 学術指導に関する こと。 (11) 共用機器基盤センターに関する こと。 (12) 研究・産学連携推進に係る内部質保証に関 する こと。 (13) その他研究戦略に関する こと。	(5) 兼任教員 (6) その他機構長が必要と認められた者
弘前大学研究委員会	理事（研究担当）	理事（研究担当）の所掌する職務に関し必要な事項を審議する。	(1) 理事（研究担当） (2) 人文社会科学部，教育学部及び農学生命科学部並びに大学院医学研究科，保健学研究科及び理工学研究科の長より推薦された教員 各1名 (3) 研究推進部長及び研究推進部研究推進課長 (4) 理事（研究担当）が指名する職員
地域戦略研究所	地域戦略研究所所長	①エネルギー材料工学の研究開発に関する こと。 ②エネルギー変換工学の研究開発に関する こと。 ③地球熱利用総合工学の研究開発に関する こと。 ④風力・海洋エネルギーの研究開発に関する こと。	専任教員、兼任教員、その他必要な職員

組織	責任者	活動の内容	構成員
		⑤食品の高付加価値化の研究開発に関すること。 ⑥水産資源の保全及び活用の研究開発に関すること。 ⑦新エネルギー分野及び食料科学分野における地域振興の研究開発に関すること。 ⑧新エネルギー分野及び食料科学分野における国際化の研究開発に関すること。 ⑨新エネルギー分野及び食料科学分野における地域の発展に資する調査, 分析, 提言及び企画立案に関すること。	
被ばく医療総合研究所	被ばく医療総合研究所長	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線（能）計測技術の開発、線量評価法の高度化及び標準化に関する研究 ・放射性核種の環境動態に関する研究 ・難分析放射性核種の新規化学的手法の開発に関する研究 ・染色体異常を用いた線量評価や発がんのメカニズム並びにリスク評価に関する研究 ・被ばく医療に関する基礎研究 ・共同利用、共同研究拠点活動 	(1) 所長 (2) 副所長 (3) 部門長 (4) 専任教員 (5) 兼任教員
被ばく医療連携推進機構	被ばく医療連携推進機構長	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・被ばく医療に係る人材育成に関すること。 ・被ばく医療の医療基礎研究に関すること。 ・環境放射線のモニタリング等に関すること。 ・放射線の健康相談等に関すること。 ・海外の被ばく医療研究施設との連携に関すること。 	(1) 機構長 (2) 副機構長 (3) 支援センター長及び教育センター長 (4) 部門長 (5) 兼任教員

組織	責任者	活動の内容	構成員
		・原子力規制庁事業に係る研修及びネットワーク構築に関すること。	(6) その他機構長が必要と認めた者
弘前大学人文社会科学部研究推進・評価委員会	委員長（学部長が指名する副学部長）	学部及び大学院人文社会科学研究科の研究推進等に関すること	(1)学部長が指名する副学部長 1名 (2)文化財論講座又は思想文芸講座から選出された教員 1名 (3)コミュニケーション講座又は国際社会講座から選出された教員 1名 (4)情報行動講座又はビジネスマネジメント講座から選出された教員 1名 (5)経済システム講座又は公共政策講座から選出された教員 1名 (6)人文・地域研究科事務長 (7)その他学部長が指名する教員
医学研究科運営会議	医学研究科長	・管理運営上必要と認められる重要事項の審議	医学研究科教授 10 名、事務職員 2 名

地域貢献活動の組織的取組

組織	責任者	活動の内容	構成員
地域創生本部	理事（社会連携担当）	・地域活性化に関する施策の基本方針を策定し、当該施策を総括 ・地域活性化施策の内部質保証に関する業務	(1)学長 (2)理事 (3)人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部並びに大学院医学研究科、保健学研究科、理工学研究科、地域社会研究科及び地域共創科学研究科の

組織	責任者	活動の内容	構成員
			長 (4)医学部附属病院長 (5)各研究所（被ばく医療総合研究所及び地域戦略研究所）長 (6)附属図書館長 (7)その他学長が必要と認めた者
地域戦略研究所	地域戦略研究所所長	新エネルギー分野及び食料科学分野における地域の発展に資する調査，分析，提言及び企画立案に関すること	専任教員、兼任教員、その他必要な職員
被ばく医療総合研究所	被ばく医療総合研究所所長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浪江町復興支援事業活動 ・ リスクコミュニケーション拠点活動 ・ 履修証明プログラム（リカレント教育・弘前大学災害対応マネージャー）の開講 ・ 履修証明プログラム（リカレント教育・災害支援医療従事者養成講座）の開講 ・ 災害医療セミナー ・ 原子力災害医療人材研修活動 ・ 高大連携公開講座の開設 ・ 原子力災害拠点病院に対する支援や関連機関とのネットワークの構築 	(1) 所長 (2) 副所長 (3) 部門長 (4) 専任教員 (5) 兼任教員
被ばく医療連携推進機構	被ばく医療連携推進機構長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害・被ばく医療に係る人材育成に関すること。 ・ 被ばく医療の医療基礎研究に関すること。 ・ 環境放射線のモニタリング等に関すること。 	(1) 機構長 (2) 副機構長 (3) 支援センター長及び教育センター長

組織	責任者	活動の内容	構成員
		<ul style="list-style-type: none"> 放射線の健康相談等に関すること。 海外の被ばく医療研究施設との連携に関すること。 原子力規制庁事業に係る研修及びネットワーク構築に関すること。 	<ul style="list-style-type: none"> (4) 部門長 (5) 兼任教員 (6) その他機構長が必要と認めた者
地域未来創生センター	センター長（学部長指名）	<ul style="list-style-type: none"> 地域の諸課題を発見、課題解決に向けた組織的な研究活動 地域の文化資源等の調査・研究及びその有効活用に向けた活動 公開講座、フォーラム、研究会、講演会等の開催による地域社会への貢献 地域志向の教育プログラム開発、地域に貢献する人材育成のための教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> (1)センター長 (2)副センター長 (3)本学部専任担当教員 (4)センター協力教員 (5)センター客員研究員 (6)その他センター長が委嘱する協力員
医学研究科教授会	医学研究科長	・教育研究に関する重要事項の審議	研究科長、研究科専任の教授
医学部医学科会議	医学部医学科長	・教育研究に関する重要事項の審議	医学研究科・附属教育研究施設等の専任の教授、准教授、講師及び助教並びに附属病院長
医学部医学科地域定着卒学生支援委員会	委員長	・地域定着枠で入学した学生（卒業生を含む）に関する事項の審議	研究科長、学事委員長、学務委員長、入試専門委員長、病院長、卒後臨床研修センター長、事務長
医学部医学科学務委員会	委員長	・地域医療に関するプログラムの運営	学務委員長、副学務委員長、学務委員

教育の国際化の組織的取組

組織	責任者	活動の内容	構成員
国際連携本部	国際連携本部長	・本学学生の留学に係る修学上及び生活上の指導助言	本部長、副本部長、部門長、専任教員

組織	責任者	活動の内容	構成員
		に関すること ・留学プログラムの実施に係る企画、立案、調整等に関すること	本部長が指名する教員（兼任教員）
被ばく医療総合研究所	被ばく医療総合研究所長	・放射線被ばく医療に関する基礎研究 ・原子力関連施設等での緊急被ばく事故に対応できる専門的人材育成 ・国外の共同利用、共同研究の推進 ・放射線科学分野等での先駆的、先端的研究の展開 ・インターンシッププログラム、原子力人材育成事業の推進及び社会貢献 ・国際放射線防護研修プログラムの実施	(1) 所長 (2) 副所長 (3) 部門長 (4) 専任教員 (5) 兼任教員
被ばく医療連携推進機構	被ばく医療連携推進機構長	・災害・被ばく医療に係る人材育成に関すること。 ・被ばく医療の医療基礎研究に関すること。 ・環境放射線のモニタリング等に関すること。 ・放射線の健康相談等に関すること。 ・海外の被ばく医療研究施設との連携に関すること。 ・原子力規制庁事業に係る研修及びネットワーク構築に関すること。	(1) 機構長 (2) 副機構長 (3) 支援センター長及び教育センター長 (4) 部門長 (5) 兼任教員 (6) その他機構長が必要と認めた者
教育学部国際化推進委員会	教育学部長	・学部教育の国際化の推進に関する計画、実施及び自己点検・評価	委員長 1 名、国際連携本部兼任担当教員 1 名、学部長が指名する教員 3 名の合計 5 名のほか、事務担当者 2 名
外国語教育等推進室	室長（学部長指名）	・学部の外国語教育の授業計画の立案・作成 ・外国語の教育カリキュラム・教育プログラムの編成・	(1) 室長 (2) 副室長 2 名

組織	責任者	活動の内容	構成員
		運営・成績評価等に関すること。 ・学生の海外留学及び海外研修等のサポートに関する こと。 ・地域のグローバル化推進強化のための方策の検討に 関すること。 ・その他外国語教育等の推進に関すること。	(3)コーディネーター (英語・ドイツ語、フランス語・中国語)各1名 (4)その他室長が必要と認めた者
医学研究科教授会	医学研究科長	・教育研究に関する重要事項の審議	研究科長、研究科専任の教授
医学部医学科会議	医学部医学科長	・教育研究に関する重要事項の審議	医学研究科・附属教育研究施設等の専任の教授、准教授、講師及び助教並びに附属病院長
医学部医学教育センター運営会議	センター長	・国際交流に関すること	センター長、副センター長、学科長が指名する教員、部門長、その他センター長が必要と認めた教員
医学研究科国際交流委員会	委員長	・国際交流に関すること	医学科基礎系教授、医学科臨床系教授、その他研究科長が必要と認めた者
医学部医学科学務委員会	委員長	・学務に関すること	学務委員長、副学務委員長、学務委員
学事委員会(医学研究科)	委員長	・学務に関すること	学事委員長、副学事委員長、学事委員

基準 2 - 2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 2 教育課程ごとの点検・評価において、領域 6 の各基準に照らした判断を行うことが定められていること

【分析の手順】

- ・教育課程ごとの点検・評価において、領域 6 の各基準で分析する内容の点検・評価を行うことが規定で定められていることを確認する。
- ・教職課程として認定を受けた教育課程については、教育職員免許法施行規則第 22 条の 8 が定める点検及び評価を行うことを含めて内部質保証の手順が定められていることを確認する。
- ・連携開設科目を開設する教育課程については、他の大学が開設する科目も含めて適否の確認を行うなど点検・評価において重点的に取り扱われていることを確認する。

・教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧（別紙様式 2 - 2 - 2）

教育課程	評価の内容を規定する規定類	内部質保証の統括責任者による決定日
人文社会科学部 文化創生課程	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
人文社会科学部 社会経営課程	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
人文社会科学部 人文社会科学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
教育学部 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援学校教育専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
教育学部 養護教諭養成課程	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
教育学研究科 教職実践専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
医学部 医学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日
医学部 保健学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和 6 年 3 月 15 日

教育課程	評価の内容を規定する規定類	内部質保証の統括責任者による決定日
医学部 心理支援科学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
医学研究科 医科学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
保健学研究科 保健学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
保健学研究科 心理支援科学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学部数物科学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学部物質創成化学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学部地球環境防災学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学部電子情報工学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学部機械科学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学部自然エネルギー学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学研究科理工学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学研究科機能創成科学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
理工学研究科安全システム工学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
農学生命科学部 生物学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
農学生命科学部 分子生命科学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
農学生命科学部 食料資源学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
農学生命科学部 国際園芸農学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
農学生命科学部 地域環境工学科	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
農学生命科学研究科 農学生命科学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
地域社会研究科 地域社会専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
地域共創科学研究科 地域リノベーション専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日
地域共創科学研究科 産業創成科学専攻	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程	令和6年3月15日

基準 2 - 2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 3 施設及び設備、学生支援、学生の受入に関する自己点検・評価の方法が明確に定められていること

【分析の手順】

・施設設備、学生支援、学生受入に関して自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類を確認する。

※評価対象事項、実施時期、実施主体、評価基準について具体的に定められていることが必要。

・自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧（別紙様式 2 - 2 - 3）

評価の対象	実施時期	評価方法を規定する規定類
施設設備	毎年度	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程
学生支援	毎年度	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程
学生受入	毎年度	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程

基準 2 - 2 【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 4 機関別内部質保証体制において、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見を聴取する仕組みを設けていること

【分析の手順】

・教育課程、施設及び設備、学生支援並びに学生の受入のそれぞれに関して、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見を聴取することが定められており、その結果を機関別内部質保証体制が確認する仕組みを設けていることを確認する。

※聴取対象事項のそれぞれについて、実施時期（頻度）、実施主体、意見聴取内容が具体的に定められていることが必要。

※学生からの意見聴取については、授業評価アンケートも含む。

・意見聴取の実施時期、内容等一覧（別紙様式 2 - 2 - 4）

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
教育課程	教育推進機構	学生	毎学期	授業評価アンケート	2-2-4-01_弘前大学アセスメント・ポリシー（学部） 2-2-4-02_弘前大学アセスメント・ポリシー（研究科） 2-2-4-03_令和 6 年度前期「学生による授業評価に関するアンケート調査」実施概要
教育課程	教育推進機構	卒業生	令和 2 年度 令和 4 年度 令和 5 年度 令和 6 年度	満足度・達成度アンケート	2-2-4-01_弘前大学アセスメント・ポリシー（学部） 2-2-4-02_弘前大学アセスメント・ポリシー（研究科） 2-2-4-04_令和 6 年度「卒業生・企業等アンケ

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
					「一ト調査」の実施概要 2-3-3-10_R6 年度「卒業生・企業等アンケート調査」集計結果等
教育課程	教育推進機構	卒業生（修了生）の主な雇用者	令和2年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度	卒業生（修了生）評価アンケート	2-2-4-01_弘前大学アセスメント・ポリシー（学部） 2-2-4-02_弘前大学アセスメント・ポリシー（研究科） 2-2-4-04_令和6年度「卒業生・企業等アンケート調査」の実施概要 2-3-3-10_R6 年度「卒業生・企業等アンケート調査」集計結果等
//	保健学科	卒業生	毎年卒業時	卒業生アンケート	2-2-4-04_令和6年度「卒業生・企業等アンケート調査」の実施概要
//	保健学研究科	修了生	毎年	修了生アンケート	2-2-4-20_保健学研究科修了生及び企業等アンケートの実施方針
教育課程	地域社会研究科	修了生	毎年度	修了生アンケート	2-1-2-13_弘前大学大学院地域社会研究科運営委員会内規 2-2-4-27_R6 年度3月期大学院地域社会研究科修了生アンケート集計結果
教育課程	地域共創科学研究科	学生	毎学期	授業評価アンケート	2-1-2-14_弘前大学大学院地域共創科学研究科運営・入学試験委員会内規 2-2-4-29_令和6年度前期地域共創科学研究科授業評価等アンケート集計結果

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
					2-2-4-30_令和6年度後期地域共創科学研究科 授業評価等アンケート集計結果
教育課程	地域共創科学研究科	修了生	修了時	修了生	2-1-2-14_弘前大学大学院地域共創科学研究 科運営・入学試験委員会内規 2-2-4-31_令和6年度3月期地域共創科学研究 科修了生アンケート集計結果
教育課程	理工学部	当該年度卒業生	卒業時(学位記授与の)	理工学部の教育内容についてのア ンケート	2-2-4-23_令和6年度卒業生アンケート(理工 学部)
教育課程	理工学研究科	当該年度修了生	修了時(学位記授与の)	理工学研究科の教育内容について のアンケート	2-2-4-24_令和6年度修了生アンケート(理工 学研究科)
施設設備	保健学科	学生	通年	学生の声	なし
施設設備	地域社会研究科	修了生	毎年度	修了生アンケート	2-1-2-13_弘前大学大学院地域社会研究科運 営委員会内規 2-2-4-27_R6 年度3月期大学院地域社会研究 科修了生アンケート集計結果
施設設備	地域共創科学研究科	学生	毎学期	授業評価アンケート	2-1-2-14_弘前大学大学院地域共創科学研究 科運営・入学試験委員会内規 2-2-4-29_令和6年度前期地域共創科学研究科 授業評価等アンケート集計結果 2-2-4-30_令和6年度後期地域共創科学研究科 授業評価等アンケート集計結果

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
施設設備	地域共創科学研究科	修了生	修了時	修了生アンケート	2-1-2-14_弘前大学大学院地域共創科学研究科運営・入学試験委員会内規 2-2-4-31_令和6年度3月期地域共創科学研究科修了生アンケート集計結果
学生支援	学務部	学生	4年に1回	学生生活実態調査	2-2-4-05_第9回学生生活実態調査実施要項 2-2-4-06_第9回学生生活実態調査報告書
	学務部	学生	年1回以上	弘前大学学生評議員制度	2-2-4-07_弘前大学学生評議員制度に関する要項
	学務部	学生	年1回	成績優秀学生と教職員との懇談会	なし
学生支援	農学生命科学部	卒業生(修了生)の主な雇用者	年1回	地域との協議会	2-2-4-25_弘前大学農学生命科学部と地域との協議会設置要項
学生支援	地域社会研究科	修了生	毎年度	修了生アンケート	2-1-2-13_弘前大学大学院地域社会研究科運営委員会内規 2-2-4-27_R6年度3月期大学院地域社会研究科修了生アンケート集計結果
学生支援	地域共創科学研究科	学生	毎学期	授業評価アンケート	2-1-2-14_弘前大学大学院地域共創科学研究科運営・入学試験委員会内規 2-2-4-29_令和6年度前期地域共創科学研究科授業評価等アンケート集計結果 2-2-4-30_令和6年度後期地域共創科学研究科授業評価等アンケート集計結果

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
学生支援	地域共創科学研究科	修了生	修了時	修了生アンケート	2-1-2-14_弘前大学大学院地域共創科学研究科運営・入学試験委員会内規 2-2-4-31_令和6年度3月期地域共創科学研究科修了生アンケート集計結果
学生受入	教育推進機構アドミッションセンター	学生	毎年度	新入生アンケート	2-1-1-01_国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 2-1-3-14_教育推進機構アドミッションセンター要項 第2条 2-2-4-08_新入生アンケート実施要項
学生受入	入学者選抜改革検討委員会	青森県内高等学校長	毎年度	青森県高等学校長協会と弘前大学との懇談会	2-1-1-01_国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 2-1-3-17_弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程 第7条 2-2-4-09_入学者選抜方法等の質保証に関する調査等の実施要項 第2条
学生受入	入学者選抜改革検討委員会	北海道内高等学校教員	毎年度	北海道内高等学校教員と弘前大学との情報交換会	2-1-1-01_国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 2-1-3-17_弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程 第7条 2-2-4-09_入学者選抜方法等の質保証に関する調査等の実施要項 第2条
学生受入	入学者選抜改革検討	青森県内主要高校	毎年度	弘前大学一般選抜試験問題（科目	2-1-1-01_国立大学法人弘前大学内部質保証

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
	委員会			別)に関する内容等のアンケート	に関する自己点検・評価規程 2-1-3-17_弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程 第7条 2-2-4-09_入学者選抜方法等の質保証に関する調査等の実施要項 第2条
施設設備	情報基盤センター	構成員	随時	各種連絡先を設け意見を聴取している	なし
学生支援	情報基盤センター	学生	随時	各種連絡先を設け意見を聴取している	なし
教育課程	教育学部	学生・卒業生・卒業生の雇用者	適宜	アンケート調査、意見聴取 (教員養成学研究開発センター・学務委員会・教育研究協議会)	2-2-4-13_弘前大学教育学部における自己評価等について 2-2-4-14_弘前大学教育学部教育研究協議会要項
教育課程	教育学部	学生	毎学期	授業評価アンケート (学務委員会)	2-2-4-03_令和6年度前期「学生による授業評価に関するアンケート調査」実施概要
施設設備	教育学部	学生・卒業生	適宜	意見聴取 (学務委員会)	2-2-4-13_弘前大学教育学部における自己評価等について
学生支援	教育学部	学生・卒業生	適宜	意見聴取 (学務委員会、教育研究協議会)	2-2-4-13_弘前大学教育学部における自己評価等について 2-2-4-14_弘前大学教育学部教育研究協議会要項
学生支援	教育学部	学生	年2回	意見聴取 (学務委員会)	2-2-4-15_学生・教職員連絡協議会次第(教育学部)

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
学生受入	教育学部	学生・卒業生・卒業生の雇用者	適宜	意見聴取 (入学試験委員会、教育研究協議会)	2-2-4-13_弘前大学教育学部における自己評価等について 2-2-4-14_弘前大学教育学部教育研究協議会要項
教育課程	人文社会科学部	各授業受講学生	年2回	授業評価アンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-10_人文社会科学部アセスメント・ポリシー
教育課程	人文社会科学部	卒業予定学生	毎年度	卒業生へのアンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-10_人文社会科学部アセスメント・ポリシー
教育課程	人文社会科学研究科	各授業受講学生	年2回	授業評価アンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-12_人文社会科学研究科アセスメント・ポリシー
教育課程	人文社会科学研究科	修了予定学生	毎年度	修了生へのアンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-12_人文社会科学研究科アセスメント・ポリシー
施設設備	人文社会科学部	卒業予定学生	毎年度	卒業生へのアンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-10_人文社会科学部アセスメント・ポリ

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
					シー
施設設備	人文社会科学研究科	在学生	年 2 回	研究生活アンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-12_人文社会科学研究科アセスメント・ポリシー
学生支援	人文社会科学部	卒業予定学生	毎年度	卒業生へのアンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-10_人文社会科学部アセスメント・ポリシー
学生支援	人文社会科学研究科	在学生	年 2 回	研究生活アンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-12_人文社会科学研究科アセスメント・ポリシー
学生受入	人文社会科学部	卒業予定学生	毎年度	卒業生へのアンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-10_人文社会科学部アセスメント・ポリシー
学生受入	人文社会科学研究科	在学生	年 2 回	研究生活アンケート	2-1-2-03_人文社会科学部研究推進・評価委員会要項 2-2-4-12_人文社会科学研究科アセスメント・ポリシー
教育課程	医学部医学科	卒業生（学部）	毎学期	授業評価アンケート	2-1-2-05_弘前大学医学部医学科内部質保証に関する実施要項

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
教育課程	医学研究科	修了生（大学院）	毎年度	授業評価アンケート	2-1-2-09_弘前大学大学院医学研究科内部質保証に関する実施要項 2-3-3-06_弘前大学大学院医学研究科「共通科目」に関するアンケート調査の実施概要
教育課程	医学部医学科	学生（学部）	毎年度	卒業生アンケート	2-1-2-09_弘前大学大学院医学研究科内部質保証に関する実施要項
施設設備					
学生支援					
学生受入					
教育課程	医学研究科	学生（大学院）	毎年度	修了生アンケート	2-1-2-09_弘前大学大学院医学研究科内部質保証に関する実施要項 2-3-3-07_弘前大学大学院医学研究科 大学院「修了生」に対するアンケート調査実施概要
施設設備					
学生支援					
学生受入					
教育課程	医学部医学科	卒業生の主な雇い主等	毎年度	弘前大学医学部・青森県自治体病院・診療所連絡協議会（意見聴取）	2-1-2-09_弘前大学大学院医学研究科内部質保証に関する実施要項

基準 2 - 2 【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 5 機関別内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること

【分析の手順】

- ・確認された自己点検・評価の結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について、検討、立案、提案するための手順を、それを定めた規定類によって確認する。
- ・自己点検・評価の結果（当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）において確認された事項について、特に教育課程ごとにその質保証に責任をもつ教育研究上の基本的組織がその対応の方針及び対応の計画を策定していることを確認する。

※外部者の意見とは、経営協議会、経営審議会等外部者の参画が中心となるものを想定。

・検討、立案、提案の責任主体一覧（別紙様式 2 - 2 - 5）

評価の対象	検討、立案、提案の責任主体	検討、立案、提案の方法を規定する規定類
教育課程	学長（統括責任者）、理事（教育担当）（推進責任者） 教育推進機構（理事（教育担当）） 教育委員会理事（教育担当）	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学教育推進機構規程 国立大学法人弘前大学教育委員会要項
施設設備	学長（統括責任者）、理事（総務担当）（推進責任者） 環境安全推進本部（理事（総務担当）） 安全衛生委員会（理事（総務担当））	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学環境安全推進本部規程 国立大学法人弘前大学安全衛生委員会内規
学生支援	学長（統括責任者）、理事（教育担当）（推進責任者） 教育推進機構（理事（教育担当））	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学教育推進機構規程

評価の対象	検討、立案、提案の責任主体	検討、立案、提案の方法を規定する規定類
	教育委員会理事（教育担当）	国立大学法人弘前大学教育委員会要項
学生受入	学長（統括責任者）、理事（教育担当）（推進責任者） 入学試験委員会（学長） 入学者選抜改革検討委員会（理事（教育担当））	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学入学試験委員会規程 弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程

基準 2 - 2 【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 6 機関別内部質保証体制において承認された計画を実施する手順が定められていること

【分析の手順】

・分析項目 2-2-5 の手順を経た上で機関別内部質保証体制において承認された対応措置の実施計画について、当該計画を実施するための手順が規程上定められていることを確認する。

・実施の責任主体一覧（別紙様式 2 - 2 - 6）

評価の対象	実施の責任主体	実施の方法を規定する規定類
教育課程	学長（統括責任者）、理事（教育担当）（推進責任者） 教育推進機構（理事（教育担当）） 教育委員会理事（教育担当）	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学教育推進機構規程 国立大学法人弘前大学教育委員会要項
施設設備	学長（統括責任者）、理事（総務担当）（推進責任者） 環境安全推進本部（理事（総務担当）） 安全衛生委員会（理事（総務担当））	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学環境安全推進本部規程 国立大学法人弘前大学安全衛生委員会内規
学生支援	学長（統括責任者）、理事（教育担当）（推進責任者） 教育推進機構（理事（教育担当）） 教育委員会（理事（教育担当））	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学教育推進機構規程 国立大学法人弘前大学教育委員会要項
学生受入	学長（統括責任者）、理事（教育担当）（推進責任者） 入学試験委員会（学長） 入学者選抜改革検討委員会（理事（教育担当））	国立大学法人弘前大学内部質保証に関する自己点検・評価規程 弘前大学入学試験委員会規程 弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程

基準 2 - 3 【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること

分析項目 2 - 3 - 1 自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること

【分析の手順】

・機関別内部質保証体制において決定された対応措置（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）の実施計画のすべてについて、成果、進捗、検討状況を確認する。

※確認された事項及び計画された取組については、各基準と関連付ける。

・計画等の進捗状況一覧（別紙様式 2 - 3 - 1）

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
令和2 年3月	地域社会研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。	令和元年度実施大学機関別認証評価評価報告書	地域社会研究科教授会において、これまでの入学者数及び入学定員充足率の実績について確認を行い、今後の入学者選抜については、入学定員を十分配慮して選抜を行うこととした。	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域5 基準5-3
令和2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる学習の促進 ・授業時間外の学修時間を増やすための方策について要検討 ・学生との接し方を見直すための積極的な取組が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部自己評価アンケート結果報告 ・教育改善に向けたアンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる学習を促進するため、講義室における安定したネット環境の構築やパソコン使用のための充電スペースの拡充を行った。 ・授業時間外の学習時間を増やすための方策として、Formsなどの学習ツール 	農学生命科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			<p>の授業への積極的な活用を各教員に要請した。</p> <p>・学生との接し方を見直すための積極的な取組を各教員に要請するとともに、FD研修会を開催した。</p>			
令和3年度	・学生の主体的学習を進めるための対応が必要	・学部自己評価アンケート結果報告 ・教育改善に向けたアンケート調査	・学生の主体的・能動的学習に応えるための教育プログラムを構築した。	農学生命科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和4年3月	医工連携やグリーンエネルギー関連の理工系人材育成に関わる活動の一層の可視化	令和3年度実施戦略1事業に関する外部評価委員会評価報告書	履修証明プログラム広報活動の強化、一部授業のオンライン化による受講者利便性向上	理工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和4年4月	医工連携やグリーンエネルギー関連の理工系人材育成に関わる活動の一層の可視化	令和3年度実施戦略1事業に関する外部評価委員会評価報告書	共同研究講座「リチウム資源循環工学講座」の設置	理工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和4年度	・教員の指導及び対応について改善が必要	・教育改善に向けたアンケート調査	・教員の指導及び対応について改善し、向上させるためFD研修会を開催し	農学生命科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			た。		<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和4 年9月 令和5 年3月	2年次の前期月曜日の午後を必修科目で拘束されるため、研究活動がしやすい時間割とはいえない。 2年次前期に開講される必修科目は、1年次に行ってほしい（就職活動、研究等で忙しいため）。	令和4年度前期授業評価等アンケート集計結果 令和4年度3月期修了生	必修科目の開講年次・学期及び開講曜日・時限について、変更を検討した。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-4
令和5 年2月	卒業（修了）生及び卒業（修了）生の主な雇用者等に対して、パイプをつなぐ意味でも可能な限り意見を聴取する何かしらの取組を行ってほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	全学で実施している卒業（修了）生の主な雇用者等へのアンケート調査について、学部及び大学院に正規生として在籍していた外国人留学生も調査対象に含めるよう要請した。	国際連携本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-2
令和5 年2月	卒業生に対して、パイプをつなぐ意味でも可能な限り意見を聴取しその意見を反映した何かしらの取組を行ってほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	短期留学プログラム修了生に対するアンケート調査を実施し、意見を収集するとともに、卒業（修了）生を含む関係者からの多様な意見を体系的かつ継続的に把握・分析する仕組みを構築するため、国際同窓会を設立した。	国際連携本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-3
令和5 年2月	各部局の特徴により第三者による検証、助言を受けることが困難な場合も	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	国際連携本部が主導するプログラムの質の向上と社会的信頼性の確保を図る	国際連携本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	領域2 基準2-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	あることから、各部局の特徴に応じ可能な限り受けるようにしてもらいたい。		ため、地方公共団体や民間企業等の関係機関からの評価を受ける機会を設けた。		<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5年2月	自己点検・評価を実施する上での詳細な手法等は整備し、マニュアル化、文書化が必須であることから、検討等を進めてもらいたい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	本部分の自己点検評価実施要項については作成中である。	情報連携統括本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-2
令和5年2月	各部局の特徴により第三者による検証、助言を受けることが困難な場合もあることから、各部局の特徴に応じ可能な限り受けるようにしてもらいたい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	学部及び研究科の自己点検・評価に関する事項を所掌する学业内委員会として、研究推進・評価委員会を設置している。	人文社会科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-3
令和5年2月	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生から意見聴取し、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られているか、検証を行ってもらいたい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	学部・研究科アセスメント・ポリシーを定め、卒業（修了）後3年の卒業（修了）生に対してアンケートを実施し、その結果を踏まえて学習成果を確認している。	人文社会科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-8
令和5年2月	卒業（修了）生の就職先等から意見聴取し、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られているか、検証を行ってもらいたい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	学部・研究科アセスメント・ポリシーを定め、卒業（修了）後3年の卒業（修了）生が就職している企業等に対してアンケートを実施し、その結果を踏まえて	人文社会科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	領域6 基準6-8

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			学習成果を確認している。		()	
令和5 年2月	令和3年度取組内容に記載されている内容から、農学生命科学部に必要に応じ留学生への生活支援等が行われていると判断できるが、今後更なる改善に向けた取組を行ってほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	学生と定期的に情報交換の場を設けた。	農学生命科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域4 基準4-2
令和5 年2月	令和3年度取組内容に記載されている内容から、農学生命科学部に必要に応じ障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等が行われていると判断できるが、今後更なる改善に向けた取組を行ってほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	学生と定期的に情報交換の場を設けた。	農学生命科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域4 基準4-2
令和5 年2月	各部局の特徴により第三者による検証、助言を受けることが困難な場合もあることから、各部局の特徴に応じ可能な限り受け取るようにしてほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	研究科の自己点検・評価に関する事項を所掌する委員会として、運営委員会を設置している。	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-3
令和5 年2月	令和3年度取組内容に記載されている内容から、地域社会研究科において入学選抜改善のための取組が行	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和5年度入学者から新入生アンケートを実施し、学生受入方針に沿った学生の受入が行われているか検証してい	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	領域5 基準5-2

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	われていると判断できるが、今後、収容定員を大きく超過している現状の改善などのために、更なる改善に向けた取組を行ってほしい。		る。		<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年2月	令和3年度取組内容に記載されている内容から、地域社会研究科において大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあると判断できるが、今後、更なる改善に向けた取組を行ってほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	社会人学生が多い研究科であることから、そのほとんどが「弘前大学大学院長期履修に関する規程」に基づく長期履修学生であり、標準修業年限で修了することは困難であることが多いが、引き続き適切な指導体制による学修サポートや論文指導を行う。	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-8
令和5 年2月	令和3年度取組内容に記載されている内容から、地域社会研究科において修了生が少ないため学習成果が得られているか明確に判断できていないが、意見聴取の取組を継続的にを行い、データを蓄積し確認を行ってほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	修了生が少なく、社会人学生が多いため、修了後一定期間以上経過した修了生及びその関係者等(就職先を含む)に対してアンケート調査を行う。	地域社会研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-8
令和5 年2月	令和3年度取組内容に記載されている内容から、地域共創科学研究科において入学者選抜改善のための取組が行われていると判断できるが、今	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和5年度入学者から新入生アンケートを実施し、学生受入方針に沿った学生の受入が行われているか検証している。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	領域5 基準5-2

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	後、設置後令和3年度入試まで2度とも収容定員を満たしていない点も含めて、更なる改善に向けた取組を行ってほしい。				()	
令和5 年2月	令和3年度の取組内容に記載されている内容から、地域共創科学研究科において大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあると判断できるが、今後、設置初年度は定員割れ、かつ母数が少ないことから全員が修了する状況でなければ数値は大きくダウンすること、一方で定員割れをしていることは学生ひとりに対して手厚く対応することも可能であること、これらを考慮の上、分析項目の内容に則した状況に誘導してほしい。	令和3年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	社会人学生が「弘前大学大学院長期履修に関する規程」に基づく長期履修学生で在籍しており、標準修業年限で修了することは困難であることが多いが、適切な指導体制による学修サポートや論文指導を行う。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-8
令和5 年2月	入学定員充足率が不十分	令和3(2021)年度基本調査_調査結果報告書 (国立大学法人弘前大学における教育の質保証)	入試区分の変更	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域5 基準5-3
令和5	学内における無線環境の強化のため	学内の要望	R5年度に予算要求・令和6年度以降実	情報連携統括本部	<input type="checkbox"/> 検討中	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
年度	の調査		施		<input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年4月 ～令和 6年3 月	情報セキュリティ教育の取組 IT マネジメント力強化の取組	部局からの要望等	・学生・教職員へ e-ラーニングによる 情報セキュリティ教育 ・情報セキュリティセミナー ・標的型攻撃メール対応訓練 ・文部科学省階層別サイバーセキュリ ティ研修 ・文部科学省関係機関情報セキュリ ティ監査担当者研修	情報連携統括本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年6月	学生支援については、本学は手厚く対 応していると評価している。今後につ いては、学生相談等に対して機動性、 実効性のある対応を今以上に志向し ていくことを望んでいる。 特に、学生特別支援室に対する相談件 数が急増しており、人的体制の充実が 求められる。	令和4年度 監査報告書	学生特別支援室（主に障害のある学生 が利用）のコーディネーターについて、 2名体制から1名増員して3名体制と し、対応時間も9時から18時までに拡 充した。	教育推進機構 学生特別支援室	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域4 基準4-2 領域6 基準6-5

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
令和5 年9月	1年次必修科目の集中講義の期間が長すぎるため、企業のインターンシップに参加できない、学会をキャンセルした、連続で行いたい実験ができない。	令和5年度前期授業評価等アンケート集計結果	必修科目の学期及び開講曜日・時限について、変更を検討した。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-4
令和5 年12 月	大学設置基準に定められている基準数以上の教員を配置する必要がある。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和7年度に地域戦略研究所教員が配置換えとなり、理工学部自然エネルギー学科教員は基準数(8名)を上回る12名となった。	理工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域1 基準1-2
令和5 年12 月	「弘前大学における内部質保証の基本方針」「弘前大学における内部質保証に関する自己点検・評価実施要項」において、自己点検・評価の方法を明確に定めているため、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	本部分の自己点検評価実施要項については作成中である。	情報連携統括本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-2
令和5 年12	複数の部局において、第三者による検証、助言を受けていることから、全学	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和5年度から学外との相互監査を再開した。	情報連携統括本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	領域2 基準2-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
月	的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。				<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年12 月	「教員の資格及び採用等の方法に関する規程」において、各職位ごとの資格基準を定めており、書面審査、面接、模擬講義を実施し、採用・昇任させているため、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	基礎医学系及び臨床医学系ともに、提言委員会を設置し、他大学の情報収集を行い、職位ごとの資格基準を定めるための検討を開始した。	医学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-5
令和5 年12 月	大学設置基準の一部改正(令和4年10月)に伴い、TA等の教育補助者(指導補助者)に対し研修を行うことが必須となっており、担当する業務に応じて、教員対象のFDにTA等を参加させるなど、対応が必要である。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和6年度より、TA等の教育補助者には、「弘前大学人文社会科学部「専門教育科目」におけるティーチングアシスタント(TA)」の研修資料を配布し、研修会を実施している。	人文社会科学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-5
令和5 年12 月	大学設置基準の一部改正(令和4年10月)に伴い、TA等の教育補助者(指導補助者)に対し研修を行うことが必須となっており、担当する業務に応じ	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和7年度よりTA等の教育補助者に対し、ハンドブックの配布及び研修動画の受講を全学で実施している。	教育学部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	領域2 基準2-5

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	て、教員対象のFDにTA等を参加させるなど、対応が必要である。				()	
令和5 年12 月	大学設置基準の一部改正(令和4年10月)に伴い、TA等の教育補助者(指導補助者)に対し研修を行うことが必須となっており、担当する業務に応じて、教員対象のFDにTA等を参加させるなど、対応が必要である。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和7年度より、TA等の教育補助者には、「弘前大学ティーチング・アシスタント(TA)ハンドブック」の配布・精読と、研修動画の視聴により、必要な研修を実施している。	保健学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域2 基準2-5
令和5 年12 月	整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和5年度入学者から新入生アンケートを実施し、学生受入方針に沿った学生の受入が行われているか検証している。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域5 基準5-2
令和5 年12 月	実入学数が入学定員を大幅に超える状況にならないよう対応が必要である。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和5年度秋季入学から、社会人や留学生に限定した入試区分(社会人特別選抜・一般選抜・秋入学)を見直し、全ての人が受験できる入試方法(I期、II期、III期)に変更を行った。	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域5 基準5-3
令和5 年12 月	整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	引き続き、進学相談会、入試説明会(弘前市(学内)・青森市)、大学院説明会を年7回を実施する。特に本学学部学生を対象とした説明会では、令和5年度	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	領域5 基準5-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			から実施された学内進学者の入学料免除等、本学の経済支援制度を丁寧に説明した。また、学部学生のキャリア教育の授業の中で大学院進学に関する講話を行った。		()	
令和5 年12 月	国際連携本部において、コロナ禍でもオンライン留学を実施するなど、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	コロナ禍により実施を見送っていた事業を令和5年度から再開した。	医学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-5
令和5 年12 月	国際連携本部において、コロナ禍でもオンライン留学を実施するなど、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	独自の教育プログラムを整備するため、国際交流活動を進めている。令和5年9月に中国・河南理工大学理工系学部と部局間協定を締結した。令和6年9月にさくらサイエンスプログラム事業により、インドのタミル・ナードゥ農業大学から教員・学生8名を招へいし、本研究科教員・学生との交流を行った。これらの交流を端緒として学生交流も取り組む予定である。	理工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-5
令和5	整備状況を満たしていると判断でき	令和4年度業務に係る内部質保証の	社会人学生が多い研究科であることか	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中	領域6

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
令和5年12月	るが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	自己点検・評価	ら、そのほとんどが「弘前大学大学院長期履修に関する規程」に基づく長期履修学生であり、標準修業年限で修了することは困難であることが多いが、引き続き適切な指導体制による学修サポートや論文指導を行う。		<input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6 - 8
令和5年12月	整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	社会人学生が「弘前大学大学院長期履修に関する規程」に基づく長期履修学生で在籍しており、標準修業年限で修了することは困難であることが多いが、引き続き適切な指導体制による学修サポートや論文指導を行う。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域 6 基準 6 - 8
令和5年12月	全学を対象として教育委員会において実施の「卒業生等・企業等アンケート調査」の結果の活用や、今後、弘前大学アセスメントポリシーに基づき毎年実施予定のアンケート調査の結果を蓄積し検証するなど、分析項目の内容を満たすことができるよう努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	令和7年度に修了後一定期間以上経過した修了生及びその関係者等（就職先を含む）に対してアンケート調査を行う。	地域社会研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域 6 基準 6 - 8
令和5	国際連携本部において、コロナ禍でも	令和4年度業務に係る内部質保証の	コロナ禍により実施を見送っていた事	医学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
令和5 年12 月	オンライン留学を実施するなど、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	自己点検・評価	業を令和5年度から再開した。		<input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年12 月	国際連携本部において、コロナ禍でもオンライン留学を実施し、受講料の8割を支援するなど、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	コロナ禍により実施を見送っていた事業を令和5年度から再開した。また、新たな事業として長庚大学(台湾)との学生交流を令和7年度から実施する予定である。	医学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年12 月	国際連携本部において、オンライン留学の受講料について、学生の初期負担が少なくなるよう改善を図っているなど、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	コロナ禍により実施を見送っていた事業を令和5年度から再開した。また、新たな事業として長庚大学(台湾)との学生交流を令和7年度から実施する予定である。	医学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5 年12 月	国際連携本部において、オンライン留学の受講料について、学生の初期負担が少なくなるよう改善を図っている	令和4年度業務に係る内部質保証の自己点検・評価	運営委員会において、アンケートの実施結果等を検証している。必要に応じて運営委員会において対応策を検討す	理工学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	など、全学的な視点では整備状況を満たしていると判断できるが、自己点検・評価の結果を踏まえて、更なる質の向上に努めてもらいたい。		る体制としている。		<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・現行カリキュラムの課題に関して、より多くの教員が適切に提案できるようにすることが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・学内各講座で教育業務を中心的に行う教育講師などを含む「教育教授等」の称号付与制度を創設する。教育講師などが各講座から体系的・継続的に意見を抽出し、カリキュラム委員会に改善提案する体制を構築する。また、特に臨床技能教育については、臨床系診療科の教育講師等が医学教育センターの臨床能力開発部門が担当する OSCE で評価される基本的臨床技能教育に関与する。その過程で、臨床前教育の改善点、臨床実習で強化する教育内容について、カリキュラム委員会に具体的提案をすることが可能となる。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・使命の策定に学生とより多くの教職員が参画すべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・カリキュラム委員会、学務委員会、プログラム評価委員会に参加する学生委員に、使命に関する意見を広く聴取し、	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			検証や見直しのプロセスに参画する。 また、FDで教員と使命について議論する機会を設け、教員からも意見を求める。		<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・使命と目標とする学修成果の策定には、他医療職種、地域医療関係者や患者代表等、より広い範囲の教育の関係者からの意見を聴取することが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・医学科の「理念・目的」の見直しに際しては、他医療職種、地域医療関係者等、より広い範囲の教育関係者から意見を聴取する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・カリキュラムを通して医学研究や臨床の実践に必要な、批判的・分析的な思考に基づく科学的手法の原理を体系的に教育すべきである。 ・臨床実習の現場で EBM の教育を確実に行うべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・科学的手法の原理を体系的に学習できる環境を整備するために、卒業時コンピテンシー「IX 科学的探求」に対応した各学年のアウトカムの内容を再構築し、それぞれの教育マイルストーン (アウトカム) に効果的に教育プログラムを連結させ、カリキュラムを通して科学的探求の能力を育成することが可能になる構成とした。臨床実習 FD を積極的に開催し、EBM 教育を効果的に実践している診療科の臨床実習プログラムを共有することで、クリニカルクラークシップを通して EBM 教育を実施す	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (試行)	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			環境構築を行う。			
令和6年5月	・将来的に社会や医療システムにおいて必要になると予測されることを明確にした上で、組織的に教育方針を決定しカリキュラムに反映させることが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・青森県を含む北東北は2045年までに急速に高度な高齢化や過疎化が進むと予測されている。複合的問題を持つ患者や過疎化に関連する社会問題について対応できる医療者教育カリキュラムの策定を、弘前市内の医療系大学2校、および北東北の医学部と連携しながら、特に、多職種連携、総合診療、遠隔医療に関するカリキュラム構築を実施する予定である。また、将来生じうるパンデミックや大規模災害に対応しうるカリキュラムも構築する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (試行)	
令和6年5月	・行動科学、医療倫理学、および医療法学について、さまざまな科目にわたっている教育内容を整理・統合し、統轄責任者を定めて管理する体制を構築して、順次性を明確に規定した上で実践すべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・1年次「医の原則」を医療倫理学のプログラムとして明示する。1年次「臨床医学入門」に行動科学を履修する単元を設け、シラバスに明示する。4年次「臨床実習入門」に、医療法学を履修するプログラムを新たに設ける。また、同プログラム(臨床実習入門)にすでに定められている医療倫理学、行動科学のテーマについて、1年次「医の原則」、	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			「臨床医学入門」での履修内容を踏まえた応用的テーマとして再構成し、シラバスに明示する。			
令和6 年5月	・行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学に関し、社会情勢や時代の変化に対応してカリキュラムを修正する体制を構築することが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	・青森県を含む北東北が今後直面する高齢化や過疎化という社会課題に注目し、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学を中心とした本学のカリキュラムがこれらの社会課題について対応できるかの評価、省察、カリキュラム修正を、医学教育センターを主体とした教学PDCAサイクルの運用による体制を構築する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	<p>・診療参加型臨床実習をより充実させ、臨床技能・医療専門職としての技能を早期から計画的に十分な期間をとって修得できるようにすべきである。</p> <p>・学生が経験すべき主要な症候・疾患を定義し、臨床実習期間に十分修得できるようにすべきである。</p> <p>・重要な診療科で十分に学修できるように実習期間を確保すべきである。</p>	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	<p>・低学年（1年次 臨床医学入門）より臨床技能に関する演習・実習を取り入れて、臨床実習前の時点での臨床能力の向上に努める。</p> <p>・4年次 臨床実習入門では、基本的臨床能力を身につける演習を充実させる。臨床推論を重視した PBL の構築を進める。</p> <p>・モデルコアカリキュラムに記載の症候・病態を基盤として、学生が経験すべ</p>	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			<p>き主要な症候・疾患を定める。</p> <p>・重要な診療科で十分に学修できるように、臨床実習のローテーションを工夫する。</p>			
令和6 年5月	<p>・臨床医学教育のカリキュラムを社会の変化に対応して、組織的・体系的に調整や修正することが望まれる。</p> <p>・2年次学生、3年次学生の教育段階に合わせて、患者診療への参画を深めることが望まれる。</p> <p>・教育プログラムの進行に合わせ、臨床技能教育を適切な時期に行うことが望まれる。</p>	<p>一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）</p>	<p>・社会の変化に柔軟に対応できるカリキュラム構成を実現するために、「3ターム制（仮称）」を導入することで、授業科目の再構築を行い、相互に関連する科目を一定期間に集約することを試みる。</p> <p>2年次学生の地域医療入門、3年次学生の社会医学実習において、早期から患者や地域住民と接する授業を実施する。</p> <p>高学年（4, 5, 6年次）だけでなく、低学年においても医療面接、身体診察、多職種連携におけるコミュニケーションなどの基本的臨床スキルについて習得するプログラムを構築する。</p>	<p>医学部医学科</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応済</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 (試行)</p>	
令和6 年5月	<p>・関連する科目の水平的統合・垂直的統合を推進し、より効果的な教育体系を構築することが望まれる。</p>	<p>一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）</p>	<p>・「3ターム制（仮称）」を導入することで、授業科目の再構築を行い、関連する科目間での連携を強化し、学生が効率</p>	<p>医学部医学科</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応中</p> <p><input type="checkbox"/> 対応済</p>	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			的に履修する制度を構築する。		<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・組織の中でカリキュラム委員会の位置づけを明確にし、規程を定めて責任と権限を持ってカリキュラムの立案と実施に対応すべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・「カリキュラムの立案」をカリキュラム委員会の役割と明確に定め、医学教育センター運営会議での検討内容をもとに新たなカリキュラムの立案を実施し、カリキュラムの実施・運営についての主体委員会としての学務委員会に諮問する形を構築している。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・教育カリキュラムの改善と実施について、カリキュラム委員会の活動を実質化することが望まれる。 ・カリキュラム委員会に広い範囲の教育の関係者の代表を含み、その意見をカリキュラム改善に反映させることが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・カリキュラム委員会 (学生代表を含む) を年に複数回開催し、活動の実質化を図る。同委員会には医学教育の専門家や、必要に応じて保健学科教員なども参加し、多様な観点からの意見をカリキュラム改善に反映させる体制を構築する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・卒前教育と卒後の教育・臨床実践とのスムーズな連携のために、カリキュラム委員会と総合臨床研修センターの組織としての役割をより明確にすべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・医学教育学講座を新設する。また、カリキュラム委員会などから構成される医学教育センターと医学教育学講座を内包する地域基盤型医療人材育成センターを新たに設置する。同センターはカリキュラム委員会を含む医学教育セ	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			ンターと総合臨床研修センターを連結し、シームレスな卒前医学教育と卒後臨床研修を促進する。			
令和6 年5月	・卒業生の働く環境や地域からの情報を体系的に確実に収集し、教育プログラムの改良につなげることが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	医学生の卒業後のキャリアを体系的に支援する機能を持つ組織を学内に構成し (例: キャリア支援センター)、卒業生の研修環境をフォローアップし、同組織から得られた情報を教育プログラム改善につなげる体制を構築する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・再試験に関する規程を整備して、開示すべきである。 ・学生の知識、技能および態度を確実に評価し、ポートフォリオ等を用いて学年ごとに学修成果の達成をモニタすべきである。 ・様々な評価方法と形式をそれぞれの評価有用性に合わせて活用すべきである。 ・評価方法および結果に利益相反が生じないように規程を整備すべきである。 ・評価が外部の評価者によって精密に 	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	<ul style="list-style-type: none"> ・再試験 (時期、回数を含む) に関する規程を整備する。 ・各学年のアウトカム・卒業時コンピテンシーと対応可能なポートフォリオの導入を目指す。 ・総括的評価に加えて、形成的評価を積極的に取り入れた評価を活用する。 ・評価の利益相反に関する規程を整備する。 ・臨床実習を中心に、学外施設の指導医等が評価に参画することで、外部評価を充実させる。 	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	吟味されるべきである。					
令和6年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法の信頼性と妥当性を検証し、明示することが望まれる。 ・臨床実習に、MiniCEX、患者や多職種による360度評価等の多様な評価法を導入することが望まれる。 ・学生の評価について学外臨床実習施設の指導医等、外部評価者を活用することが望まれる。 	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	<ul style="list-style-type: none"> ・総括的評価を中心に信頼性と妥当性を検証し、各学年のアウトカムと整合した評価がなされているかの検討を教育学の専門家も交えて、継続的に実施する。 ・EPA をはじめとするモデルコアカリキュラムに対応した Workplace-based Assessment を臨床実習に導入し、形成的評価を継続的に実施する。また、形成的評価結果を蓄積し、総括的評価の論拠とする。これらのことを達成するために、臨床実習 FD の充実を図る。 ・Post-CC-OSCE をはじめとした学生評価に、学外臨床実習施設の指導医が参画することで外部評価の要素に充実させる。また、学外臨床実習施設の指導医に付与される称号である臨床教授の更新の要件に、FD 参加や共用試験実施機構講習会参加を付加することで、外部評価を強化する。 	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6	・卒業時コンピテンシーと教育方法に	一般社団法人 日本医学教育評価機構	・各学年のアウトカム・卒業時コンピテ	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
年5月	<p>整合した評価を実践すべきである。</p> <p>・学生の学修を促進する評価を確実に実施すべきである。</p> <p>・形成的評価と総括的評価との適切な比率を検討し、学生の学修と教育進度を評価すべきである。</p>	<p>構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）</p>	<p>ンシーに到達しているかの評価の妥当性を確認する。</p> <p>・学生の学修意欲を促進するポートフォリオを導入し、それを活用した評価を構築する。</p> <p>・総括的評価に加えて、形成的評価を積極的に取り入れた評価を活用する。</p>		<input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 （ 試行 ）	
令和6 年5月	<p>・基本的知識の修得と統合的学修を促進するために、試験の回数と方法（特性）を適切に定めることが望まれる。</p> <p>・学生に対して評価結果に基づいた時機を得た、具体的、建設的、公正なフィードバックを行い、学生の学修をさらに進めることが望まれる。</p>	<p>一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）</p>	<p>・「3ターム制（仮称）」導入に際して、統合的学修を促進する試験（回数、方法を含む）体制を確認する。</p> <p>・ポートフォリオ等を活用しつつ、学生の学修意欲を促進するフィードバックを行う体制を構築する。</p>	医学部医学科	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	
令和6 年5月	<p>・選抜と、医学部の使命、教育プログラムならびに卒業時に期待される能力をより詳細に関連づけることが望まれる。</p> <p>・入学決定に対する疑義申し立て制度について規程を整備することが望まれる。</p>	<p>一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）</p>	<p>・入試の方法を定期的に吟味し、入試重点評価項目が、医学部医学科の理念・目的、卒業時コンピテンシーに期待される能力と関連づけられるかを確認する。</p>	医学部医学科	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	
令和6	<p>・使命の策定、教育プログラムの策定</p>	<p>一般社団法人 日本医学教育評価機構</p>	<p>・各学年の学生代表が参加する医学教</p>	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
年5月	および管理、学生に関する諸事項等について、学生の代表が各委員会に参加し、適切に議論に加わることを規定し、履行すべきである。	構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	育センターのカリキュラム委員会、学務委員会、プログラム評価委員会を定期開催することとした。		<input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	<ul style="list-style-type: none"> 講演会だけでなく、ワークショップ等を含めた多様かつ実効性のある FD を実施し、教育に関する能力開発を促す機会を充実させるべきである。 個々の教員がカリキュラム全体を十分に理解すべきである。 	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	<ul style="list-style-type: none"> FD 活動を活性化し、1) 学内臨床実習での各診療科での Good Practice を共有する臨床実習 FD を定期開催、2) OSCE および Post CC OSCE に関するワークショップ形式の FD を毎年各1回ずつ開催、3) 基礎系教員を対象とする基礎医学教育に関する FD も定期開催する方針とした。 	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	<ul style="list-style-type: none"> 各臨床実習施設における患者数と疾患分類について調査し、学生が適切な臨床経験を積めるような体制を確保すべきである。 医学部附属病院だけでなく、学外実習施設の指導医についても FD 等とおして指導能力を高め、臨床実習の質を担保すべきである。 	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	<ul style="list-style-type: none"> 学生カルテ情報から附属病院臨床実習で臨床実習生が経験した疾患群および数に関する調査結果が IR 部門から医学教育センター運営会議で示された。これをもとに、附属病院臨床実習での適切な症例経験機会確保のための体制構築について、カリキュラム委員会、学務委員会で協議していく。 学外実習施設の指導医の教育能力向上のために、対面とオンラインを効果的 	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			に組み合わせた FD プログラムを策定し、学外実習施設の臨床教育の質向上を図る。			
令和6年5月	・カリキュラム開発や教育技法および評価方法の開発について、教育専門家の利用についての方針を策定し、履行すべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・医学教育学講座の教員が、医学教育センターの各委員会等に参加し、カリキュラム開発・教育技法・評価方法について提案等する方針とした。また、評価方法などの教育学的知見を得るために必要に応じて教育学部等の教員に助言を求めることとした。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6年5月	・ IR 部門とプログラム評価委員会の活動を実質化し、カリキュラムと学修成果を定期的にモニタする仕組みを設け、評価の結果をカリキュラムに反映すべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・ IR 部門の活動を活性化し、卒業時コンピテンシーやコアカリキュラムと連結された各学年のアウトカムの達成度を定期的に評価するシステムを構築する。IR 部門からのデータをもとに定期開催されるプログラム評価委員会での協議結果を活用し、カリキュラム委員会等でカリキュラムの改善を図る。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6年5月	・地域医療や被ばく医療も含めた学修成果、長期間で獲得される学修成果についてデータを収集し、教育プログラムを包括的に評価することが望まれ	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・本学の特色である地域医療教育、災害被ばく医療教育において学生が獲得するアウトカム (長期的アウトカムを含む) について、形成的・総括的評価両者	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	る。		のデータを継続的に収集し、アウトカムに対する学生の達成度評価を体系化することで、プログラム評価を持続的および包括的に実施する。		()	
令和6 年5月	・教育プログラムに関する分析・対応を可能にするため、教員と学生からのフィードバックを系統的に求めるべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・FD活動を活性化し、臨床系と基礎系のFDプログラムを設け、教員からのフィードバックを求める構造を新たに設けた。 学生からの授業アンケートのオンライン化を含めた運営方法を見直し、アンケート回収率を向上させることでデータの質およびフィードバックの即時性を高める。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・系統的なフィードバックの結果を利用して教育プログラムを開発することが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・系統的に収集されたフィードバックの結果をプログラム評価委員会にて分析し、検討した結果を、カリキュラム委員会に報告する。カリキュラム委員会は、学生および教員から得られた意見をもとに、新規の教育プログラムを開発し、学務委員会が運営する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・カリキュラムの変更やPBLの導入等により、意図した学修成果が達成され	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評	・カリキュラムの垂直・水平統合を強化するために、「3ターム制 (仮称)」を新	医学部医学科	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	ているか学生と卒業生について調査し、分析すべきである	価報告書（確定版）	規に導入する予定である。導入前後を含めて学生の学修成果の達成状況を継続的に評価し、「3ターム制（仮称）」の効果について検証する。		<input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・地域枠や学士編入学等の入試種別や学生の背景に応じた、学修成果の達成状況を学生と卒業生について分析し、責任ある委員会に時宜を得たフィードバックを行い、教育改善につなげることが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	・学生および卒業生の入試種別や背景因子毎の学習成果および到達度について、IR部門を中心に解析を実施し、その結果をプログラム評価委員会に報告する。プログラム評価委員会は、その結果を検証し、入試方法の妥当性や学生の背景に柔軟に対応した教育プログラムの作成について、入試委員会やカリキュラム委員会に提案を行い、当該委員会が適切な教育改善を実施する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・プログラム評価委員会に教育に関わる主要な構成者を含め、教育プログラムのモニタと評価を確実に行うべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	・プログラム評価委員会に学生代表、外部の教育専門家を含めて委員会を定期開催し、教育プログラムのモニタリングと評価を継続的に実施する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・教育プログラムのモニタと評価を確実にを行い、その結果を広い範囲の教育の関係者が閲覧できるようにするこ	一般社団法人 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価 評価報告書（確定版）	・実施された教育プログラムのモニタリングと評価結果について、学部や学科を超えた本学の教育関係者に公開、	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	とが望まれる。		意見を聴取し、さらなる改善に努める。		<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・医学教育に関するほぼすべての業務を医学教育センターに集約しているが、その下部組織である部門の位置付けを明確にすべきである。 ・医学部および全学の IR 部門の機能と役割分担を明確にして、データを集積し有効活用すべきである。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・医学教育センターの 7 部門の機能分担を明確化し、各部門が効率的に活動できる体制を構築する。 医学教育センター IR 部門にデータサイエンスの専門家を配置し、機能を明確および強化しつつ、全学 IR 部門との連携も試みる。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・教学に関する委員会組織に、主な教育関係者やその他の教育関係者の意見を反映することが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・医学教育プログラムに関連する委員会組織に、弘前市内の医療系大学の教育関係者、弘前大学保健学科教員、弘前大学保健管理センター教員ら、学外教育施設の指導医等に関与してもらい、幅広い教育関係者の意見を聴取できる体制を構築する。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年5月	・医学部長、講座の主宰者、医学教育センター長およびその部門長、教学関係の委員会委員長等の教学のリーダーシップの評価を、使命と学修成果に照合して定期的に行うことが望まれる。	一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME) 医学教育分野別評価 評価報告書 (確定版)	・教学関係の各リーダーの活動(リーダーシップ等を含む)に関する自己評価体制の導入を試みる。	医学部医学科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (試行)	

別紙様式 2 - 3 - 1

弘前大学

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
令和6 年9月	履修科目の届出は年1回前期授業開始時のみとなっており、後期は前期のように、1度授業を受けてみて履修するかしないかの判断をする機会が与えられていない。	令和6年度前期授業評価等アンケート集計結果	後期科目の履修登録変更等の期間設定を検討する。	地域共創科学研究科	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	領域6 基準6-5

※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上が必要と確認された事項すべてについて記載する。

※年月の欄は、機関別内部質保証体制において、確認された年月を記載する。

※関連する基準に関する分析及び判断との整合性に留意する。

基準 2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2-5-1 教員の採用及び昇格等にあたって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等を明確に定め、実際にその方法によって採用、昇格させていること

【分析の手順】

- ・教員の採用や昇格等に際し、職階ごとに求める教育上、研究上又は実務上の知識、能力又は実績の水準を定めていることを確認する。
- ・その水準の判断を行う方法を明確に定めていることを確認する。
- ・特に教育研究上の指導能力については、その水準の判断を面接、模擬授業等で行っていることを確認する。
- ・基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員（他大学等との兼務者）の採用等に係る規定を確認する。

※大学院の資格審査は様式に記載しなくてよい。

※共同大学院の資格審査は、特記事項に記載する。

・教員の採用・昇任の状況（過去 5 年分）（別紙様式 2-5-1）

令和 6 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
人文社会科学部	5 人	書類 5 人、面接 5 人、模擬授業 5 人	3 人	書類 3 人、面接 3 人
教育学部	5 人	書類 5 人、面接 5 人、模擬授業 1 人	1 人	書類 1 人、面接 1 人
教職大学院	2 人	書類 2 人、面接 2 人	0 人	
医学研究科	26 人	書類 26 人	7 人	書類 7 人
保健学研究科	6 人	書類選考 6 人 うち面接及び模擬講義 2 人、面接のみ 4 人	3 人	書類選考 3 人 うち面接及び模擬講義 2 人
理工学研究科	7 人	書類 7 人、面接 7 人、模擬授業 7 人	2 人	書類 2 人、面接 2 人、模擬授業 1 人

別紙様式 2 - 5 - 1

弘前大学

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
農学生命科学部	3人	書類3人、面接3人、模擬授業1人	3人	書類3人、面接3人、模擬授業1人
地域社会研究科	0人		0人	

令和5年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
人文社会科学部	4人	書類4人、面接4人、模擬授業4人	1人	書類1人、面接1人
教育学部	6人	書類6人、面接6人、模擬授業2人	3人	書類3人、面接3人
教職大学院	3人	書類3人、面接3人、模擬授業1人	0人	
医学研究科	24人	書類24人 うち面接・模擬授業1人	14人	書類14人 うち面接・模擬授業2人
保健学研究科	6人	書類選考6人 うち面接及び模擬講義3人、面接のみ3人	4人	書類選考4人 うち面接及び模擬講義3人、面接のみ1人
理工学研究科	2人	書類2人、面接2人、模擬授業2人	2人	書類2人、面接2人、模擬授業2人
農学生命科学部	5人	書類5人、面接5人、模擬授業0人	0人	
地域社会研究科	0人		0人	

令和4年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
人文社会科学部	3人	書類3人、面接3人、模擬授業3人	4人	書類4人、面接4人
教育学部	3人	書類3人、面接3人、模擬授業2人	5人	書類5人、面接5人
教職大学院	2人	書類2人、面接2人、模擬授業1人	1人	書類1人、面接1人
医学研究科	28人	書類28人	9人	書類9人

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
		うち面接・模擬授業 1 人		うち面接・模擬授業 1 人
保健学研究科	6 人	書類選考 6 人 うち面接及び模擬講義 4 人、面接のみ 2 人	7 人	書類選考、面接及び模擬講義 7 人
理工学研究科	7 人	書類 7 人、面接 7 人、模擬授業 7 人	5 人	書類 5 人、面接 5 人、模擬授業 5 人
農学生命科学部	2 人	書類 2 人、面接 2 人、模擬授業 0 人	7 人	書類 7 人、面接 7 人、模擬授業 0 人
地域社会研究科	0 人		0 人	

令和 3 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
人文社会科学部	8 人	書類 8 人、面接 8 人、模擬授業 8 人	3 人	書類 3 人、面接 3 人
教育学部	6 人	書類 6 人、面接 6 人、模擬授業 3 人	4 人	書類 4 人、面接 4 人
教職大学院	3 人	書類 3 人、面接 3 人	1 人	書類 1 人、面接 1 人
医学研究科	28 人	書類 28 人	20 人	書類 20 人 うち面接・模擬授業 1 人
保健学研究科	5 人	書類選考 5 人 うち面接及び模擬講義 2 人、面接のみ 2 人	2 人	書類選考 2 人 うち面接及び模擬講義 1 人
理工学研究科	4 人	書類 4 人、面接 4 人、模擬授業 4 人	12 人	書類 12 人、面接 12 人、模擬授業 12 人
農学生命科学部	3 人	書類 3 人、面接 3 人、模擬授業 0 人	6 人	書類 6 人、面接 6 人、模擬授業 0 人
地域社会研究科	0 人		1 人	面接 1 人、模擬授業 1 人

令和 2 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
人文社会科学部	3 人	書類 3 人、面接 3 人、模擬授業 3 人	4 人	書類 4 人、面接 4 人
教育学部	1 人	書類 1 人、面接 1 人	3 人	書類 3 人、面接 3 人
教職大学院	2 人	書類 2 人、面接 2 人	0 人	
医学研究科	22 人	書類 22 人	5 人	書類 5 人 うち面接・模擬授業 2 人
保健学研究科	9 人	書類選考 9 人 うち面接及び模擬講義 1 人	10 人	書類選考 10 人 うち面接 2 人
理工学研究科	3 人	書類 3 人、面接 3 人、模擬授業 3 人	1 人	書類 1 人、面接 1 人、模擬授業 1 人
農学生命科学部	3 人	書類 3 人、面接 3 人、模擬授業 0 人	2 人	書類 2 人、面接 2 人、模擬授業 0 人
地域社会研究科	0 人		0 人	

基準 2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2-5-2 教員の教育活動、研究活動及びその他の活動に関する評価を継続的に実施していること

【分析の手順】

- ・教員の教育及び研究活動に関する評価を継続的（定期的）に実施すること、及び、教員評価の目的を定めていることについて、規則等で規定していることを確認する。
 - ・基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員に係る教員評価の実施について規則等で規定していることを確認する。
 - ・その他の活動について教員評価を実施している場合は、それを含めて確認する。
- ※その他の活動とは、例えば、管理運営、社会貢献、診療を含む。
- ・規定に基づいて実施されていることについて、評価実施年度、評価対象者、評価結果を確認する。

・教員業績評価の実施状況（別紙様式 2-5-2）

評価実施年度	評価対象者数	評価結果	備考
令和 7 年度 (令和 6 年度業績に係る評価)	682 人	I 型, II 型を合わせた貢献度等評価 による評価分布 V 評価 120 人 IV 評価 203 人 III 評価 204 人 II 評価 111 人 I 評価 44 人 改善すべき点があり問題があると判	活動状況評価と教員の職務に応じた 2 類型（I 型、II 型）の 貢献度等評価を採用しており、貢献度等評価点により評価結 果（I～V）が導かれる。 なお、特別な理由がなく未提出の教員は、すべての評価分野 について「改善すべき点があり問題がある」として（国立大 学法人弘前大学教員業績評価に関する規程第 11 条）、学長主 導のもと、所属部局長が面談等により指導を行っている。ま た、当該教員の昇給や勤勉手当については相応の号俸や成績 率が適用される。

評価実施年度	評価対象者数	評価結果	備考
		定された教員数 0 人	
令和 6 年度 (令和 5 年度業績に係る評価)	683 人	<p>I 型, II 型を合わせた貢献度等評価による評価分布</p> <p>V 評価 106 人 IV 評価 204 人 III 評価 204 人 II 評価 110 人 I 評価 59 人</p> <p>改善すべき点があり問題があると判定された教員数 0 人</p>	<p>活動状況評価と教員の職務に応じた 2 類型 (I 型、II 型) の貢献度等評価を採用しており、貢献度等評価点により評価結果 (I ~ V) が導かれる。</p> <p>なお、特別な理由がなく未提出の教員は、すべての評価分野について「改善すべき点があり問題がある」として (国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程第 11 条)、学長主導のもと、所属部局長が面談等により指導を行っている。また、当該教員の昇給や勤勉手当については相応の号俸や成績率が適用される。</p>
令和 5 年度 (令和 4 年度業績に係る評価)	700 人	<p>I 型, II 型を合わせた貢献度等評価による評価分布</p> <p>V 評価 97 人 IV 評価 194 人 III 評価 230 人 II 評価 130 人 I 評価 47 人</p> <p>改善すべき点があり問題があると判定された教員数 2 人</p>	<p>活動状況評価と教員の職務に応じた 2 類型 (I 型、II 型) の貢献度等評価を採用しており、貢献度等評価点により評価結果 (I ~ V) が導かれる。</p> <p>なお、特別な理由がなく未提出の教員は、すべての評価分野について「改善すべき点があり問題がある」として (国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程第 11 条)、学長主導のもと、所属部局長が面談等により指導を行っている。また、当該教員の昇給や勤勉手当については相応の号俸や成績率が適用される。</p>

※直近 3 年程度の実施状況を記載する。

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 3 評価の結果、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること

【分析の手順】

- ・評価結果を、個々の教員の処遇や教育研究費の配分、改善への指導等に反映させる規定がある場合は、その規定を確認する。
 - ・分析項目 2 - 5 - 2 において確認した評価結果ごとの反映実績を確認する。
 - ・高い評価結果を、個々の教員の処遇や教育研究費の配分に反映させる規定がある場合は、その規定を確認する。
 - ・低い評価結果を、改善への指導を実施する等の規定がある場合は、その規定を確認する。
 - ・上記のほか、継続的な研究成果の創出のために必要な措置や処遇等（研究専念期間の設定、産休・育休等ライフイベントに対応した研究環境維持のための措置など）に関する規定がある場合は、その規定を確認する。
- ・評価結果に基づく取組（別紙様式 2 - 5 - 3）

評価実施年度	評価対象者数	評価結果に基づく取組	備考
令和 7 年度 (令和 6 年度業績に係る評価)	682 人	I 型、II 型を合わせた貢献度等評価による評価分布は V 評価 120 人、IV 評価 203 人、III 評価 204 人、II 評価 111 人、I 評価 44 人、未提出者 0 人であった。 月給制適用者は、評価結果を考慮し給与及び賞与（勤勉手当）に反映させ、年俸制適用者は評価結果に基づく年俸額を決定し、直近の業績を速やかに反映させることとしている。	活動状況評価と教員の職務に応じた 2 類型（I 型、II 型）の貢献度等評価を採用しており、貢献度等評価点により評価結果（I ~ V）が導かれる。 なお、特別な理由がなく未提出の教員は、すべての評価分野について「改善すべき点があり問題がある」として（国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程第 11 条）、学長主導のもと、所属部局長が面談等により指導を行っている。また、当該教員の昇給や勤勉手当については相応の号俸や成績率が適用される。

評価実施年度	評価対象者数	評価結果に基づく取組	備考
令和6年度 (令和5年度業績に係る評価)	683人	I型, II型を合わせた貢献度等評価による評価分布はV評価106人, IV評価204人, III評価204人, II評価110人, I評価59人, 未提出者0人であった。 月給制適用者は, 評価結果を考慮し給与及び賞与(勤勉手当)に反映させ, 年俸制適用者は評価結果に基づく年俸額を決定し, 直近の業績を速やかに反映させることとしている。	活動状況評価と教員の職務に応じた2類型(I型, II型)の貢献度等評価を採用しており, 貢献度等評価点により評価結果(I~V)が導かれる。 なお, 特別な理由がなく未提出の教員は, すべての評価分野について「改善すべき点があり問題がある」として(国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程第11条)、学長主導のもと, 所属部局長が面談等により指導を行っている。また, 当該教員の昇給や勤勉手当については相応の号俸や成績率が適用される。
令和5年度 (令和4年度業績に係る評価)	700人	I型, II型を合わせた貢献度等評価による評価分布はV評価97人, IV評価194人, III評価230人, II評価130人, I評価47人, 未提出者2人であった。 月給制適用者は, 評価結果を考慮し給与及び賞与(勤勉手当)に反映させ, 年俸制適用者は評価結果に基づく年俸額を決定し, 直近の業績を速やかに反映させることとしている。	活動状況評価と教員の職務に応じた2類型(I型, II型)の貢献度等評価を採用しており, 貢献度等評価点により評価結果(I~V)が導かれる。 なお, 特別な理由がなく未提出の教員は, すべての評価分野について「改善すべき点があり問題がある」として(国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程第11条)、学長主導のもと, 所属部局長が面談等により指導を行っている。また, 当該教員の昇給や勤勉手当については相応の号俸や成績率が適用される。

※直近3年程度の取組を記載する。

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 4 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント (FD) を組織的に実施していること

【分析の手順】

・FDの実施内容・方法（教育方法等の研究・研修、教員相互の授業見学等）及び実施状況（教員参加状況を含む。）を確認する。

※教員に対する研修であっても、授業の内容及び方法の改善を図るための研修ではないものについては、分析項目 3 - 4 - 2 において確認する。

・FDの内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 2 - 5 - 4）

取組	主催	実施内容・方法	参加者数
弘前大学教育推進機構キャリアセンターFD講演会	弘前大学教育推進機構キャリアセンター	「大学教員による学生へのキャリア支援と就活支援」	29人
数理・データサイエンス教育センターFD研修会	数理・データサイエンス教育センター	データサイエンス基礎について	20人
教育推進機構FD研修会	教育推進機構	ポスト・コロナ時代の大学授業・大学生・大学教員－未来予想：大学教育はいかに変容していくのか－	63人
数理・データサイエンス教育センターFD研修会	数理・データサイエンス教育センター	データサイエンス基礎について	29人
農学生命科学部FD及びJABEE教育褒賞授与式	農学生命科学部教育改善委員会 農学生命科学部自己評価委員会	令和5年度教育改善に向けたアンケート調査報告，教育改善事例報告 等	約70人
農学生命科学部FD	農学生命科学部教育改善委員会	メンタルヘルスの問題を抱えた学生への対応等について	約70人
保健学研究科FD委員会講演会	保健学研究科	令和6年度FD講演会「SNSを活用した広報セミナー①」R6.6.20	30人
保健学研究科FD委員会講演会	保健学研究科	令和6年度FD講演会「SNSを活用した広報セミナー②」R6.7.17	30人
人材育成に関する意見交換会	地域共創科学研究科	産業界及び自治体等の関係者と各業界が求める人材と授業科目との対応	4人

取組	主催	実施内容・方法	参加者数
		や大学院教育で取り上げるべき地域課題について意見交換を行った。。	
安全衛生講習会及びリスクアセスメント講習会	理工学研究科, 施設環境部	安全・快適に研究生活を送ってもらうための講習会・オンライン開催	119人
「相手に伝わるプレゼン資料の作り方」セミナー	理工学研究科, 農学生命科学部	相手に伝わるプレゼン資料の作り方	120人
教育学部 FD 研修会	研究推進委員会	教育方法等の研究について・研修（毎月教授会開始前等に開催）	全教員
人文社会科学部 FD 研修会 (令和6年11月20日15:30~15:50)	人文社会科学部	令和6年度ハラスメント防止研修会【対面実施】	52人
人文社会科学部 2024年度前期 FD 研修会 (令和6年7月17日12:00~13:00)	人文社会科学部学務委員会 FDワーキンググループ	テーマ「発達障害等を抱える学生のゼミ・卒論指導」【対面実施】	25人
人文社会科学研究科 FD 研修会 (令和6年11月20日14:45~15:15)	人文社会科学研究科運営委員会	テーマ「留学生の受入れ」【対面実施】	約50人
人文社会科学研究科 FD 研修会 (令和6年11月20日14:45~15:15)	人文社会科学研究科運営委員会	テーマ「留学生への指導について」【対面実施】	約50人
人文社会科学部 2024年度後期 FD 研修会 (令和7年3月19日12:00~13:00)	人文社会科学部学務委員会 FDワーキンググループ	テーマ「授業・ゼミでのハラスメントについて考える」【対面実施】	約50人
令和6年度弘前大学医学部連携教育施設におけるFD①	医学部医学科学務委員会	医学教育及び診療参加型臨床実習の現状等について	35人
令和6年度弘前大学医学部連携教育施設におけるFD②	医学部医学科学務委員会	医学教育及び診療参加型臨床実習の現状等について	50人
第1回医学教育センター主催FD	医学教育センター	地域医療の多様なニーズにシームレスに対応できるオールラウンダーの	32人

別紙様式 2 - 5 - 4

弘前大学

取組	主催	実施内容・方法	参加者数
		養成	
第2回医学教育センター主催 FD	医学教育センター	青森県内臨床研修病院における診療参加型臨床実習の魅力	9人
第3回医学教育センター主催 FD	医学教育センター	教育実践の共有～ 臨床実習編～	54人
大学院教育 FD	学事委員会（医学研究科）	J-PEAKS に相応しい魅力的な大学院教育を目指して	24人

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 5 教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者（教育補助者）が配置され、それらの者が適切に活用されていること

【分析の手順】

- ・教育課程を展開する上で（大学の目的等に照らして）必要な教務や厚生補導等を担う職員、教育活動の支援や補助等を行う職員、図書館の業務に従事する職員等の配置状況を確認する。
- ・演習、実験、実習又は実技を伴う授業を補助する職員の配置状況を確認する。
- ・指導補助者（当該授業科目を担当する教員以外の教員、T A等の教育補助者（大学設置基準第 8 条第 3 項））を配置している場合は、その定義・業務内容や採用等に係る手続きが規定されていること、配置状況、活用状況を確認する。

・教育支援者、指導補助者（教育補助者）一覧（別紙様式 2 - 5 - 5）

教育支援者

職種	所属	常勤	非常勤	計
教務関係や厚生補導等を担う職員	人文社会科学部	2	1	84
	教育学部	3	1	
	医学研究科	5	8	
	保健学研究科	5	1	
	理工学研究科	2	2	
	農学生命科学部	2	2	
	地域社会研究科	2	1	
	地域共創科学研究科	2	1	
	学務部	26	18	
教育活動の支援や補助等を行う職員	医学研究科	5	8	41

職種	所属	常勤	非常勤	計
	保健学研究科	5	1	
	理工学研究科	10	0	
	農学生命科学部	7	5	
図書館の業務に従事する職員	附属図書館	11	19	30

指導補助者（教育補助者）

職種	教育研究上の基本組織等	総科目数	配置科目数	延べ人数	備考
T A	人文社会科学部	689	13	7	
T A	教育学部	609	36	61	
T A	医学部医学科	82	13	19	
T A	医学部保健学科	245	20	21	
T A	医学部心理支援科学科	23	7	7	
T A	理工学部	421	62	221	
T A	農学生命科学部	277	33	57	
T A	教養教育開発実践センター	691	40	168	

※職種欄には、大学で規定する指導補助者の職種（例えば、T A、助手等）を記載する。

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 6 教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者（教育補助者）が担当する業務に応じて、研修の実施など必要な質の維持、向上を図る取組を組織的に実施していること

【分析の手順】

・研修等の方針、内容・方法及び実施状況等を確認する。

※教員を除く指導補助者（教育補助者）に対しては必要な研修を行うものとする。

※教育支援者に対する研修であっても、教育活動に関わる研修ではないものについては、分析項目 3 - 4 - 2 において確認する。

・教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 2 - 5 - 6）

職種	研修名	研修内容	主催者	回数	参加 延べ人数
教務関係や厚生補導等を担う 職員	東北地区学生指導研修会	学生指導業務を適正かつ円滑に処理するために必要な基本知識等を講演傾聴と班別討議で習得することにより、学生指導職員としての資質の向上を図る。	東北地区学生指導研究会 弘前大学	1回	5人
	学生総合相談室説明会	学生相談を受ける教職員に対して、保健管理センターカウンセラー（臨床心理士）等から専門的な知識を含めた情報提供を行い、相談の具体的な進め方についての理解を深め、相談員としての資質向上を図る。	学務部学生課	1回	20人
	学生相談を考える会	保健管理センターカウンセラーと教職員の連携・協働による学生相談・学生支援の拡充と相談担当者個々の技量向上を目的に、学生特別支援室コーディネーター等からの情報提供を受け、意見交換を実施	学務部学生課	1回	36人

職種	研修名	研修内容	主催者	回数	参加 延べ人数
		する。			
	学生生活に関する研修会	新入生へ配布する「学生生活ガイド」を基に、「喫煙・アルコール、薬物」に関して保健管理センター所長（医師）が、「大 学生の心の健康」に関して保健管理センターカウンセラー（臨床心理士）が講演を行い、生活指導の内容について理解を深め、学生への指導をより有益なものとする。	学務部学生課	1回	43人
	学生教育研究災害傷害保険説明会	大学における学生支援に携わる担当者向け説明会で、制度の概要や現況報告、事務のポイントについて理解を深める。	公益財団法人日本国際教育支援協会	1回	1人
	日本学生支援機構奨学金業務連絡協議会	高等教育の負担軽減方策に係る文部科学省からの説明を受けるとともに、奨学金業務を適切かつ円滑に行うための知識を習得し、併せて関係機関との情報交換を行う。	（独）日本学生支援機構	1回	1人
	国立大学キャリア支援担当者情報交換会	国立各大学のキャリア支援事業にかかる情報や課題などについての情報共有を図るとともに、それら課題解決に向けての検討を行う。	国立大学キャリア支援担当者情報交換会幹事団（広島大学）	1回	1人
	インターンシップフォーラム	インターンシップの4類型化後の企業、大学それぞれの立場におけるキャリア形成支援活動や、今後の方向性などについての検討を進めることを目的とする。	文部科学省	1回	1人
	弘前大学教育推進機構キャリアセンター	教員意識の向上とそのための具体的な取り組みや学	弘前大学教育推進機	1回	30人

職種	研修名	研修内容	主催者	回数	参加 延べ人数
	FD	生支援の方法を現状の就活状況を踏まえながら経験や事例等を盛り込んだ内容の講演をとおして、キャリア教育及び学生の就職活動の実際についての理解を深め、学生へのキャリア支援と就活支援を大学全体で行っていけるようにすることを目的とする。	構キャリアセンター		
	CBTに関するSD	CBTの概要、スタッフの役割についての説明、指導	医学部医学科学務委員会	1回	5人
	Pre-CC OSCEに関するSD	Pre-CC OSCEの概要、スタッフの役割についての説明、指導	医学部医学科学務委員会	1回	27人
	Post-CC OSCEに関するSD	Post-CC OSCEの概要、スタッフの役割についての説明、指導	医学部医学科学務委員会	1回	21人
教育活動の支援や補助等を行う職員	AHEADJAPANCONFERENCE 2023	障害学生支援に関する講演企画・行政説明・対談企画等を実施するとともに、テーマ別の分科会により障害学生支援に関する最新の動向に触れることで障害学生支援担当職員の資質向上を図る。	一般社団法人 全国高等教育障害学生支援協議会 (AHEAD JAPAN)	1回	1人
	障害学生支援に関する専門テーマ別セミナー「卒業を見据えた障害学生支援」	宮城教育大学で開催した障害学生向けの就職支援企画の実践報告を行い、取り組んだ内容や参加者の声を報告しながら卒後を見据えた障害学生支援や大学に求められる障害学生への就職支援の在り方について考えることで、障害学生支援担当職員の資質向上を図る。	(独)日本学生支援機構 宮崎大学	1回	1人
	障害学生支援に関する専門テーマ別セミナー	「合理的配慮のコモディティ化(一般化)」をテーマ	(独)日本学生支援機構	1回	1人

職種	研修名	研修内容	主催者	回数	参加 延べ人数
	ナー「合理的配慮のコモディティ化と基礎的環境整備」	に、精神医療、地域の発達障害者支援のノウハウと、地方の私立大学・国立大学における先行事例について学び、多様な学生の修学を想定した未来志向の基礎的環境整備について考え、障害学生支援担当職員の資質向上を図る。	構 広島大学		
	ダイバーシティインクルーシブなチーム運営のためのセミナー	「大人の発達障がい特性と関わり方、配慮について」、「障害者雇用の現状と定着支援対策について」の講演を行い、発達障害がある人の雇用に注目することで、発達障害がある人とともに働くことで生まれる可能性や、すべての学生・教職員にとって学び働きやすい大学の環境について考え、障害学生支援担当職員の資質向上を図る。	岩手大学ダイバーシ ティ推進室	1回	1人
	CBTに関するSD	CBTの概要、スタッフの役割についての説明、指導	医学部医学科学務委 員会	1回	5人
	Pre-CC OSCEに関するSD	Pre-CC OSCEの概要、スタッフの役割についての説明、指導	医学部医学科学務委 員会	1回	11人
	Post-CC OSCEに関するSD	Post-CC OSCEの概要、スタッフの役割についての説明、指導	医学部医学科学務委 員会	1回	12人
	令和6年度弘前大学職員自己啓発研修	自己啓発による目的意識の高揚を図るとともに業務遂行に必要な教養・知識を習得させ、大学職員としての資質の向上を図る（画像認識技術を習得し、電子顕微鏡画像の処理など、機器分析業務に活用）	総務部人事課	1回	1人

職種	研修名	研修内容	主催者	回数	参加 延べ人数
図書館の業務に従事する職員	令和 5 年度東北地区大学図書館協議会合同研修会	オープンアクセスと大学図書館	山形大学附属図書館	1 回	97 人
	青森県高等教育機関図書館協議会研修会	オープンアクセス (OA) 推進に向けて：現状と課題	弘前大学附属図書館	1 回	33 人
指導補助者 (教育補助者)	教養教育開発実践センターFD 研修会「地域学ゼミナールにおける TA の役割」	地域学ゼミナールの概要, TA の役割と心構えについての説明, データ分析の演習, グループディスカッションのかかわり方のスキル演習	教育推進機構教養教育開発実践センター	1 回	24 人
	教職実践演習 TA ガイダンス	教職実践演習の概要・TA の役割・業務内容についての説明, 班別討議の進め方についての指導	教職支援センター 教職実践演習 WG	1 回	9 人
	人文社会科学部ティーチングアシスタント研修会	TA の役割, 業務内容, 注意事項の説明	人文社会科学部学務委員会	1 回	7 人
	教育学部ティーチングアシスタント研修会	授業担当者による授業の概要, TA の全般的な業務, 注意事項についての説明	教育学部	1 回	26 人
	医学部・医学科ティーチングアシスタント研修会	ティーチングアシスタントの概要・目的について 業務内容について・勤務に対する注意事項について	医学部・医学科	1 回	9 人
	医学部・保健学科ティーチングアシスタント研修会	ティーチングアシスタントの概要・目的について 業務内容について・勤務に対する注意事項について	医学部・保健学科	1 回	35 人
	理工学部ティーチングアシスタント研修会	TA に従事するうえでの心構え, 業務の内容, 事務手続き等の説明	理工学部	1 回	140 人
	農学生命科学部ティーチングアシスタント研修会	授業の概要, TA の全般的な業務, 注意事項についての説明 コンプライアンス教育	農学生命科学部	1 回	58 人

基準3-1 財務運営が大学等の目的に照らして適切であること
 分析項目3-1-2 教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること

【分析の手順】

- ・過去5年間の予算・決算の状況を確認する。
- ・各項目に関し、30%以上乖離している場合は、その理由を確認する。
- ・経常損失がある場合は、その理由を確認する。
- ・特別損失が過大である場合は、その理由を確認する。

予算・決算の状況（過去5年分）（別紙様式3-1-2）

予算の部

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常費用	41,409,548	41,672,873	43,076,293	45,181,140	46,515,319
教育研究経費	3,484,249	3,774,489	3,655,447	3,714,132	3,400,213
診療経費	14,310,628	14,289,210	16,130,495	17,396,924	17,522,369
人件費	18,697,829	18,400,811	18,434,752	18,995,718	19,994,209
一般管理費	859,724	799,613	759,819	1,013,192	788,386
その他	4,057,118	4,408,750	4,095,780	4,061,174	4,810,142
経常収益	41,449,904	41,357,866	42,552,284	44,325,552	45,229,480
運営費交付金収益	10,322,125	10,139,349	10,089,681	10,160,713	10,370,867
学納金収益（入学、授業、検定料）	3,977,278	4,034,353	4,386,120	4,429,244	4,219,660
附属病院収益	23,125,532	22,747,164	24,352,657	25,962,087	26,749,194
補助金・寄附金収益	1,346,277	1,730,839	2,254,327	2,193,017	2,035,175
その他	2,678,692	2,706,161	1,469,499	1,580,491	1,854,584

決算の部

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常費用	40,516,717	42,362,065	43,719,131	46,108,738	48,412,183
教育研究経費	3,009,303	3,445,819	3,499,169	3,514,833	3,655,485
診療経費	14,077,290	14,905,886	15,879,665	17,205,590	17,981,188
人件費	18,605,913	18,477,172	18,814,352	19,433,748	20,361,849
一般管理費	827,703	939,529	894,448	910,694	967,557
その他	3,996,508	4,593,659	4,631,497	5,043,873	5,446,104
経常収益	42,414,135	43,651,075	44,087,877	44,832,566	47,511,591
運営費交付金収益	10,406,889	10,091,725	9,985,878	10,390,321	10,597,304
学納金収益（入学、授業、検定料）	4,055,733	4,116,831	4,220,333	4,214,118	4,218,590
附属病院収益	22,719,555	24,221,339	24,235,481	25,669,141	27,524,261
補助金・寄附金収益	2,470,303	2,356,885	3,479,291	2,576,474	2,602,801
その他	2,761,655	2,864,295	2,166,894	1,982,512	2,568,635

以下のうち、±30%以上乖離している場合は、その理由を確認する。

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常費用					
教育研究経費	13.6%	8.7%	4.3%	5.4%	-7.5%
診療経費	1.6%	-4.3%	1.6%	1.1%	-2.6%
人件費	0.5%	-0.4%	-2.1%	-2.3%	-1.8%
一般管理費	3.7%	-17.5%	-17.7%	10.1%	-22.7%
その他	1.5%	-4.2%	-13.1%	-24.2%	-13.2%
経常収益					
運営費交付金収益	-0.8%	0.5%	1.0%	-2.3%	-2.2%
学納金収益（入学、授業、検定料）	-2.0%	-2.0%	3.8%	4.9%	0.0%
附属病院収益	1.8%	-6.5%	0.5%	1.1%	-2.9%
補助金・寄附金収益	-83.5%	-36.2%	-54.3%	-17.5%	-27.9%
その他	-3.1%	-5.8%	-47.5%	-25.4%	-38.5%

基準 3-2 管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること

分析項目 3-2-2 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること

【分析の手順】

- ・事業者としての大学に課される法令遵守事項等への対応体制の整備状況として、責任者の役職、責任者の判断と業務遂行を支援する組織、それらの業務及び組織の根拠となる規定を確認する。
- ・予期できない外的環境の変化等に対応するための、危機管理等に対応する責任者の役職、責任者の判断と業務遂行を支援する組織、それらの業務及び組織の根拠となる規定を確認する。
- ・法令遵守事項一覧（別紙様式 3-2-2）

遵守すべき義務	規定等整備状況	責任部署	備考
情報公開	国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程	総務部	
	国立大学法人弘前大学情報公開・個人情報保護委員会規程	総務部	
個人情報保護	国立大学法人弘前大学個人情報管理規程	総務部	
公益通報者保護	国立大学法人弘前大学公益通報対応規程	総務部	
ハラスメント防止	国立大学法人弘前大学ハラスメント防止等に関する規程	総務部	
安全保障輸出管理	国立大学法人弘前大学安全保障輸出管理規程	研究推進部	
生命倫理	弘前大学における人を対象とした医学系研究に関する規程	研究推進部	
	国立大学法人弘前大学認定再生医療等委員会規程	医学部附属病院	
	国立大学法人弘前大学臨床研究審査委員会規程	医学部附属病院	
	弘前大学組換え DNA 実験安全管理規程	研究推進部	
	弘前大学研究用微生物安全管理規程	研究推進部	
動物実験	弘前大学動物実験に関する規程	研究推進部	

別紙様式 3 - 2 - 2

弘前大学

遵守すべき義務	規定等整備状況	責任部署	備考
障害者差別解消	国立大学法人弘前大学における障害を理由とする差別の解消に関する職員対応要領	総務部	

※大学の状況に応じて、その他の遵守すべき義務を、欄を追加して記載する。

・危機管理体制等一覧（別紙様式 3 - 2 - 2）

危機管理事項	規定等整備状況	責任部署	備考
防火・防災	国立大学法人弘前大学防火・防災管理規程	施設環境部	
情報セキュリティ	国立大学法人弘前大学情報システム運用基本方針	情報連携統括本部	
	国立大学法人弘前大学情報システム運用基本規程	情報連携統括本部	
研究費等不正使用、研究活動に係る不正行為防止	国立大学法人弘前大学競争的研究費等の不正防止対策の基本方針	財務部	
	競争的研究費等の管理・監査体制の実務指針	財務部	
	国立大学法人弘前大学の研究活動の不正行為への対応に関する規程	研究推進部	
	国立大学法人弘前大学研究者行動規範	研究推進部	
学生危機対応	弘前大学における災害等発生時の一斉休講に関する申合せ	学務部	
	弘前大学における災害等発生時の学生の安否確認に関する申合せ	学務部	
リスク全般	国立大学法人弘前大学リスクマネジメント基本規則	総務部	
災害対策	国立大学法人弘前大学災害対策規程	総務部	
留学時の危機管理	弘前大学国際交流危機管理対応マニュアル	国際連携本部	

基準 3-2 管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること

分析項目 3-2-3 研究の実施に関して高等教育機関として相応しい規程、方針等が整備され、優れた成果を上げていること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

- ・研究機関としての大学に求められる方針があれば、その内容と責任部署を確認する。
- ・研究の支援・推進制度等が、大学の目的に基づいた研究活動を実施する上で適切に整備されていることを確認する。
- ・当該制度等により、優れた成果を上げていることを確認する。

※この分析項目は、項目の内容を十分に実現し優れて機能している場合に限り、分析する。

- ・研究の実施に関する方針等一覧（別紙様式 3-2-3）

方針等の名称	方針等の主たる内容	責任部署	備考
弘前大学将来ビジョン（第4期）	国際的レベルの研究、新領域を開拓する基礎的研究、地域を守り、育てる研究を推進する。その中で、若手・女性研究者の支援、競争的研究資金の獲得、知的財産の創出と活用、国際共同研究の促進や人材育成の視点に基づき研究力を強化していく。 また、研究分野としては、環境・エネルギー・放射線、食・自然、健康寿命延伸、地域力向上、文化資源の活用を本学の重要なテーマと位置付け、研究の推進を図る。	研究推進部	
競争的研究費等申請の基本方針	科研費を含めた競争的研究費等の獲得は大学運営において重要な位置を占めている現状を踏まえ、研究・イノベーション推進機構と各部局が連携をして競争的研究費等の獲得向上のた	研究・イノベーション推進機構	

方針等の名称	方針等の主たる内容	責任部署	備考
	めの各種取組を行うための基本方針を定める。		
弘前大学地域戦略研究所規程	研究所は、本学における新エネルギーの研究開発及び食料科学に関わる専門的かつ学際的な研究を推進し、本学の教育研究の進展と社会及び産業の発展に資することを目的とする。	地域戦略研究所	
被ばく医療総合研究所戦略会議内規	放射線被ばく医療の研究等に関する重要事項について審議及び決定	被ばく医療総合研究所	
被ばく医療連携推進機構国際アドバイザーボード要項	放射線科学及び被ばく医療分野の教育研究拠点として国内外の関係機関と連携を図りながら“被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な放射線科学教育研究”を推進し、学外の有識者の皆様より多角的・専門的な見地から評価を得ることを目的とする。	被ばく医療総合研究所(被ばく医療連携推進機構)	
被ばく医療総合研究所規程	研究所は、弘前大学における放射線被ばく医療に関する研究を推進し、各学部、各研究科等における教育の支援等を行うほか、緊急被ばく事故に対応できる専門的人材の養成を行うことを目的とする。	被ばく医療総合研究所	
弘前大学被ばく医療連携推進機構規程	機構は、弘前大学(以下「本学」という。)における被ばく医療に関する各種事業を分野・組織を超えた連携を組織的、かつ、戦略的に推進することを目的とする。	被ばく医療総合研究所(被ばく医療連携推進機構)	大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想推進事業 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 災害支援医療従事者養成講座 (リカレント教育プログラム)

別紙様式 3 - 2 - 3

弘前大学

方針等の名称	方針等の主たる内容	責任部署	備考
			高大連携講座 浪江町復興支援活動 以上の活動を各学部, 研究所, センター等が協働し実施して いる。
弘前大学教育学部教育実践協同研究推進委員会申合せ	本委員会は、学部（教職大学院を含む）、附属学校園が連携・協力して行う教育研究活動を企画立案、推進し、学部と附属教員の資質の向上と、学部の教員養成教育及び附属学校園教育の高度化を図り、地域における教育研究活動の活性化に寄与する。	弘前大学教育学部教育実践協同研究推進委員会	

・研究の支援・推進制度等一覧（別紙様式 3 - 2 - 3）

研究の支援・推進制度等の名称	支援・推進の主たる内容	責任部署	実績
兼任教員	兼任教員は研究所長の命を受け、弘前大学地域戦略研究所規程第3条に規定する業務を行う。	地域戦略研究所	5人
客員研究員	地域戦略研究所の業務に関する専門家を学外協力者として置いている。	地域戦略研究所	10人
兼任教員	兼任教員は、研究所長の命を受け、第3条に規定する業務を行う。	被ばく医療総合研究所	3人
客員研究員	被ばく医療総合研究所の業務に関する専門家を学外協力者として置いている	被ばく医療総合研究所	16人
招聘教授	被ばく医療総合研究所（被ばく医療連携推進機構）の業務に関する専門家を学外協力者として置いている	被ばく医療総合研究所	1人

研究の支援・推進制度等の名称	支援・推進の主たる内容	責任部署	実績
客員教授	被ばく医療総合研究所の業務に関する専門家を学外協力者として置いている	被ばく医療総合研究所	1人
国際アドバイザーボード委員	被ばく医療総合研究所(被ばく医療連携推進機構)の業務に関する専門家を学外協力者として置いている	被ばく医療総合研究所	8人
弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定	本誌には学部教員、附属学校教員の教育実践に関する研究論文並びに報告、紹介などを掲載する。附属学校教員の執筆に際しては、学部教員がアカデミックチェックを行い、学術性と信頼性を担保している。	弘前大学教育学部教育実践協同研究推進委員会	11編
次世代重点研究	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の研究者による新しい研究グループ又は更なる発展が期待される研究グループを育成し、本学において次世代の看板となり得る研究の創出を目的に実施する。 ・研究代表者が55歳以下であり、2名以上の研究者による研究グループへ研究費を支援する。研究期間は1～2年間。 ・研究費の配分額は審査結果の順位により決定し、第1位は年間400万円、第2位は年間200万円を原則上限とする。 <p>なお、令和6年度以前はテーマ別としており、Aテーマは年間300万円、Bテーマは年間100万円を原則上限としている。</p>	研究・イノベーション推進機構	採択件数 ●令和6年度 新規 Aテーマ2件 継続 Aテーマ2件 ●令和5年度 新規 Aテーマ2件 継続 Aテーマ2件 Bテーマ1件 ●令和4年度(開始年度) 新規 Aテーマ2件 Bテーマ1件
若手研究者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の発展が期待できる若手研究者の独創的かつ挑戦的な研究を支援する。 ・若手研究者(40歳以下)で、単独研究者又は複数の研究者による研究グループへ研究費を支援する。 	研究・イノベーション推進機構	採択件数 ●令和6年度 新規8件、継続6件 ●令和5年度

研究の支援・推進制度等の名称	支援・推進の主たる内容	責任部署	実績
	<p>・研究費の配分額は 100 万円を上限とし、研究期間は、以下の区分から選択する。</p> <p>② 研究費 100 万円／年、研究期間 1 年間</p> <p>② 研究費 50 万円／年、研究期間 2 年間</p>		<p>新規 12 件、継続 4 件</p> <p>●令和 4 年度 新規 12 件</p>
新任教員研究スタート支援事業	<p>・着任後間もない将来の発展が期待できる若手研究者が研究活動をスムーズに行えるよう、本学に新規採用された常勤教員（40 歳以下）に対して、50 万円を上限として研究経費を支援する。</p>	研究・イノベーション推進機構	<p>採択件数</p> <p>●令和 6 年度 23 件</p> <p>●令和 5 年度 23 件</p> <p>●令和 4 年度 17 件</p>
研究論文校閲料支援事業	<p>・外国語による研究論文を国際ジャーナル等の各種学術雑誌へ投稿する際に必要となる経費の一部又は実費を支援する。</p>	研究・イノベーション推進機構	<p>●令和 6 年度 45 件</p> <p>●令和 5 年度 28 件</p> <p>●令和 4 年度 36 件</p> <p>●令和 3 年度 57 件</p> <p>●令和 2 年度 44 件</p> <p>●令和元年度 36 件</p>
共用研究設備整備支援事業	<p>・研究者単独では購入が困難な設備について、科研費等により共同購入する研究設備に係る購入経費を支援する。</p> <p>・支援額は最大で設備購入額の 1/2 とし、500 万円を上限とする。</p>	研究・イノベーション推進機構	<p>●令和 6 年度 3 件</p> <p>●令和 5 年度 4 件</p> <p>●令和 4 年度 3 件</p> <p>●令和 3 年度 7 件</p> <p>●令和 2 年度 5 件</p>
設備修理・アップグレード支援事業	<p>・本学が推進する研究設備の高度化、研究環境の向上及び研究機器の共用化に向けて、研究設備の修理・アップグレードに係る経費を支援する。</p> <p>・支援総額は事業全体で 300 万円程度</p>	研究・イノベーション推進機構	<p>●令和 6 年度 2 件</p> <p>●令和 5 年度 2 件</p> <p>●令和 4 年度 1 件</p> <p>●令和 3 年度 1 件</p>

別紙様式 3 - 2 - 3

弘前大学

研究の支援・推進制度等の名称	支援・推進の主たる内容	責任部署	実績
			<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度 2件 ●令和元年度 1件
<p>科研費獲得支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科研費に応募したが不採択となった研究課題に対して、次年度以降の採択に向け、その研究費の一部を支援する。 ・研究計画調書のアカデミックチェックを2回実施する。 	<p>研究・イノベーション推進機構</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度 67件 ●令和5年度 52件 ●令和4年度 49件 ●令和3年度 105件 ●令和2年度 80件 ●令和元年度 49件
<p>共同研究トライアルファンド</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究に際し、従来企業等が本学に対し支払っていた大学の共同研究経費を企業等に代わり支援する。 ・支援総額は事業全体で2,300万円程度 	<p>研究推進部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度 5件 ●令和5年度 5件 ●令和4年度 7件 ●令和3年度 6件 ●令和2年度 4件 ●令和元年度 3件

※大学の状況に応じて、欄を追加して記載する。

基準 3-3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

分析項目 3-3-1 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

【分析の手順】

- ・円滑な管理運営の実現に資するための組織について、役割や人員の配置状況、責任体制、規模を確認する。

- ・管理運営に係る組織一覧（部署ごとの人数（分析項目 2-5-5 教育支援者を含む。））（別紙様式 3-3-1）

部署	主な役割	常勤	非常勤	計	備考
法人内部監査室	内部監査, 監事の業務を補佐	2人	0人	2人	
総務部	大学の事務の総括及び連絡調整, 大学の重点施策に係る企画立案及び連絡調整, 人事・給与事務の総括及び連絡調整, 大学の広報及び情報の事務の総括及び連絡調整	50人	18人	68人	
財務部	財務会計の総括, 収入及び支出, 契約及び物品の管理処分の総括	34人	5人	39人	
学務部	大学教育に係る各種情報の収集, 調査及び提供, 学生指導の総括及び連絡調整, 入学者選抜の総括及び連絡調整, 学生の就職指導, 就職あっせん等就職支援	32人	18人	50人	
施設環境部	施設整備の総括及び連絡調整, キャンパスの整備計画及び環境安全, 建築設備の整備	6人	6人	12人	

部署	主な役割	常勤	非常勤	計	備考
研究推進部	研究推進の事務の総括及び連絡調整	12 人	11 人	23 人	
社会連携部	社会連携の事務の総括及び連絡調整	10 人	8 人	18 人	
学部等事務部	儀式及び諸行事・会議, 学部等の将来計画及び中期目標・中期計画	90 人	83 人	173 人	
附属図書館事務部	学術情報の事務の総括及び連絡調整	11 人	19 人	30 人	
医学部附属病院事務部	医学部附属病院の事務の総括及び連絡調整, 予算及び決算, 会計関係の監査及び照査, 患者に関すること	72 人	67 人	139 人	
国際連携本部	国際連携に係る重要事項に関する企画及び立案 並びに調整	6 人	4 人	10 人	

基準 3-3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

分析項目 3-3-2 教育の国際化を推進する組織を有する場合は、当該組織が優れた機能を有し、成果を上げていること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

- ・教育の国際化を推進する組織について、人員の配置状況、責任体制、規模を確認する。
- ・当該組織により、優れた成果を上げていることを確認する。

※この分析項目は、項目の内容を十分に実現し優れて機能している場合に限り、分析する。

・教育の国際化を推進する組織一覧（別紙様式 3-3-2）

組織	主な業務	常勤	非常勤	計	成果
国際連携本部	<ul style="list-style-type: none"> ・本学学生の留学に係る修学上及び生活上の指導助言に関すること。 ・留学プログラムの実施に係る企画，立案，調整等に関すること。 ・外国人留学生に対する日本語及び日本事情の教育並びに修学及び生活に係る指導助言に関すること。 ・外国人留学生の交流に関すること。 	11人	4人	15人	
被ばく医療総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省原子力研究交流制度による海外研究者の受入れ ・国際放射線防護研修プログラムによる海外研究者及び学生の受入れ 	8人	1人	9人	・大学院博士課程等における外国人留学生の増加

組織	主な業務	常勤	非常勤	計	成果
被ばく医療連携推進機構	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員や学生の放射線科学に関連した教育研究における国際交流の推進と支援 ・被ばく医療に関連する東南アジア諸国, 欧州及びオセアニア地域の教育研究機関との交流推進 ・韓国原子力医学院 (KIRAMS) との放射線災害対応訓練の推進と協力体制の構築活動 	2人	0人	2人	<ul style="list-style-type: none"> ・ESRAH の開催 ・カセサート大学での放射線科学に関する日本-タイ二国間セミナーへの教員派遣 ・KIRAMS との国際ジョイントリサーチシンポジウム ・KIRAMS との緊急被ばく医療合同訓練
人文社会科学部外国語教育等推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・学部の外国語教育の授業計画の立案・作成に関すること。 ・外国語の教育カリキュラム・教育プログラムの編成・運営・成績評価等に関すること。 ・学生の海外留学及び海外研修等のサポートに関すること。 ・地域のグローバル化推進強化のための方策の検討に関すること。 ・その他外国語教育等の推進に関すること。 	7人	0人	7人	教育の国際化へ対応するため、「英語重点プログラム」(令和6年度導入)、「スタディアブロード」及び「グローバルゲートウェイ」など新たな授業科目の開講を行った。

組織	主な業務	常勤	非常勤	計	成果
医学研究科国際交流研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の大学等からの教員・研究生及び学生の受入れに関すること ・外国の大学等への教職員及び学生等の派遣に関すること 	6人	0人	6人	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、外国の大学等からの学生を短期留学生として4名程度受け入れている。また、令和6年度においては、外国の大学から教員1名を外国人研究者として受入れた。 ・毎年、外国の大学等へ1~2名の教職員を派遣している。
医学部医学科学務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学部学生の外国の大学等への派遣 	7人	0人	7人	毎年学部学生を短期留学生として、4名程度を外国の大学へ派遣している。

※この分析項目においては、非常勤には派遣職員や外部委託等も含め、組織の業務に従事する全体的な人員規模が分かるように記載する。

基準 3-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者との連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること

分析項目 3-4-1 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること

【分析の手順】

- ・大学の管理運営のための組織の責任体制（分析項目 3-2-1）と事務組織（分析項目 3-3-1）の関係を確認する。
- ・大学の管理運営に係る合議体に、教員と事務職員が構成員として参加していることを確認する。

※役割分担が適切であるとは、教員と事務職員等がそれぞれの役割分担において責任を有しつつ協力して円滑な管理運営の実現に資する状況にあることを想定している。

・教職協働の状況（別紙様式 3-4-1）

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
総務委員会	(1)理事（総務担当） (2)人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部 並びに大学院医学研究科、保健学研究科及び理工 学研究科並びに医学部附属病院の長より推薦さ れた教員 各1名	(3)総務部長、財務部長、施設環境部長、医 学部附属病院事務部長、総務部総務企画 課長、財務部財務企画課長、施設環境部施 設企画課長及び医学部附属病院経営企画 課長	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第 74 条） 国立大学法人弘前大学総務委員会要項（第 3条）
教育委員会	(1)理事（教育担当） (2)人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部 並びに大学院医学研究科、保健学研究科及び理工 学研究科の長より推薦された教員各1名 (3)理事（教育担当）が指名する職員（教養教育開 発実践センター長）	(4)学務部長、教務課長、学生課長、入試 課長	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第 74 条） 国立大学法人弘前大学教育委員会要項（第 3条）

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
研究委員会	(1)理事（研究担当） (2)人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部 並びに大学院医学研究科、保健学研究科及び理工 学研究科の長より推薦された教員 各1名	(3)研究推進部長及び研究推進部研究推進 課長	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第74 条） 国立大学法人弘前大学研究委員会要項
社会連携委員会	(1)理事（社会連携担当） (2)人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部 並びに大学院医学研究科、保健学研究科及び理工 学研究科の長より推薦された教員	(3)社会連携部長、総務部総務企画課長、 社会連携部社会連携課長、医学部附属病 院総務課長 (4)理事（社会連携担当）が指名する職員	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第74 条） 国立大学法人弘前大学社会連携委員会要項 （第3条）
ハラスメント防止等対策委員 会	(1)学長が指名する理事1名 (2)学長が指名する副理事1名 (3)人文社会科学部、教育学部及び農学生命科学部 並びに大学院医学研究科、保健学研究科及び理工 学研究科の教授のうちから学長が指名する教員 各1名 (5)その他学長が必要と認める者	(4)総務部長及び学務部長 (5)その他学長が必要と認める者	国立大学法人弘前大学管理運営規則 国立大学法人弘前大学ハラスメント防止等 に関する規程
入学試験委員会	(1)学長 (2)理事（教育担当） (3)各学部長 (4)医学部保健学科長 (5)地域社会研究科長及び地域共創科学研究科長 (6)学部及び大学院研究科の入学試験委員会委員の うちから1名 (7)保健管理センター所長	(8)学務部長 (9)入試課長	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第 106条） 弘前大学入学試験委員会規程（第3条）

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
組換え DNA 実験安全委員会	(1)組換え DNA 研究関係の教員 (2)教育学部及び農学生命科学部並びに大学院医学研究科、大学院保健学研究科及び大学院理工学研究科から推薦された組換え DNA 研究関係の教員以外の自然科学分野の教員 (3)人文社会科学部及び教育学部から推薦された人文・社会科学分野の教員 (4)保健管理センター所長	(5)研究推進部長	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第106条） 弘前大学組換え DNA 実験安全管理規程（第4条）
バイオセーフティ委員会	(1)教育学部，農学生命科学部，大学院医学研究科，大学院保健学研究科，大学院理工学研究科及び附属病院から推薦された微生物を取り扱う教員 (2)教育学部，農学生命科学部，大学院医学研究科，大学院保健学研究科及び大学院理工学研究科から推薦された自然科学分野の教員 (3)人文社会科学部及び教育学部から推薦された人文・社会科学分野の教員 (4)組換え DNA 実験安全委員会委員のうちから推薦された教員 (5)動物実験委員会委員のうちから推薦された教員 (6)保健管理センター所長	(7)学務部長 (8)研究推進部長	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第106条） 弘前大学研究用微生物安全管理規程（第4条）
放射線安全管理委員会	(1)人文社会科学部長 (2)大学院医学研究科長 (3)大学院保健学研究科長	(9)総括安全衛生管理者 (10)第11条に定める主任者連絡会から選出された者	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第106条） 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
	(4)大学院理工学研究科長 (5)農学生命科学部長 (6)医学部附属病院長 (7)総合実験室長 (8)医学部附属病院放射線部長 (9)総括安全衛生管理者 (10)第 11 条に定める主任者連絡会から選出された者 2名		(第 6 条) 国立大学法人弘前大学職員安全衛生管理規程
環境安全推進本部	(1)本部長（理事（総務担当）） (2)副本部長（本部長が指名する者）	(2)副本部長（施設環境部長）	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第 106 条の 2） 弘前大学環境安全推進本部規程
国際連携本部運営会議	本部長 副本部長 部門長 専任教員 兼任教員 その他議長が必要と認めた者	事務局付調整役（国際連携本部）	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第 106 条の 2 の 2） 弘前大学国際連携本部運営会議要項
地域創生本部地域創生推進室	(1)理事（社会連携担当） (2)理事（社会連携担当）が指名する副理事 (3)専任教員 (4)兼任教員 (8)その他理事（社会連携担当）が必要と認めた者	(5)学務部長 (6)研究推進部長 (7)社会連携部長 (8)その他理事（社会連携担当）が必要と認めた者	弘前大学地域創生本部地域創生推進室要項 (第 4)

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
情報連携統括本部	(1)本部長 理事（企画担当） (2)副本部長（副理事（情報担当）） (3)兼任教員 本部長が指名する教員	(2)副本部長（総務部長） 情報戦略企画室 職員	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第106条の2の4） 弘前大学情報連携統括本部規程
研究・イノベーション推進機構共用機器基盤センター運営委員会	・センター長 ・副センター長 ・教育学部，農学生命科学部，大学院医学研究科，大学院保健学研究科及び大学院理工学研究科から選出された教員 各1名 ・その他センター長が必要と認めた者	・研究推進課長	弘前大学研究・イノベーション推進機構共用機器基盤センター要項 共用機器基盤センター運営委員会内規
評価室	(1)学長が指名する理事 1名 (2)各部長の推薦に基づき学長が任命する教員各2名 (4)その他室長が必要と認めた職員	(3)学長が任命する事務職員 3名	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第107条）
法人内部監査室	(1)学長が指名する職員	(2)専任事務職員	国立大学法人弘前大学管理運営規則（第109条）
男女共同参画推進室	(1)各部長の推薦に基づき学長が任命する職員各1名 (2)学長が任命する職員 若干名 (3)その他室長が必要と認めた職員	(1)各部長の推薦に基づき学長が任命する職員 各1名 (2)学長が任命する職員 若干名 (3)その他室長が必要と認めた職員	国立大学法人弘前大学管理運営規則（110条の2第2項）
会計監査人候補者選定委員会	法人内部監査室長、人文社会学部教員1名	理事（総務担当）、財務部長、財務企画課長、財務管理課長、附属病院経営企画課長	会計監査人候補者選定委員会の設置について（平成25年4月4日 学長裁定）
資金運用管理委員会	(6)その他運用に関して知識を有する者で委員会が必要と認めた者	(1)理事（総務担当） (2)総務部長	国立大学法人弘前大学余裕金運用規程

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
		(3)財務部長 (4)財務部財務企画課長 (5)財務部財務管理課長	
安全衛生委員会	(1)総括安全衛生責任者（理事（総務担当、附属病院長）） (2)衛生管理者の中から総括安全衛生管理者が指名した者 (3)産業医の中から総括安全衛生管理者が指名した者 (4)安全及び衛生に関する経験を有する者の中から総括安全衛生管理者が指名した者	(2)衛生管理者の中から総括安全衛生管理者が指名した者 (4)安全及び衛生に関する経験を有する者の中から総括安全衛生管理者が指名した者	国立大学法人弘前大学安全衛生委員会内規
アイソトープ総合実験室運営委員会	(1) 総合実験室長 (2) 教育学部及び農学生命科学部並びに大学院医学研究科保健学研究科及び理工学研究科から選出された教員1名。 (3) 保健管理センター所長 (4) 放射線取扱主任者及び放射線取扱主任者の代理者 (5) 放射線安全管理担当者 (7) その他委員長が必要と認めた職員	(4) 放射線取扱主任者及び放射線取扱主任者の代理者 (5) 放射線安全管理担当者 (6) 被ばく医療総合研究所事務室長 (7) その他委員長が必要と認めた職員	アイソトープ総合実験室運営委員会内規（第2条）
利益相反マネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事（研究担当） ・ 各学部及び研究科から選出された教授 各1名 ・ 医学部附属病院の副病院長 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務部長 ・ 研究推進部長 	弘前大学利益相反ポリシー 国立大学法人弘前大学利益相反マネジメント規程

別紙様式 3 - 4 - 1

弘前大学

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
	・利益相反アドバイザー ・その他委員長が必要と認める者		

基準 3-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者の間の連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること

分析項目 3-4-2 管理運営に従事する教職員の能力の質の向上に寄与するため、スタッフ・ディベロップメント（SD）を実施していること

【分析の手順】

・SDの実施内容・方法及び実施状況（参加状況を含む。）を確認する。

※大学が独自に実施する研修と、学外の団体が主催する合同研修の企画（例えば、国立大学協会の大学マネジメントセミナー、公立大学協会の公立大学職員セミナー）とを区別する。

※スタッフ・ディベロップメント（SD）とは、大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員（事務職員のみならず教員も含む。）を対象とした、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けるとともに、その他必要な取組を行うことをいう。

・SDの内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 3-4-2）

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
弘前大学新採用職員研修	弘前大学	社会人としての使命と心構えを自覚させるとともに、新採用職員として本学に共通して必要とされる業務遂行上の基礎知識等を習得し、併せて本学職員としての一体感を培うことを目的として実施した。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	18人
弘前大学新任教員ガイダンス	弘前大学	大学における教育研究活動や大学運営上の基本知識を取得させ、大学運営に関する理解を深めるとともに本学の教員に求められる倫理観や法令順守の意識を身につけることを目的として実施した。 実施方法：講義	<input type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 事務職員	62人
弘前大学監督者研修（JST基本コース）	弘前大学	管理能力を付与し、監督者としての資質を向上させることにより、業務の能率的運営を図ることを目的として実施した。	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員	17人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		実施方法：講義・ワークショップ	<input checked="" type="checkbox"/> 事務職員 <input checked="" type="checkbox"/> 医療職員	
弘前大学英会話研修	弘前大学	大学業務の国際化に対応するため、職務に必要な基礎的実用英会話等を修得させ、国際交流等の円滑な運営を図ることを目的として実施した。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	19人
弘前大学職員自己啓発研修(放送大学科目等履修)	弘前大学	自己啓発による目的意識の高揚を図るとともに業務遂行に必要な教養・知識を習得させ、大学職員としての資質の向上を図ることを目的として実施した。 実施方法：講義	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	9人
弘前大学職員企画型派遣研修	弘前大学	企画力、交渉力及び業務に関する多様な視点や知識を習得させ、もって職務における業務効率化等に活かすことで本学の事務機能の向上に寄与することを目的として実施した 実施方法：ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	9人
弘前大学ハラスメント対策講習会	弘前大学	ハラスメント防止徹底の観点から、ハラスメントに関する理解及び意識の向上を図るため、研修を実施した。 実施方法：eラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員 <input checked="" type="checkbox"/> 医療職員	2,747人
情報セキュリティ e-learning	弘前大学	構成員の情報セキュリティに関する意識向上を目的として、サイバー攻撃への対策など、最新の情報セキュリティ対策に関する知識を学ぶ情報セキュリティ e-learning を実施した。 実施方法：eラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員 <input checked="" type="checkbox"/> 医療職員	2,606人
コンプライアンス研修	弘前大学	コンプライアンス事案の発生を防止する観点から、教職員に対し、コンプライアンスの重要性に関する認識を高め、遵守すべき法令等に関する理解の増進及び周知徹底を図るため、コンプライアンス研修を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2,679人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		実施方法：eラーニング	■医療職員	
個人情報保護に関する研修	弘前大学	個人情報の取扱いについて理解を深め、個人データ等の適切な管理のため、必要な教育研修を行うことを目的として実施。 実施方法：eラーニング	■役員 ■教員 ■事務職員 ■医療職員	2, 563人
東北地区係長級研修	人事院東北事務局	職務の遂行に必要な幅広い知識、教養及び広範な行政的視野、管理能力並びに社会的識見を付与し、将来、地方機関における中堅幹部となるべき人材を育成することを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	□役員 □教員 ■事務職員	2人
東北地区課長級研修(民間交流研修)	人事院東北事務局	管理者としての職務の遂行に必要な広範な行政的識見を更に深めさせ、高度の管理能力を一層充実させることにより、地方機関における上級幹部となるべき人材を育成するとともに、民間企業の管理者との交流を通じて、幅広い考え方を身につけ、相互啓発・相互理解を図ることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	□役員 □教員 ■事務職員	1人
東北地区女性職員のためのキャリア支援研修	人事院東北事務局	女性職員の主体的・積極的なキャリア形成を支援するため、キャリア形成に関する知識の付与や相互啓発等による業務遂行能力の伸長、マネジメント能力開発を目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	□役員 □教員 ■事務職員	1人
東北地区メンター養成研修	人事院東北事務局	メンターに必要な基本的な知識、意識、コミュニケーションスキルを習得させ、併せてメンターの風土を職場内に醸成させることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	□役員 □教員 ■事務職員	1人
東北地区 JST 基本コース(仕事と人のマネジメント研修)指導	人事院東北事務局	仕事の管理や部下の指導などに関する原則を組織的、体系的に理解させるとともに実践的能力を付与する。また、JST基本コースの指導者として必要な知	□役員 □教員	1人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
者養成課程		識・技法を修得させることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	■事務職員	
東北地区マネジメント能力向上研修	人事院東北事務局	職場の第一線のリーダーとして必要となるマネジメント能力について、振り返る機会を付与するとともに、基礎的な知識の修得及び実践的な能力の向上を目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■事務職員	1人
キャリア支援研修20	人事院東北事務局	キャリアについて視野を広げること、キャリアについて現実を踏まえて主体的に考えること及び中期的なキャリア観を持てるようになることを支援すると共に、将来像に向けて一歩行動に踏み出す契機とすることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■事務職員	1人
東北地区国立大学法人等「係長級職員のためのラインケア研修」	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	部下の指導・育成に必要なスキルを習得させ、国立大学法人等の管理運営の重要な担い手として資質向上を図ることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■事務職員	10人
東北地区国立大学法人等「中堅職員・主任のための指導力・企画力アップ研修」	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	コミュニケーション技法と後輩職員への適切な指導法及び企画力を習得させることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■事務職員	6人
東北地区国立大学法人等「若手職員のための社会人基礎力養成研修」	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	業務を着実に遂行するために必要な基本的、一般的知識を習得させることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■事務職員	6人
東北地区国立大学法人等「ミドルマネージャーのためのリーダーシップ育成研修」	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	リーダーとしてまとめるチームの諸概念について、自身を取り巻く実態から理解すること、リーダーとして、チームの資源を活かすためのポイントを理解すること、リーダーとして、メンバーへのアプローチの仕方を理解すること及び「チーム（職場）」を俯瞰し、ビジョンを描くことを目的とする。	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■事務職員	6人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		実施方法：講義・ワークショップ		
東北地区国立大学法人等安全管理協議会	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	職務上の諸問題について研究協議を行うことにより、その安全管理に関する能力の一層の向上を図り、職員の安全確保に寄与することを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	5人
東北地区国立大学法人等会計事務研修	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	財務会計事務に必要な見識を広めること並びに知識を深めることにより、各職員の業務遂行力の向上、法人等会計担当職員としての意識改革を図ることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	9人
東北地区国立大学法人等施設系技術職員研修	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	施設整備・維持管理に係る知識を深め、その職務遂行に必要な能力の向上を図ると共に、他機関の施設系技術職員同士との交流を促すことを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2人
東北地区国立大学法人等管理事務セミナー	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	労働関係法令、労働政策及び人事労務諸制度等に関する知識を付与するとともに、それぞれの実務及び課題解決に向けた仕組みを理解することにより労務担当能力の一層の向上を目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	4人
東北地区国立大学法人等技術職員研修	一般社団法人国立大学協会東北地区支部	講義、技術発表及び実技等を通して、高度の専門知識及び技術等を修得させ、もって、職員の資質の向上等を図ることを目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2人
国立大学法人等部課長級研修	一般社団法人国立大学協会	大学運営の基本的知識の修得と幹部職員としての能力の向上を目的とする。 実施方法：講義・ワークショップ	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1人
国立大学法人等若手職員勉強会	一般社団法人国立大学協会	個々の事務職員における資質・能力の向上を図ることにより、国立大学等の組織・経営環境の改善や将来構想の構築などに資することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員	1人

別紙様式 3 - 4 - 2

弘前大学

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		実施方法：講義・ワークショップ	■事務職員	
情報システム統一研修	総務省	各府省の橋渡し人材の育成及び一般職員の情報リテラシー向上等を目的とする。 実施方法：eラーニング	<input type="checkbox"/> 役員 ■教員 ■事務職員	8人

基準 3-6 大学の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

分析項目 3-6-1 法令等が公表を求める事項を公表していること

【分析の手順】

- ・大学等の目的、学位授与方針、教育課程方針及び学生受入方針、その他法令が定める教育研究活動等についての情報を社会一般に対し、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により広く公表していることを確認する。
- ・基幹教員制度を導入している場合は、「大学設置基準等の一部を改正する省令等の公布について（通知）」（令和4年9月30日付4文科高第963号高等教育局長通知）に記載されている関連の情報公表等が行われていることも確認する。
- ・法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧（別紙様式3-6-1）
 - ※ 公表状況について、ウェブサイトで公表している場合はその情報が掲載されているウェブページが直接閲覧できる URL を記載してください。ウェブサイト以外で公表している場合は、URL ではなく具体的な公表方法を記載してください。
 - ※ 基幹教員制度を導入している場合は、「大学設置基準等の一部を改正する省令等の公布について（通知）」（令和4年9月30日付4文科高第963号高等教育局長通知）に記載されている関連の情報公表等について記載してください。（該当がない場合は、項目を削除してください。）

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL等））
《学校教育法施行規則第172条の2 第1項》	
教育情報 <input type="checkbox"/> 大学の目的 <input type="checkbox"/> 学位授与方針、教育課程方針、学生受入方針 <input type="checkbox"/> 教育研究上の基本組織 <input type="checkbox"/> 教育研究実施組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 <input type="checkbox"/> 入学者の選抜に関する事 <input type="checkbox"/> 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の	<input type="checkbox"/> 大学の目的 （URL： https://www.hirosaki-u.ac.jp/wordpress_data/annai/172-2/01/01.pdf ） <input type="checkbox"/> 学位授与方針、教育課程方針、学生受入方針 （URL： https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html ） <input type="checkbox"/> 教育研究上の基本組織 <input type="checkbox"/> 教育研究実施組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 <input type="checkbox"/> 入学者の選抜に関する事

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL等））
<p>数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数</p> <p><input type="checkbox"/> 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画</p> <p><input type="checkbox"/> 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準</p> <p><input type="checkbox"/> 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境</p> <p><input type="checkbox"/> 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用</p> <p><input type="checkbox"/> 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援</p>	<p><input type="checkbox"/> 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数</p> <p><input type="checkbox"/> 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画</p> <p><input type="checkbox"/> 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準</p> <p><input type="checkbox"/> 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境</p> <p><input type="checkbox"/> 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用</p> <p><input type="checkbox"/> 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援</p> <p>(URL: https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/educationalinfo/)</p>
<p>※基幹教員制度を導入している場合</p> <p><input type="checkbox"/> 基幹教員の数（専ら当該大学の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の内訳）</p> <p><input type="checkbox"/> 各基幹教員が有する学位</p> <p><input type="checkbox"/> 教育研究等の業績</p> <p><input type="checkbox"/> 教育課程の編成その他の学部の運営への参画の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 主要授業科目の担当の有無や単位数の状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 基幹教員の数（専ら当該大学の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の内訳）</p> <p><input type="checkbox"/> 各基幹教員が有する学位</p> <p><input type="checkbox"/> 教育研究等の業績</p> <p><input type="checkbox"/> 教育課程の編成その他の学部の運営への参画の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 主要授業科目の担当の有無や単位数の状況</p> <p>(URL: https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/educationalinfo/)</p>
《学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 2 項》	
<p>専門職大学等及び専門職大学院を置く大学は、専門性が求められる職業に就いている者、当該職業に関連する事業を行う者その他の関係者との協力の状況についての情報</p>	<p>(URL: https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/educationalinfo/)</p>
《学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 3 項》	
<p><input type="checkbox"/> 研究科、専攻又は学生の履修上の区分ごとの、当該大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合</p>	<p><input type="checkbox"/> 研究科、専攻又は学生の履修上の区分ごとの、当該大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合</p>

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
<input type="checkbox"/> 学位授与の状況 <input type="checkbox"/> 学位論文に係る評価に当たっての基準	<input type="checkbox"/> 学位授与の状況 <input type="checkbox"/> 学位論文に係る評価に当たっての基準 （URL： https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/educationalinfo/ ）
《学位規則第 8 条》	
博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨	（URL： https://hirosaki.repo.nii.ac.jp/ ）
《独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令第 12 条》 《その他情報公開に関する法令等、それぞれの設置形態別に定められた法令》	
財務諸表等	（URL： https://www.hirosaki-u.ac.jp/info/finance/zaimu/ ）
《学校教育法第 109 条第 1 項》	
自己点検・評価の結果	（URL： https://www.hirosaki-u.ac.jp/info/evaluation/jikotenken/ ）
《法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律第 5 条》	
法科大学院の教育課程等の公表 <input type="checkbox"/> 法科大学院の教育課程並びに教育課程を履修する上で求められる学識及び能力 <input type="checkbox"/> 法科大学院における成績評価の基準及び実施状況 <input type="checkbox"/> 法科大学院における修了の認定の基準及び実施状況 <input type="checkbox"/> 法科大学院の課程を修了した者の進路に関する状況	<input type="checkbox"/> 法科大学院の教育課程並びに教育課程を履修する上で求められる学識及び能力 （URL： ） <input type="checkbox"/> 法科大学院における成績評価の基準及び実施状況 （URL： ） <input type="checkbox"/> 法科大学院における修了の認定の基準及び実施状況 （URL： ） <input type="checkbox"/> 法科大学院の課程を修了した者の進路に関する状況 （URL： ）
《専門職大学院設置基準第 20 条の 7》	
法科大学院における情報の公表 <input type="checkbox"/> 入学者選抜における志願者及び受験者の数その他入学者選抜の実施状況	<input type="checkbox"/> 入学者選抜における志願者及び受験者の数その他入学者選抜の実施状況に関すること

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
<p>況に関すること</p> <p><input type="checkbox"/>法科大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合及び年度当初に法科大学院に在籍した者のうち当該年度途中で退学した者の占める割合</p> <p><input type="checkbox"/>法科大学院が開設する授業科目のうち基礎科目若しくは応用科目又は選択科目として開設するものの名称</p> <p><input type="checkbox"/>授業料、入学料その他の法科大学院が徴収する費用及び修学に係る経済的負担の軽減を図るための措置に関すること</p> <p><input type="checkbox"/>法科大学院に入学した者のうち法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律第 10 条第 1 号又は第 2 号に該当していた者それぞれの占める割合及びこれらの号に該当していた者（法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験法第 1 条第 1 項に規定する司法試験を受けたもののうち当該試験に合格したものの占める割合</p>	<p>(URL :)</p> <p><input type="checkbox"/>法科大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合及び年度当初に法科大学院に在籍した者のうち当該年度途中で退学した者の占める割合</p> <p>(URL :)</p> <p><input type="checkbox"/>法科大学院が開設する授業科目のうち基礎科目若しくは応用科目又は選択科目として開設するものの名称</p> <p>(URL :)</p> <p><input type="checkbox"/>授業料、入学料その他の法科大学院が徴収する費用及び修学に係る経済的負担の軽減を図るための措置に関すること</p> <p>(URL :)</p> <p><input type="checkbox"/>法科大学院に入学した者のうち法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律第 10 条第 1 号又は第 2 号に該当していた者それぞれの占める割合及びこれらの号に該当していた者（法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験法第 1 条第 1 項に規定する司法試験を受けたもののうち当該試験に合格したものの占める割合</p> <p>(URL :)</p>
《H15 文科省告示第 53 号第 3 条第 2 項》	
法科大学院の未修者又は実務経験者の割合が 2 割に満たない場合には入学者選抜の実施状況	(URL :)
《教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 》	
認定課程を有する大学は、教員の養成の状況	<input type="checkbox"/> 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
<input type="checkbox"/> 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関する事 <input type="checkbox"/> 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事 <input type="checkbox"/> 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関する事 <input type="checkbox"/> 卒業生の教員免許状の取得の状況に関する事 <input type="checkbox"/> 卒業生の教員への就職の状況に関する事 <input type="checkbox"/> 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関する事	<input type="checkbox"/> 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事 <input type="checkbox"/> 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関する事 <input type="checkbox"/> 卒業生の教員免許状の取得の状況に関する事 <input type="checkbox"/> 卒業生の教員への就職の状況に関する事 <input type="checkbox"/> 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関する事 (URL : https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/educationalinfo/#kisoku22-6)
《教育職員免許法施行規則第 22 条の 8》	
認定課程を有する大学は、当該大学における認定課程の教育課程、教員組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら行った点検及び評価の結果	(URL : https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/educationalinfo/#kisoku22-8)

基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 1 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること

【分析の手順】

- ・校地、校舎の基準面積について、設置基準で規定されている面積に係る基準を満たしていることを確認する。
- ・施設・設備としては、教育の必要に応じて、大学設置基準に規定されている校地、校舎、運動場等が備えられていることを確認する。
- ・教育課程に応じて講義・演習・実験・実習または実技を行うのに必要な教室を備えていることを確認する。
- ・継続的に研究成果を創出するための研究環境が整備され、教員・学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。
- ・基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員及び専ら当該大学の教育研究に従事する教員に対して研究室を備えていることを確認する。
- ・共同課程を置いている場合は、その状況が該当する設置基準を満たしていることを確認する。
- ・夜間において授業を実施している課程又は大学院において大学院設置基準第 14 条の特例を適用している場合は、これら施設・設備の利用方法、利用時間等を確認する。
- ・2 以上のキャンパスで教育を実施している場合は、各々の実施体制、実施上の工夫や学生移動の状況等を確認する。
- ・夜間の授業又は 2 以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧（別紙様式 4 - 1 - 1）

学部・研究科名	キャンパス	実施の状況（実施体制、利用時間等）
地域社会研究科	文京町地区キャンパス	教育学部棟（平日：8 時 30 分～21 時、土日祝日：8 時 30 分～21 時。ただし、大学院生は時間外の利用を可能としている）
医学研究科	本町地区キャンパス	医学研究科棟（平日：7 時～21 時、土日祝日：7 時～21 時。ただし、大学院生は時間外の利用を可能としている）
保健学研究科	本町地区キャンパス	保健学研究科棟（平日：7 時～20 時、土日祝日：7 時～20 時。ただし、大学院生は時間外の利用を可能としている）

基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 2 法令が定める実習施設等が設置されていること

【分析の手順】

- ・特定の学部又は学科に置かれる組織については、大学設置基準第 39 条に基づき設置が必要とされる附属学校や附属病院等が設置されていることを確認する。
- ・これらの施設等が、継続的に研究成果を創出するための施設等として活用されていることを確認する。
- ・附属施設等一覧（別紙様式 4 - 1 - 2）

学部又は学科名	附属施設
教育学部	附属幼稚園
	附属小学校
	附属中学校
	附属特別支援学校
医学部	附属病院
理工学部	実験室・実習室（141 室）
農学生命科学部	附属生物共生教育研究センター藤崎農場
	附属生物共生教育研究センター金木農場

基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 3 施設・設備における安全性について、配慮していること

【分析の手順】

- ・施設・設備における耐震化については、評価実施年度の耐震化率を確認する。
 - ・耐震基準を満たしていない場合は、その理由と改善のための計画について確認する。
 - ・施設・設備の老朽化に対する対応の状況について確認する。
 - ・外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。
 - ・施設・設備のバリアフリー化について、障害のある学生等の利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされていることを確認する。
 - ・その他施設・設備に法令上の要件が課されている場合は、適切な管理運営の状況を確認する。
- ・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況（別紙様式 4 - 1 - 3）

事項	キャンパス	整備状況（※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載）	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
耐震化	文京町キャンパス、本町キャンパス、学園町キャンパス、富野町キャンパス	文京町キャンパス：100%、本町キャンパス：100%、学園町キャンパス：100%、富野町キャンパス：100%	大学ホームページに掲載しているハザードマップで周知している。
バリアフリー化	文京町キャンパス、本町キャンパス、学園町キャンパス、富野町キャンパス	主要建物を利用するために必要なスロープ、エレベーター、多目的トイレ等は各キャンパスで整備されている。	大学ホームページに掲載しているハザードマップで周知し、毎年整備状況の確認を行い更新している。
老朽化	文京町キャンパス、本町キャンパス、学園町キャンパス、富野町キャンパス	建物や設備の点検を定期的実施して老朽状況を把握して改修等を進められている。	大学ホームページに掲載しているハザードマップで周知し、毎年整備状況の確認を行い更新している。

・安全・防犯面への配慮の状況（別紙様式4-1-3）

事項	キャンパス	配慮の状況
危険物等配置	文京町キャンパス、本町キャンパス、学園町キャンパス、富野町キャンパス	大学ホームページに掲載しているハザードマップで周知し、毎年整備状況の確認を行い更新している。
AED配置	文京町キャンパス、本町キャンパス、学園町キャンパス、富野町キャンパス	大学ホームページに掲載しているハザードマップで周知し、毎年整備状況の確認を行い更新している。
外灯・防犯カメラ	文京町キャンパス、本町キャンパス、学園町キャンパス、富野町キャンパス	大学ホームページに掲載しているハザードマップで周知し、毎年整備状況の確認を行い更新している。

基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 6 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること

【分析の手順】

- ・自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。

※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。

- ・自主的学習環境整備状況一覧（別紙様式 4 - 1 - 6）

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
学生自習室	文京町キャンパス 農学生命科学部校舎	20 席	パソコン 3 台、机、椅子	平日：7:00～22:00
学生控室	文京町キャンパス 農学生命科学部校舎	15 席	机、椅子、コピー機、自動販売機	平日：7:00～22:00
第一体育館トレーニング室	文京町キャンパス 第一体育館	30 人程度	各種トレーニング機器	授業期間：平日 18:00～21:00（講義で第一体育館を使用しない日のみ 9:00～21:00）、土日 9:00～16:00 休業期間：平日 9:00～16:00、土日 9:00～16:00
大学会館 303 中集会室	文京町キャンパス 大学会館	10 席	机、椅子	授業期間：平日 9:00～17:00
自学・自修室	文京キャンパス 総合教育棟	60 席	エアコン 2 台	平日 8:00～21:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
情報処理演習室	文京キャンパス 総合教育棟	54席	パソコン55台、プリンター2台	平日 8:30~17:00 の講義が開講されていない時間帯
101 実習室	情報基盤センター1F	74席	ノートパソコン、机、いす、モニタ	平日 8:30~20:45 の講義が開講されていない時間帯
201 実習室	情報基盤センター2F	90席	ノートパソコン、机、いす、モニタ	平日 8:30~17:30 の講義が開講されていない時間帯
202 実習室	情報基盤センター2F	27席	ノートパソコン、机、いす、モニタ	平日 8:30~17:30 の講義が開講されていない時間帯
301 実習室	情報基盤センター3F	76席	ノートパソコン、机、いす、モニタ	平日 8:30~17:30 の講義が開講されていない時間帯
302 実習室	情報基盤センター3F	40席	ノートパソコン、机、いす、モニタ	平日 8:30~17:30 の講義が開講されていない時間帯
1階閲覧室	文京町キャンパス 附属図書館本館	94席	机、椅子、資料検索用端末2台	授業期間：平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間：平日 9:00~17:00
2階閲覧室	文京町キャンパス 附属図書館本館	98席	机、椅子	授業期間：平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間：平日 9:00~17:00
2階情報検索コーナー	文京町キャンパス 附属図書館本館	8席	机、椅子、資料検索用端末6台	授業期間：平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間：平日 9:00~17:00
2階オープンラウンジ	文京町キャンパス 附属図書館本館	36席	机、椅子	授業期間：平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間：平日 9:00~17:00
2階アクティブラーニングエリア	文京町キャンパス 附属図書館本館	18席	椅子、ホワイトボード6台	授業期間：平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間：平日 9:00~17:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
2階グループラーニングルーム	文京町キャンパス 附属図書館本館	16席	机、椅子、ホワイトボード2台	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
3階グループラーニングルーム	文京町キャンパス 附属図書館本館	32席	机、椅子、ホワイトボード3台	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
3階アクティブラーニングエリア	文京町キャンパス 附属図書館本館	30席	机、椅子	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
3階視聴覚コーナー	文京町キャンパス 附属図書館本館	3席	机、椅子、VHSデッキ1台、LDプレーヤー1台、BD	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
3階PCサテライト	文京町キャンパス 附属図書館本館	40席	机、椅子、ノートパソコン、プリンタ2台	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
雑誌棟1階グローバルエリア	文京町キャンパス 附属図書館本館	38席	机、椅子、資料検索用端末1台、プロジェクター、スクリーン、放送機器	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
雑誌棟1階プレゼンテーションスタジオ	文京町キャンパス 附属図書館本館	15席	机、椅子、プロジェクター、電子黒板	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
雑誌棟1階リーディングルーム	文京町キャンパス 附属図書館本館	11席	机、椅子	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
雑誌棟1階リフレッシュスペース	文京町キャンパス 附属図書館本館	16席	机、椅子	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
雑誌棟2階閲覧室	文京町キャンパス 附属図書館本館	50席	机、椅子	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
第1書庫	文京町キャンパス 附属図書館本館	2席	机、椅子	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間:平日 9:00~17:00
第2書庫	文京町キャンパス	14席	机、椅子、資料検索用端末2台	授業期間:平日 8:30~22:00、土日 10:00~17:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
	附属図書館本館			休業期間: 平日 9:00~17:00
地下閲覧室	本町キャンパス 附属図書館医学部分館	12 席	資料検索用端末 1 台	授業期間: 平日 9:00~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間: 平日 9:00~17:00
1 階ラーニングスペース	本町キャンパス 附属図書館医学部分館	16 席	机、椅子	授業期間: 平日 9:00~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間: 平日 9:00~17:00
1 階閲覧室	本町キャンパス 附属図書館医学部分館	16 席	机、椅子、ホワイトボード 1 台、 資料検索用端末 8 台、プリンタ 1 台	授業期間: 平日 9:00~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間: 平日 9:00~17:00
2 階自修室	本町キャンパス 附属図書館医学部分館	46 席	机、椅子	授業期間: 平日 9:00~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間: 平日 9:00~17:00
2 階閲覧室	本町キャンパス 附属図書館医学部分館	34 席	机、椅子	授業期間: 平日 9:00~22:00、土日 10:00~17:00 休業期間: 平日 9:00~17:00
学生自習室	文京町キャンパス 農学生命科学部校舎	20 席	パソコン 3 台、机、椅子	平日: 7:00~22:00
学生控室	文京町キャンパス 農学生命科学部校舎	15 席	机、椅子、コピー機、自動販売機	平日: 7:00~22:00
学生自習室	本町キャンパス 保健学研究科 A 棟 1 階	29 席	自習用机	平日 22:00 まで 3, 4 年生は特例で 22:00 以降も利用可能
マルチメディア総合演習室	本町キャンパス 保健学研究科 E 棟 5 階	51 席	自習用パソコン, プリンター	平日 8:30~20:00
大学院生研究室 1	本町キャンパス 保健学研究科 F 棟 3 階	18 席	自習用机	常時
大学院生研究室 2	本町キャンパス 保健学研究科 F 棟 3 階	18 席	自習用パソコン, プリンター	常時

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
リフレッシュスペース	本町キャンパス 保健学研究科 F 棟 1 階	23 席	机, 椅子	平日 8:30~19:45
E 棟ロビー	本町キャンパス 保健学研究科 E 棟 1 階 ~6 階	合計 60 席	机, 椅子, コピー機 (1 階)	常時
地域社会研究科 大学院生室	文京町地区キャンパ ス・教育学部棟 4 階	15 席	机, 椅子, 書棚, ロッカー, パソコン 5 台, 複合機, 内線電話, エアコン, 冷蔵庫, 電子レンジ	8:30~21:00
地域共創科学研究科 大学院生室 1	文京町地区キャンパ ス・人文社会科学部棟 3 階	20 席	机, 椅子, 書棚, ホワイトボード, 複 合機	7:00~21:00
地域共創科学研究科 大学院生室 2	文京町地区キャンパ ス・人文社会科学部棟 3 階	10 席	机, 椅子, 書棚, ホワイトボード	7:00~21:00
地域共創科学研究科 大学院生室 3	文京町地区キャンパ ス・総合教育棟 3 階	30 席	机, 椅子, 書棚, ホワイトボード, ク リックシェア, 複合機, プロジェクタ ー, パソコン 2 台	7:00~21:00
第 2 講義室	文京キャンパス 理工学部 1 号館	123 席	机, 椅子	平日 : 17:40~20:00
学生用マルチステーション	文京キャンパス 理工学部 1 号館	25 席 (計 2 か所)	机, 椅子	平日 : 7:00~21:00
学生用ラウンジ	文京キャンパス 理工学部 2 号館	100 席 (計 9 か 所)	机, 椅子	平日 : 7:00~21:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
自習室	文京キャンパス・教育学部棟	16席	黒板, ディスプレイ1台, エアコン, ブルーレイレコーダー1台, ホワイトボード1台, 電子黒板1台, Wi-Fi, 電源タップ1個	8:00~21:50 (毎週金曜日は使用不可)
学生ラウンジ	文京キャンパス・教育学部棟	32席	エアコン, 自動販売機, コピー機2台, 電子レンジ1台, ウォータークーラー1台, Wi-Fi, 電源タップ3個	7:00~22:00
401 教室	文京キャンパス・教育学部棟	13席	電子ピアノ13台, ホワイトボード2台, Wi-Fi, エアコン	8:30~21:50 (授業の無い空きコマ)
1 階大教室	文京キャンパス・教育学部棟	180席	黒板1面, 液晶プロジェクター, 教材提示装置1台, スクリーン, ピアノ1台, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
中教室	文京キャンパス・教育学部棟	72席	黒板1面, ホワイトボード移動式5台, 電子黒板1台, 液晶プロジェクター, スクリーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
2 階大教室	文京キャンパス・教育学部棟	224席	黒板1面, 液晶プロジェクター, 教材提示装置1台, スクリーン, ピアノ1台, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
201 教室	文京キャンパス・教育学部棟	22席	黒板2面, 電子黒板1台, 液晶プロジェクター, スクリーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
202 教室	文京キャンパス・教育学部棟	90席	黒板1面, 液晶プロジェクター, 教材提示装置1台, スクリーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
203 教室	文京キャンパス・教育学部棟	90席	黒板1面, 液晶プロジェクター, 教材	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ)

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
	学部棟		提示装置 1 台, スクリーン, エアコン	17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
204 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	24 席	黒板 2 面, 電子黒板 1 台, 液晶プロジ ェクター, スクリーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
205 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	42 席	黒板 2 面, 電子黒板 1 台, 液晶プロジ ェクター, スクリーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
301 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	22 席	黒板 3 面, 液晶プロジェクター, スク リーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
302 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	48 席	黒板 1 面, 電子黒板 1 台, 教材提示装 置, 液晶プロジェクター, スクリ ーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
303 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	48 席	黒板 1 面, 電子黒板 1 台, 教材提示装 置 1 台, 液晶プロジェクター, スクリ ーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
304 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	24 席	黒板 3 面, 液晶プロジェクター, スク リーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
305 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	42 席	黒板 2 面, 電子黒板 1 台, 液晶プロジ ェクター, スクリーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
CALL 教室	文京キャンパス・教育 学部棟	30 席	ホワイトボード 1 面, 液晶プロジェク ター, 教材提示装置 1 台, スクリ ーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)
情報教育演習室	文京キャンパス・教育 学部棟	44 席	ホワイトボード 1 面, 液晶プロジェク ター, 教材提示装置 1 台, スクリ ーン, エアコン	8:40~17:30 (授業の無い空きコマ) 17:30~21:00 (指導教員等の許可を得て使用)

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
博物館実習室	文京町地区・総合教育棟	6席	長机3台、机1台、プリンタ1台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース実習室E	文京町地区・人文社会科学部校舎	18席	長机6台、ホワイトボード1台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース実習室A	文京町地区・人文社会科学部校舎	20席	長机11台、パソコン1台、プリンタ1台、スキャナ1台、教材提示装置1台、プロジェクタ2台、ホワイトボード2台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース実習室B	文京町地区・人文社会科学部校舎	15席	長机6台、パソコン8台、プリンタ2台、スキャナ1台、大型スクリーン1台、プロジェクター2台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース実習室C	文京町地区・人文社会科学部校舎	12席	長机6台、パソコン3台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース実習室D	文京町地区・人文社会科学部校舎	8席	長机4台、パソコン2台、プリンタ2台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース実習室F	文京町地区・総合教育棟	16席	長机10台、パソコン1台、ノートパソコン6台、プリンタ2台、複合機1台、プロジェクタ2台、ホワイトボード2台、コンセント36口	平日：7:00～21:00
文化資源学コース学生共同研究室	文京町地区・人文社会科学部校舎	12席	長机8台、パソコン1台、ホワイトボード1台、プリンタ1台、飛沫防止用アクリル板4枚	平日：7:00～21:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
多文化共生コース学生共同研究室	文京町地区・人文社会科学部校舎	10席	ホワイトボード1台	平日：7:00～21:00
経済法律コース実習室A	文京町地区・人文社会科学部校舎	8席	パソコン2台, ホワイトボード1台	平日：7:00～21:00
経済法律コース実習室B	文京町地区・人文社会科学部校舎	27席	ホワイトボード1台, 机3台, プリンタ1台	平日：7:00～21:00
経済法律コース実習室C	文京町地区・人文社会科学部校舎	17席	ホワイトボード1台, 机6台	平日：7:00～21:00
経済法律コース学生共同研究室	文京町地区・人文社会科学部校舎	8席	ホワイトボード1台, 机4台	平日：7:00～21:00
企業戦略コース実習室A	文京町地区・人文社会科学部校舎	7席	長机3台、テレビ1台、DVDレコーダー1台、ホワイトボード1台、コンセント10口	平日：7:00～21:00
企業戦略コース学生共同研究室	文京町地区・人文社会科学部校舎	9席	パソコン5台, 机5台, プリンタ1台	平日：7:00～21:00
地域行動コース実習室B	文京町地区・人文社会科学部校舎	8席	長机4台、パソコン1台、プリンタ2台、テレビ1台、VTR1台、コンセント12口	平日：7:00～21:00
地域行動コース実習室A	文京町地区・人文社会科学部校舎	16席	長机10台、パソコン6台、プリンタ3台、テレビ1台、コンセント46口、ホワイトボード7台、書棚、関連図書	平日：7:00～21:00
地域行動コース学生共同研究室	文京町地区・人文社会科学部校舎	4席	パソコン1台, 机5台, プリンタ1台	平日：7:00～21:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
院生研究室 A	文京町地区・人文社会 科学部校舎	14 席	机 14 台, 共用パソコン 1 台, プリンタ ー 3 台, 本棚, 石油ファンヒーター 2 台, エアコン 2 台	平日: 7:00~21:00
院生研究室 B	文京町地区・人文社会 科学部校舎	12 席	机 12 台, 共用パソコン 1 台, プリンタ ー 3 台, 本棚, 石油ファンヒーター 2 台, エアコン 2 台	平日: 7:00~21:00
院生研究室 C	文京町地区・人文社会 科学部校舎	5 席	机 5 台, 共用パソコン 1 台, プリンタ ー 2 台, 本棚, 石油ファンヒーター 1 台, エアコン 1 台	平日: 7:00~21:00
院生研究室 D	文京町地区・人文社会 科学部校舎	13 席	机 13 台, 共用パソコン 1 台, プリンタ ー 3 台, 本棚, 石油ファンヒーター 2 台, エアコン 2 台	平日: 7:00~21:00
院生研究室 E	文京町地区・人文社会 科学部校舎	12 席	机 13 台, 共用パソコン 1 台, プリンタ ー 3 台, 本棚, 石油ファンヒーター 2 台, エアコン 2 台	平日: 7:00~21:00
学生パソコン室	本町キャンパス 基礎 校舎	150 席	学生用パソコン 150 台	平日: 8:30~21:00 土日祝日: 利用不可
地下学生自習室 1	本町キャンパス 基礎 校舎	22 席		平日: 8:30~21:00 土日祝日: 利用不可
地下学生自習室 2	本町キャンパス 基礎 校舎	18 席		平日: 8:30~21:00 土日祝日: 利用不可
ミーティングルーム (附属図書館医学 部分館内)	本町キャンパス 基礎 校舎	16 席		平日: 9:00~22:00 土日祝日: 10:00~17:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
閲覧室（附属図書館医学部分館内）	本町キャンパス 基礎 校舎	108 席		平日：9:00～22:00 土日祝日：10:00～17:00
多目的コミュニケーションスペース （3階）	本町キャンパス 基礎 校舎	22 席		平日：8:30～17:00 土日祝日：利用不可
多目的コミュニケーションスペース （4階）	本町キャンパス 基礎 校舎	14 席		平日：8:30～17:00 土日祝日：利用不可
多目的コミュニケーションスペース （5階）	本町キャンパス 基礎 校舎	14 席		平日：8:30～17:00 土日祝日：利用不可
スキルアップトレーニングセンター	附属病院 外来診療棟	30 席	シミュレータ 53 台	年末年始を除く 9:00～17:00
自習室1（1階）	本町キャンパス 学生 支援センター1号館	16 席		平日：6:00～21:00 土日祝日：利用不可
自習室2～5（1階）	本町キャンパス 学生 支援センター1号館	10 席		平日：6:00～21:00 土日祝日：利用不可
自習室1, 3, 4, 5（2階）	本町キャンパス 学生 支援センター1号館	10 席		平日：6:00～23:00 土日祝日：利用不可
集会室3	本町キャンパス 学生 支援センター2号館	8 席		平日：8:30～17:30 土日祝日：利用不可
集会室4	本町キャンパス 学生 支援センター2号館	18 席		平日：8:30～17:30 土日祝日：利用不可
大集会室	本町キャンパス 学生 支援センター2号館	130 席		平日：8:30～17:30 土日祝日：利用不可
巻渕ラウンジ	本町キャンパス 臨床 研究棟	10 席		平日：8:30～17:30 土日祝日：利用不可

基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 7 研究成果を継続的に生み出すための研究環境が十分に整備され、効果的に利用されていること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

- ・研究環境の整備状況については、その環境を必要とする教員・学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。
- ・研究環境の整備等、特色ある研究環境の構築により優れた研究成果が継続的に得られている場合は、その内容について確認する。

※この分析項目は、項目の内容を十分に実現し優れて機能している場合に限り、分析する。

・研究環境整備状況一覧（別紙様式 4 - 1 - 7）

名称	キャンパス・棟	主な設備	主に利用する学部・研究科等	主な研究成果
地域戦略研究所エネルギー材料実験室	文京キャンパス・コラボ弘大1階	シリカ還元装置・ボールミル・旋盤・ボール盤	地域戦略研究所、理工学部学生、理工学研究科大学院学生	太陽電池用シリコンの高収率還元プロセスの開発
地域戦略研究所エネルギー材料実験室2	文京キャンパス・コラボ弘大6階	エキシマーレーザー・パルスレーザー堆積装置	地域戦略研究所、理工学研究科大学院学生	鉛フリー圧電材料の材料開発
地域戦略研究所エネルギー材料実験室3	文京キャンパス・コラボ弘大6階	マイクロ波溶解装置・半導体パラメーターアナライザー	地域戦略研究所、理工学研究科大学院学生	太陽電池用シリコンの高収率還元プロセスの開発・潜熱保冷材の残量管理データの取得
地域戦略研究所エネルギー変換工学実験室2	文京キャンパス・コラボ弘大5階	ガスクロマトグラフ (FID, TCD)、触媒分析システム、比表面積分析装置、FT-IR、UV-vis 分光装置、電気化学分析システム	地域戦略研究所、地域共創科学研究科大学院学生、理工学研究科大学院学生	水電解、二酸化炭素電解還元、二次電池などに関する多く電極材料を開発し、これまで、高レベル国際論文 32 編を発表した。また、6 名の学生が博士号を取得した。学生 1 名は令和 4 年第 15 回 GSC Student Travel Grant Award を受賞。

名称	キャンパス・棟	主な設備	主に利用する学部・研究科等	主な研究成果
地域戦略研究所エネルギー変換工学実験室 3	文京キャンパス・コラボ弘大 5 階	ガスクロマトグラフィー質量分析装置 (GC-MS)、ガスクロマトグラフ (TCD)、バイオマス粉碎機	地域戦略研究所、地域共創科学研究科大学院学生、理工学研究科大学院学生	バイオマスガス化やバイオマスオイルの改質などに関する多くの研究成果が得られ、これまで、これらに関する高レベル国際論文 20 編を発表した。また、学生 3 名が博士号を取得した。また、学生 4 名は国際会議で最優秀口頭発表賞を受賞。
地域戦略研究所エネルギー変換工学実験室 1	文京キャンパス・コラボレーションセンター 2 階	ドラフトチャンバー 2 台、HPLC 2 台、ガスクロマトグラフィー 7 台、GC-MS 2 台、反応用恒温装置、電気炉等	地域戦略研究所、地域共創科学研究科大学院学生、理工学研究科大学院学生	廃プラスチックの新たなケミカルリサイクル技術の開発、リグニン有効利用技術の開発、ホタテガイ養殖残渣の有効利用法の開発、県内海岸漂着プラスチックのリサイクル技術開発。令和 6 年度は廃プラスチックの新たなケミカルリサイクル技術の開発で JST-START に採択された。
地域戦略研究所地域戦略研究所地熱実験室 1	文京キャンパス・コラボ弘大 1 階	イオンクロマトグラフィー、酸素水素安定同位体比分析装置、全有機体炭素計	地域戦略研究所、理工学研究科大学院学生	本設備を利用して青森県の地熱発電の有望地域 (地熱兆候) 検出に関する研究を行い、国際共著論文を 1 篇、論文 2 篇、書籍分担執筆 1 篇、企業から受託研究を 3 件、科研費 3 件獲得した。
地域戦略研究所地域戦略研究所地熱実験室 2	文京キャンパス・コラボ弘大 1 階	スクラバー付きドラフトチャンバー	地域戦略研究所、理工学研究科大学院学生、地域共創科学研究科大学院学生	宇宙線生成核種濃度を用いた地形面の年代測定法を用いた研究が本研究室でできるようになった。これは、日本各地の未知の地形の年代を明らかにしていくことにつながる。R4 年度に得られた成果は、三陸海岸の海成段丘面の年

名称	キャンパス・棟	主な設備	主に利用する学部・研究科等	主な研究成果
				代と青森県深浦地域の年代であり、これらは国際会議 (EGU) と国内会議 (JpGU) において発表し、国際誌へ論文を投稿した。
地域戦略研究所地域戦略研究所風力・海洋実験室	文京キャンパス・コラボ弘大1階	レーザー投光器：LAXIS E32701N	地域戦略研究所、理工学部学生、地域共創科学研究科大学院学生、理工学研究科大学院学生	近年の風力発電所は風車の大型化やウィンドファーム内の配置方により、風上風車から流下するウェイクが風下風車における発電量の低下、あるいは疲労劣化の助長を引き起こす懸念がある。研究グループでは、ウィンドファームにおいて稼働中の大型風車（出力1.5MW、ロータ径70.5m）のウェイクを実際に観察するため、レーザー投光器で扇状光をウェイクに照射、降雪をトレーサとして利用することで観察に成功した。
地域戦略研究所食料科学研究部門実験室1	青森サテライト・青森市役所柳川庁舎1階	GeneChip システム（賃借）	地域戦略研究所食料科学研究部門	トランスクリプトーム解析（科学研究費助成事業・共同研究等）
		顕微鏡		海藻およびショウジョウバエ組織詳細な形態観察と記録（科学研究費助成事業）
地域戦略研究所食料科学研究部門実験室2	青森サテライト・青森市役所柳川庁舎1階	冷凍冷蔵庫	地域戦略研究所食料科学研究部門	食品関係サンプルの保管場所の増強
地域戦略研究所大学院生室	文京キャンパス・コラボ弘大6階	パソコン10台	地域共創科学研究科大学院学生、理工学研究科大学院学生	パソコン10台を備えた大学院学生の研究室を設置し教育環境を整備している。主に外国人留学生が使用しており指導教員の研究室と近いため密接に指導を受けることができ、外国人留

名称	キャンパス・棟	主な設備	主に利用する学部・研究科等	主な研究成果
				学生の入学確保と質の高い論文を多く発表し教育効果をあげる要因となっている。
Ikaros 染色体核型分析システム 等一式 (M1) カールツァイス	保健学研究科 F 棟	Ikaros 染色体核型分析システム 等一式 (M1) カールツァイス	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
低バックグラウンド液体シンチレーションシステム	保健学研究科 F 棟	低バックグラウンド液体シンチレーションシステム	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
染色体メタフェーズ標本作製装置 (株)エーディーエステック HANABI P-IV	保健学研究科 F 棟	染色体メタフェーズ標本作製装置 (株)エーディーエステック HANABI P-IV	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
被ばく線量評価システム	保健学研究科 F 棟	被ばく線量評価システム	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
放射線測定システム	保健学研究科 F 棟	放射線測定システム	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
Ge 半導体検出器	保健学研究科 F 棟	Ge 半導体検出器	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
DNA マイクロアレイ解析システム (放射線生物影響評価システム)	保健学研究科 F 棟	DNA マイクロアレイ解析システム (放射線生物影響評価システム)	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
小核試験・FISH スポットカウントシステム (放射線生物影響評価システム)	保健学研究科 F 棟	小核試験・FISH スポットカウントシステム (放射線生物影響評価システム)	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
環境影響評価システム	保健学研究科 F 棟	環境影響評価システム	被ばく医療総合研究所	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護

名称	キャンパス・棟	主な設備	主に利用する学部・研究科等	主な研究成果
			保健学研究科	研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
可搬型 α 線測定システム	保健学研究科 F 棟	可搬型 α 線測定システム	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護 研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
電子式低圧インパクタ	保健学研究科 F 棟	電子式低圧インパクタ	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護 研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
統合原子力防災ネットワークシステム	保健学研究科 F 棟	統合原子力防災ネットワークシステム	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護 研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
低バックグラウンド液体シンチレーションカウンティングシステム	保健学研究科 F 棟	低バックグラウンド液体シンチレーションカウンティングシステム	被ばく医療総合研究所 保健学研究科	共同利用・共同研究拠点活動, 国際放射線防護 研修, 浪江町復興支援事業活動ほか
液体シンチレーションシステム	アイソトープ総合実験室	液体シンチレーションカウンタ	医学部 (医学科、保健学科) 医学研究科、保健学研究科 アイソトープ総合実験室	生化学実習 (医学科) 放射線安全管理学実験 (保健学科) 放射線安全管理学特論 (保健学研究科)
オートガンマシステム	アイソトープ総合実験室	オートガンマカウンタ	医学部保健学科、保健学研究科、 アイソトープ総合実験室	放射線安全管理学実験 (保健学科) 放射線安全管理学特論 (保健学研究科)
放射線測定システム	アイソトープ総合実験室	GM 計数装置、 γ 線シンチレーション測定装置、サーベイメータ	医学部 (医学科、保健学科) 医学研究科、保健学研究科 アイソトープ総合実験室	生化学実習 (医学科) 放射線安全管理学実験 (保健学科) 放射線科学実験 (保健学科) 放射線安全管理学特論 (保健学研究科)
放射線安全管理システム	アイソトープ総合実験室	入退室管理システム、放射線モニタリングシステム	医学部 (医学科、保健学科) 医学研究科、保健学研究科 アイソトープ総合実験室	生化学実習 (医学科) 放射線安全管理学実験 (保健学科) 放射線科学実験 (保健学科) 放射線安全管理学特論 (保健学研究科)

名称	キャンパス・棟	主な設備	主に利用する学部・研究科等	主な研究成果
被ばく医療総合研究所研究員室 1	保健学研究科 F 棟 7 階	机、椅子、テーブル、PC	保健学研究科、被ばく医療総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院博士課程等における学生（外国人留学生含む）による研究 ・日本放射線影響学会第 67 回大会での優秀発表賞（ポスター発表部門）
共用機器基盤センター	文京町キャンパス コラボ弘大 2 階 理工学部 2 号館分室	材料分析共用装置	理工学研究科、農学生命科学部、教育学部、医学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ●科研費（令和元年度 15 件、令和 2 年度 16 件、令和 3 年度 21 件、令和 4 年度 27 件、令和 5 年度 24 件、令和 6 年度 29 件、令和 7 年度 0 件） ●受託研究（令和元年度 2 件、令和 2 年度 2 件、令和 3 年度 2 件、令和 4 年度 3 件、令和 5 年度 5 件、令和 6 年度 5 件、令和 7 年度 0 件） ●共同研究（令和元年度 12 件、令和 2 年度 6 件、令和 3 年度 1 件、令和 4 年度 5 件、令和 5 年度 3 件、令和 6 年度 7 件、令和 7 年度 0 件） ●受託事業（令和元年度 1 件、令和 2 年度 1 件、令和 3 年度 1 件、令和 4 年度 1 件、令和 5 年度 1 件、令和 6 年度 1 件、令和 7 年度 0 件） ●寄附金（令和元年度 14 件、令和 2 年度 8 件、令和 3 年度 3 件、令和 4 年度 9 件、令和 5 年度 11 件、令和 6 年度 6 件、令和 7 年度 4 件） ●補助金（令和 4 年度 1 件）

基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 8 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が、社会からの期待に対応して行う活動（例えば、公開講座・履修、大学図書館の一般市民利用、技術相談、学習機会としての社会貢献活動）に効果的に利用されていること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

- ・教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を、社会からの期待に対応して行う活動に利用していることを確認する。
- ・社会からの期待に対応して、教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が効果的に利用されていることを確認する。

※この分析項目は、項目の内容を十分に実現し優れて機能している場合に限り、分析する。

・社会からの期待に対応して行う活動一覧（別紙様式 4 - 1 - 8）

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
第20回弘大食料研サイエンスカフェ	青森キャンパス・青森市役所柳川庁舎	オンライン形式	一般市民	令和4年8月23日実施 20人参加
炭素循環型社会実現のためのパイオエコノミーイノベーション共創拠点 第2回シンポジウム開催（東京農工大学と本学の共催）	文京キャンパス・弘前大学50周年記念会館	弘前大学50周年記念会館及びオンラインのハイブリッド形式	一般市民、学生、研究者、企業人、自治体職員	令和4年8月30日実施 200人参加
「親子で作ろう！浮かぶ風車 in 野辺地」	文京キャンパス・コラボ弘大1F	風力・海洋エネルギー実験室	一般市民	令和4年9月10日実施 親子6組参加
「親子で作ろう！浮かぶ風車 in 中泊」	文京キャンパス・コラボ弘大1F	風力・海洋エネルギー実験室	一般市民	令和4年9月11日実施 親子8組参加
「親子で作ろう！浮かぶ風車 in 青森」	文京キャンパス・コラボ弘大1F	風力・海洋エネルギー実験室	一般市民	令和4年9月25日実施 親子15組参加

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
第21回弘大食料研サイエンスカフェ	青森キャンパス・青森市役所柳川庁舎	オンライン形式	一般市民	令和5年3月28日実施 19人参加
地域戦略研究所シンポジウム「青森の水資源と防災・エネルギー」	文京キャンパス・弘前大学創立50周年記念会館	岩木ホール	青森県内市町村職員及び官公庁、企業関係者、国内大学教員	令和6年2月27日実施 会場及びオンライン参加合わせて100人が参加
高大連携公開講座	文京キャンパス・本町キャンパス	各講義室	高校生	令和6年度 26人受講
大学図書館の学外者利用	文京キャンパス附属図書館本館・本町キャンパス附属図書館医学部分館	閲覧室	一般市民	令和6年度実績 8,185人
国際放射線防護研修プログラム	本町地区・保健学研究科F棟	被ばく医療総合研究所機器設備等	・学内外研究者 ・校内学生	放射線防護に関する教育と人材育成の推進を目的に、国内外の研究者及び学生を対象とした研修プログラム（R2.6.12実施要項制定）を開講している。本プログラムでは、研修生のスキルレベルや滞在期間に対応した3つの研修コースを設定しており、放射線に関する物理学・生物学・化学を横断的に習得することができる。 コロナ禍の影響もあり、令和3年度までは受講者はいなかったが、令和4年度から令和6年度現在においては、主に部局間交流協定を締結している海外の大学などから合計17人の

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				受講希望があり、研修を実施した。 R5.5.1~R6.5.1 実績 5 人
文部科学省原子力研究交流制度	本町地区・ 保健学研究科 F 棟	被ばく医療総合研究所機器設備 等	・学内外研究者 ・学外学生	文部科学省研究者育成事業「原子力研究交流制度」では、毎年度、アジア諸国の原子力研究者・技術者を受け入れている。令和元年度から令和5年度までに6人の研究者を受入れ、着実に連携研究体制を拡充している。 本制度での受入れをきっかけに、本学大学院保健学研究科に進学した研究者や、進学を希望している研究者もおり、発展的な共同研究・教育体制が構築されている。 R5.5.1~R6.5.1 実績 2 人
被ばく医療総合研究所国際放射線科学コラボレーションセンターセミナー	本町地区・ 保健学研究科 F 棟		・学内外研究者 ・学内学生	国際的な連携強化・人材育成体制整備にむけて、令和元年度に「弘前大学被ばく医療総合研究所国際放射線科学コラボレーションセンター」を設置し、本センターを拠点に、学生や若手研究者の放射線科学の知見を深め、活発に議論できる場として、放射線科学に関する Web セミナーを令和 2 年度からシリーズで開催している。セミナーには、関連国際研究機関や欧米・アジア各国の環境・原子力関連省庁、大学等のステークホルダーが多数参加し、放射線科学の知見を深めるとともに、活発な議論が行われて

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				いる。セミナーはR1.5.1～R6.10まで10回開催し、アジア、ヨーロッパ、アフリカや北米など、46カ国、約600人の参加があった。 R5.5.1～R6.5.1 実績
リスクコミュニケーション拠点活動	浪江町復興支援室	浪江町復興支援室	・一般（東日本大震災による原子力発電所事故後に福島県双葉郡浪江町及びその周辺地域に帰還して居住している者、今後帰還を予定している者）	R5.5.1～R6.5.1 戸別訪問、支援室窓口、電話による対応件数1、243件（対応延べ人数：1、289人） ・放射線相談件数、78件 ・町内外の自治体（浪江町、南相馬市、いわき市）での出張相談窓口等合計22回開催 <参考> 戸別訪問、支援室窓口、電話による対応件数、5、419件（R1.5.1～R5.5.1対応延べ人数：5、534人） 放射線相談件数、414件 町内外の自治体（浪江町、南相馬市、いわき市）での出張相談窓口等合計189回開催
大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	浪江町復興支援室		・学内学生 ・児童・生徒（福島県双葉郡浪江町周辺に居住） ・一般（福島県双葉郡浪江町周辺に居住）	R5.5.1～R6.5.1 現地での活動総日数65日 現地訪問教員数延べ164人 現地訪問学生数延べ195人 現地社会人・現地小中学生参加人数延べ133人 <参考>

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				R3.4.1~R6.5.1 現地での活動総日数 180 日 現地訪問教員数延べ 467 人 現地訪問学生数延べ 466 人 現地社会人・現地小中学生参加人数延べ 279 人
災害支援医療従事者養成講座（リカレント教育プログラム）	本町地区・保健学研究科 F 棟	災害・被ばく医療教育センター 機器設備	・一般（医療従事者等）	文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の採択を受け、医療機関等で勤務している医療従事者に対し、今後予想される日本海溝・千島海溝を震源とする巨大地震、原子力災害を含めた各種災害発生時に医療従事者の支援が可能な人材を育成することを目的に履修証明プログラム「災害支援医療従事者養成講座」を開講した。なお、現職の医療従事者等を対象としているため、オンデマンド教材の活用、オンライン授業、対面授業を組み合わせた受講者に配慮した授業内容とした。また、令和 6 年度からは学内予算を措置し、実施している。 ・令和 5 年度受講生 30 人 ・令和 6 年度受講生 33 人
高大連携講座	文京地区・総合教育棟 本町地区・		・県内高校生	東日本大震災に伴う原子力災害について、災害の記録を次世代に繋ぎ、未成熟な放射線の理解による風評被害を払しょくするための取組の

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
	保健学研究科 F 棟			<p>一つとして、高大連携講座の一部として開講した。本授業科目は、高校と大学の橋渡しとしての大学教育の学びだけでなく、青森県内に多く立地している原子力関連施設に就職する高校生に対しても受講が有効である、新たな高大連携講座の形として位置付けている。なお、県内における本学から遠隔に位置する高等学校も対象とするため、オンライン授業で開講している。</p> <p>令和 5 年度受講者 9 人 令和 6 年度受講者 12 人</p>
高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センター事業	保健学研究科 F 棟	保健学研究科 F 棟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般 ・ 医療施設従事者 ・ 本学教職員 	<p>原子力規制委員会から指定された「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」として、原子力災害医療体制の整備に資する地域における被ばく医療人材、高度専門的な人材の確保・育成及び関係機関とのネットワーク構築の連携強化を図っている</p> <p>R5.5.1～R6.5.1</p> <p>原子力災害医療中核人材研修 2 回 17 人 原子力災害医療派遣チーム研修 3 回 35 人 甲状腺簡易測定研修 2 回 25 人 学内基礎研修 3 回 141 人</p> <p><参考></p>

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				R1.4.1～R6.3.31 原子力災害医療中核人材研修 8回 100人 原子力災害医療派遣チーム研修 11回 113人 甲状腺簡易測定研修 (R3～) 4回 25人 学内基礎研修 1,115人
JICA 研修員受入	保健学研究科 F 棟		<ul style="list-style-type: none"> ・学内外研究者 ・学外学生 	<p>独立行政法人国際教育機構 (JICA) では、各国政府の開発政策の立案・実施を担う行政官や中核となる研究者等を対象として、日本の大学の協力の下、教育・研究の機会を付与し、人材育成を支援している。</p> <p>本制度で、令和 5 年 10 月よりインドネシアの研究者 2 人を研修生として受け入れ、令和 6 年 4 月からは大学院保健学研究科の学生として在学している。また、2 人が所属するインドネシアの研究機関とは国際共同研究を実施している。</p>
Educational Symposium on RADIATION AND HEALTH by young scientists (ESRAH)	保健学研究科 F 棟	保健学研究科 F 棟	<ul style="list-style-type: none"> ・学内外研究者 ・学内学生 ・県内外高校生 	2014 年より北海道大学と弘前大学間の大学院生及び若手ポスドク研究者を中心に、緊急被ばく医療、放射線防護、線量測定、生物学、物理学、放射線治療等の分野を含む「放射線と健康」に焦点を当てた国際学会として毎年開催している。令和 6 年 9 月に第 11 回目を開催し、日本及び海外 11 ヶ国から 15 機関、総勢 75 人が

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				参加し、5 件の教育講演及び 27 件の若手研究者によるポスター発表を行った。令和 6 年度は初めて高校生（2 人）の参加もあった。また、本学保健学研究科博士後期課程 1 年生が優秀ポスタープレゼンテーションを受賞した。
地域創生人材の育成（弘前大学地域創生本部連携推進員制度）	文京町キャンパス	事務局棟地域創生本部室、総合教育棟会議室、創立 50 周年記念会館岩木ホール	弘前大学と包括連携協定を締結している自治体・金融機関等の職員	平成 29 年 4 月から、弘前大学と包括連携協定を締結している県内自治体・金融機関等の職員を「連携推進員」として受入れている。連携推進員は、派遣機関からの実務研修という枠組みの中で、本学の地域連携に関する業務に関わりながら、大学教員との関係を深め、具体的な地域課題解決等の事案への取り組みを通じて、地方創生に関する能力向上に取り組む。 <<受入実績>> ・令和元年度：10 機関から計 10 人受入れ ・令和 2 年度：11 機関から計 11 人受入れ ・令和 3 年度：12 機関から計 12 人受入れ ・令和 4 年度：16 機関から計 16 人受入れ ・令和 5 年度：19 機関から計 19 人受入れ ・令和 6 年度：21 機関から計 21 人受入れ ・令和 7 年度：26 機関から計 26 人受入れ
地域創生人材の育成（弘大じょうぱり起業家塾）	文京町キャンパス	創立 50 周年記念会館岩木ホール	起業を考えている人、地域で活躍したい高校生・大学生・一般	地域活性化に向けた人材育成の一環として、学生や一般市民等を対象に、起業家による講演や

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
			市民、起業家マインドを現在の仕事に活かしたいビジネスパーソンなど	<p>事業計画の策定・演習等とおして、柔軟な発想力や高い企画提案力を身につけることを狙いとした教育プログラム「弘大じょっぱり起業家塾」を開講している。</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：受講者 39 人（高校 9 人、大学 12 人、一般 9 人）、うち修了者 11 人 ・令和 2 年度：受講者 19 人（高校 5 人、大学 2 人、一般 6 人）、うち修了者 13 人 ・令和 3 年度：受講者 17 人（高校 3 人、大学 6 人、一般 6 人）、うち修了者 6 人 ・令和 4 年度：受講者 21 人（高校 6 人、大学 4 人、一般 11 人）、うち修了者 7 人 ・令和 5 年度：受講者 28 人（高校 11 人、大学 10 人、一般 7 人）、うち修了者 6 人 ・令和 6 年度：受講者 38 人（高校 13 人、大学 17 人、一般 18 人）、うち修了者 14 人
地方創生ネットワーク会議	文京町キャンパス	創立 50 周年記念会館岩木ホール、人文学部棟多目的ホール	弘前大学と包括連携協定を締結している自治体・金融機関等の職員	弘前大学及び弘前大学と包括連携協定を締結している機関（県内自治体・金融機関等）が連携して地方創生を推進することを目的として開催。会議では、地方創生に関する課題共有と解決に向けての意見交換や、連携機関が実施している地方創生関連事業の情報共有を行って

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				<p>いる。</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：3回開催（うち2回については学外施設にて実施）、延べ190人参加 ・令和2年度：3回開催（各回共オンライン）、延べ110人参加 ・令和3年度：3回開催（各回共オンライン）、延べ350人参加 ・令和4年度：3回開催（各回共オンライン）、延べ350人参加 ・令和5年度：2回開催（各回共本学施設とオンラインのハイブリッド形式）、延べ180人参加 ・令和6年度：2回開催（各回共本学施設とオンラインのハイブリッド形式）、延べ220人参加
市民ボランティア講座	文京町キャンパス	創立50周年記念会館岩木ホール、大学会館大集会室、人文社会科学部多目的ホール	一般市民、学生、職員	<p>一般市民や本学学生・職員を対象として、近年突発的に発生している大災害時のボランティア活動についての実情と重要性を幅広く理解してもらい、被災時の積極的なボランティア活動を促すことを目的として実施している。</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：2回開催（いずれも学内施設）、

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				<p>延べ 100 人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度：2 回開催（1 回目は学外施設、2 回目は学内施設とオンラインのハイブリッド形式）、延べ 100 人参加 ・令和 3 年度：2 回開催（1 回目はオンライン、2 回目は学内施設）、延べ 100 人参加 ・令和 4 年度：3 回開催（いずれも学内施設）、延べ 60 人参加 ・令和 5 年度：2 回開催（いずれも学内施設）、延べ 50 人参加 ・令和 6 年度：2 回開催（いずれも学内施設）、延べ 70 人参加
八戸サテライト開設	八戸サテライト	八戸サテライト	県内自治体、地域企業、一般市民	<p>八戸地域において、本学の分室としての機能を果たし、本学と地域社会との密接な連携を図ることを目的として平成 14 年 6 月に設置。</p> <p>サテライトに地域連携コーディネーター 2 人を配置し、県南地域の自治体等と連携した活動、産学官連携事業の実施、地域企業等のニーズと大学のシーズのマッチング、公開講座・講演会等の実施、広報活動（入試広報、就職に関する情報提供）など、教育研究の情報発信や地域課題の解決に向けた活動を行っている。</p> <p>《公開講座実績》</p>

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：7回開催、延べ125人受講 ・令和3年度：1回開催、42人受講 ・令和4年度：2回開催、延べ69人受講 ・令和5年度：1回開催、78人受講
青森サテライト開設	青森サテライト	青森サテライト	県内自治体、地域企業、一般市民	<p>青森地域において、本学の分室としての機能を果たし、本学と地域社会との密接な連携を図ることを目的として令和4年10月に設置。</p> <p>サテライトに地域連携コーディネーター1人を配置し、東青・上十三地域の自治体等と連携した活動、産学官連携事業の実施、地域企業等のニーズと大学のシーズのマッチング、広報活動（入試広報、就職に関する情報提供）など、教育研究の情報発信や地域課題の解決に向けた活動を行っている。</p>
メディカルスタッフについて学ぼう	医学部保健学科・心理支援科学科 校舎	講義室、セミナー室、保健学科各専攻および心理支援科学科の演習室・実験室等	弘前市内の中学生	<p>市内の中学生にメディカルスタッフに対する理解を深めてもらうことを目的として、弘前市教育委員会と共催で実施している事業であり、令和6年度は、中学生20人の参加があった。</p> <p>内容は、大学生やメディカルスタッフとの交流、施設見学、実習体験であり、中学生からは「医療に携わる多くの仕事について学び、進路を考える材料になった」「楽しみながら詳しい仕事内容を学べた」等の感想を聞くことがで</p>

名称	キャンパス・棟	主な利用される施設・設備等	想定される受益者	実績
				き，一定の効果が得られた。
夏休みの数学	文京キャンパス理工学部1号館・2号館	講義室，演習室	中学校，高校の数学担当教員，一般市民，高校生	令和6年8月3日 32人 令和6年8月4日 15人
化学への招待	文京キャンパス・理工学部，教育学部，農学生命科学部	講義室，実験室	高校生（中学生・一般も可）	令和6年8月9日48人
宇宙物理学研究センター講演会	文京キャンパス・理工学部2号館	講義室	高校生，大学生，一般市民	令和6年8月9日実施 約80人参加

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 1 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること

【分析の手順】

- ・生活支援等に関する総合的相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。
 - ・健康に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。
 - ・就職等進路に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。
 - ・各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談の体制の整備及び相談実績を確認する。
 - ・各種相談・助言体制については、組織の役割、実施組織の人的規模やバランス、組織間の連携や意思決定プロセス、責任の所在等が確認できる資料・データを用いて整備状況を確認する。
- ・相談・助言体制等一覧（別紙様式 4 - 2 - 1）

機能	組織の名称	根拠規定	配置された 人員	支援の内容	相談の実績
総合的相談	学務部学生課（なんでも相談）	なし	1人	総合相談対応	73件
	学生総合相談室	弘前大学学生総合相談室規程	16人		2件
身体的健康に係る支援・相談	保健管理センター	弘前大学保健管理センター規程	4人	健康相談	253件
精神的健康に係る支援・相談	保健管理センター	弘前大学保健管理センター規程	3人	健康相談	656件
就職・進路に係る支援・相談	教育推進機構キャリアセンター	弘前大学教育推進機構キャリアセンター要 項	3人	就職・キャリア相談	2266件
各種ハラスメントに係る防止	ハラスメント防止等対策委員会	ハラスメント防止等に関する規程		ハラスメント防止等に係る審議	
各種ハラスメントに係る相談	ハラスメント相談員	ハラスメント防止等に関する規程	23人	各種ハラスメント相談対応	8件
	学生総合相談室	弘前大学学生総合相談室規程	16人	総合相談	0件

別紙様式 4 - 2 - 1

弘前大学

機能	組織の名称	根拠規定	配置された 人員	支援の内容	相談の実績
	弘前大学生ハラスメント相談サービス	ハラスメント防止等に関する規程	外部委託	各種ハラスメント相談対応	18 件
修学相談	学生修学支援室	弘前大学教育推進機構学生修学支援室要項	8 人	修学上の相談	21 件

基準 4-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4-2-2 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること

【分析の手順】

・課外活動の支援について、課外活動団体数、課外活動施設設備の整備、及び運営資金や備品貸与等の支援の状況を確認する。

※大学が組織として支援すべき部活動等の範囲については、大学の判断による。ただし、あくまでも大学の組織的活動として分析することが必要。

※課外活動団体等への支援実績を示す資料は、あくまでも大学の支援の実績であり、部等の活動実績そのものを評価するものではない。

・課外活動に係る支援状況一覧（別紙様式 4-2-2）

課外活動団体数	142 団体
---------	--------

支援の分類	内容	備考
課外活動施設設備の整備	合宿所(学園町地区)	
	大学会館	
	第一体育館（文京町地区），第二体育館（文京町地区），体育館（本町地区）	
	屋内プール	
	弓道場	
	武道場	
	サークル棟（34 室）	
	多目的広場	
	総合運動場	
野球場（学園町地区，本町地区）		

別紙様式4-2-2

弘前大学

支援の分類	内容	備考
	テニスコート（8面）	
	サッカー場（1面）	
	学生支援センター	
教育研修施設等の貸出	深浦ハウス	
運営資金	必要物品等購入	
	資金調達イベント（Giving Campaign2023）	寄附金の配分
備品貸与	アンプ，グラウンドテント，投影スクリーン，スピーカー，パネル，プロジェクター，外	

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 3 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること

【分析の手順】

- ・留学生に対する生活支援の内容及び実施体制について確認する。
- ・海外から受け入れる学生に対する入学前の支援について確認する。
- ・卒業（修了）後の留学生の状況を把握していることを確認する。

・留学生への生活支援の内容及び実施体制（別紙様式 4 - 2 - 3）

生活支援の内容		担当する組織名称	備考
住居支援	交換留学生在住居を探す際の不動産業者との連絡調整、契約のサポート	国際連携本部	
生活習慣のアドバイス	ゴミの分別方法や公共交通機関の使い方、日常生活でのマナーや規則のアドバイス	国際連携本部	
健康管理	健康保険の加入手続き、保健管理センターや近隣の医療機関の紹介等	国際連携本部	
在留資格関係手続補助	交換留学生の入学前の在留資格認定証明書発行手続き	国際連携本部	
手続き支援	市役所での各種手続き（住民登録等）、銀行口座開設、電気、ガス、水道利用開始手続き	国際連携本部	
文化適応支援	日本の文化・習慣の説明、日本の学生や地域の人々との交流促進	国際連携本部	
トラブル対応	留学生が生活上で直面する可能性のあるト	国際連携本部	

	生活支援の内容	担当する組織名称	備考
	ラブルに対するアドバイス		
緊急時対応	緊急時（病気や事故）の際のサポート	国際連携本部	
状況把握	交換留学生のプログラムに関するアンケート、進路状況の調査	国際連携本部	
各種相談	履修をはじめとした学校生活全般に関する相談に応じる	保健学研究科_クラス担任・指導教員	
経済支援	学生課及び国際連携本部からの奨学金案内等を周知している。	地域社会研究科 (人文・地域研究科事務部)	
経済支援	学生課及び国際連携本部からの奨学金案内等を周知している。	地域共創科学研究科 (人文・地域研究科事務部)	
クラス面談	学生（留学生を含む）のクラス担任は、少なくとも半期に 1 度、必要な場合はそれ以上の頻度で学生との面談を実施している。 その際、学業関係のみならず、生活面の困りごとについても話を聞き、場合によっては適切な相談窓口を紹介している。	学部教員（クラス担任）	
留学生に対する住居の場の提供	看護師宿舎の貸与	医学研究科学務グループ 附属病院 総務課 人事グループ	
協定校からの留学生に対する経済支援	入学料相当額の支給	医学研究科学務グループ	

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 4 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること

【分析の手順】

- ・ 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援の実施体制及び実施状況について、関係法令の趣旨を考慮して確認する。
 - ・ 対象となる学生が現在在籍していない場合でも、各大学固有の事情等に応じて生活支援を行うことのできる状況にあるかについて確認する。
- ※施設・設備のバリアフリー化への対応については、基準 4 - 1 において確認する。

- ・ 障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制（別紙様式 4 - 2 - 4）

生活支援の内容		担当する組織名称	備考
相談対応	障害学生の修学・生活上の困難に関する相談に応じている。	学生特別支援室	
合理的配慮の提供	障害学生との建設的対話による配慮内容の検討，妥当性の確認授業担当者への依頼を行っている。	学生特別支援室	
支援機器，書籍の貸出	障害学生の支援機器や障害に関する書籍の貸出を行っている	学生特別支援室	
学習スペース，休憩スペースの利用	障害学生が静かな環境で学習や休憩ができるスペースを設けている。	学生特別支援室	
支援機器等の配備	車椅子，ストレッチャー等の支援機器を配備している。	医学部保健学科	
授業等における配慮	学生特別支援室を通して配慮依頼のあった学生に対し，必要な措置を行っている。	保健学研究科	
相談対応	対象となる学生は現在在籍していないが，学生特別支援室を利用し，障害学生の修学・生活上の困難に関する相談に応ずることとしている。	地域社会研究科 地域共創科学研究科	

生活支援の内容		担当する組織名称	備考
面談の実施	教育実践総合センター学修支援部門が学生特別支援室と連絡をとりながら、当該学生に特別面談を行い、指導教員や実習先を含む関係者と連携し支援を行っている。	教育学部	
修学・学生生活上の困難 に対する合理的配慮	学生特別支援室からの配慮依頼文書に基づき、本学部教員が、合理的な範囲において授業や試験実施時の配慮を行っている。 配慮依頼の内容については、その学生の特性に応じて学生特別支援室が検討・決定し、学部の教員に依頼する形になっている。	人文社会科学部	
生活支援	障害を有する学生からの相談等を受けた場合は、「弘前大学における障害学生支援に関する基本方針」に基づき対応することとしている。	医学研究科	

※実績がない場合には、必要があれば対応できる体制が整備されていることを示すこと

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 5 学生に対する経済面での援助を行っていること

【分析の手順】

- ・奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知及び利用実績について確認する。
- ・入学金・授業料免除、奨学金（給付、貸与）、学生寄宿舍等、各大学固有の事情等に応じて、学生の経済面の援助が行われているかについて確認する。
- ・経済的支援の整備状況、利用実績一覧（別紙様式 4 - 2 - 5）

奨学金制度窓口の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示版への掲示 ・ ホームページ ・ X（旧ツイッター）
--------------	--

支援の内容	担当する組織名称	根拠規定	配置された人員	支援の実績	財源
大学独自の奨学金制度	学生課	岩谷元彰弘前大学育英基金の設立及び運用等に関する規程	5人	30人	外部資金（寄附金）
		弘前大学基金「トヨペット未来の青森県応援事業」に関する要項		4人	外部資金（寄附金）
		ネットワンシステムズ株式会社奨学金基金「優秀学生等奨学支援事業」に関する要項		42人	外部資金（寄附金）
		弘前大学生生活支援奨学金貸与要項		8人	外部資金（寄附金）
		引地基文弘前大学医学部医学科学生修学支援基金に関する細則		1人	外部資金（寄附金）

支援の内容	担当する組織名称	根拠規定	配置された人員	支援の実績	財源
	病院総務課	弘前大学医学部附属病院看護学生修学資金規程	5人	23人	外部資金（寄附金）
入学料の免除	学生課	弘前大学修学支援に伴う授業料等減免及び徴収猶予等に関する規程	5人	学部生 195人	授業料等減免費交付金
		弘前大学修学支援に伴う授業料等減免及び徴収猶予等に関する規程	5人	学部生 5人 （私費多浪）	運営費交付金
		弘前大学入学料免除及び徴収猶予に関する規程	5人	学部生 5人 （被災）	運営費交付金
		弘前大学入学料免除及び徴収猶予に関する規程	5人	大学院生 119人	運営費交付金
		弘前大学入学料免除及び徴収猶予に関する規程	5人	大学院生 2人 （被災）	運営費交付金
入学料の免除	国際連携本部	弘前大学大学院学則第 37 条 海外協定校からの留学生に対する授業料等の免除等措置実施要項	2人	7人	外部資金（寄附金）
授業料の免除	学生課	弘前大学修学支援に伴う授業料等減免及び徴収猶予等に関する規程	5人	学部生 1701人	授業料等減免費交付金
		弘前大学修学支援に伴う授業料等減免及び徴収猶予等に関する規程	5人	学部生 14人 （私費多浪）	運営費交付金
		弘前大学授業料等免除及び徴収猶予に関する規程	5人	学部生 32人 （被災）	運営費交付金
		弘前大学授業料等免除及び徴収猶予	5人	学部生 7人	運営費交付金

支援の内容	担当する組織名称	根拠規定	配置された人員	支援の実績	財源
		に関する規程		(激変緩和措置)	
		弘前大学授業料等免除及び徴収猶予に関する規程	5人	大学院生 369人	運営費交付金
		弘前大学授業料等免除及び徴収猶予に関する規程	5人	大学院生 164人	運営費交付金
		弘前大学授業料等免除及び徴収猶予に関する規程	5人	大学院生 6人 (被災)	運営費交付金
		卓越した学生に対する授業料免除に関する取扱要項	5人	大学院生 30人 (卓越学生)	運営費交付金
授業料の免除	国際連携本部	弘前大学大学院学則第 48 条 海外協定校からの留学生に対する授業料等の免除等措置実施要項	2人	36人	外部資金(寄附金)
寄宿舍の整備(学寮の設置)	学生課	弘前大学学寮管理運営規程	3人	男子寮(現員 101人)1棟 男子寮(現員95 人)1棟 女子寮(現員 111人)1棟	運営費交付金

基準 5 - 2 学生の受入が適切に実施されていること

分析項目 5 - 2 - 1 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること

【分析の手順】

- ・ 学士課程、大学院課程ともに入試の種類ごとに、入学者選抜の方法（学力検査、面接等）が入学者選抜の基本方針に適合していることを確認する。
- ・ 面接が含まれている場合は、面接要領等があることを確認する。
- ・ 実施体制の整備状況（組織の役割、構成、人的規模・バランス、組織間の連携・意思決定プロセス・責任の所在等）を確認する。

・ 入学者選抜の方法一覧（別紙様式 5 - 2 - 1）

学部・研究科	入試の種類	選抜方法	募集要項の記載ページ
人文社会科学部	一般選抜（前期日程）	学力検査	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
人文社会科学部	一般選抜（後期日程）	小論文	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
人文社会科学部	総合型選抜 I	小論文、面接、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
人文社会科学部	私費外国人留学生入試	日本留学試験、小論文、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf
人文社会科学研究科	一般選抜	専門科目（筆記試験）、口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/jinshayoukou2025.pdf
人文社会科学研究科	特別選抜（社会人）	専門科目（筆記試験）、口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/jinshayoukou2025.pdf
人文社会科学研究科	特別選抜（外国人留学生）	専門科目（筆記試験）、口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/jinshayoukou2025.pdf
人文社会科学研究科	特別選抜（推薦）	口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/jinshayoukou2025.pdf
人文社会科学研究科	特別選抜（協定校推薦）	出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/jinshayoukou2025.pdf

学部・研究科	入試の種類	選抜方法	募集要項の記載ページ
教育学部	一般選抜（前期日程）	学力検査、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
教育学部	一般選抜（後期日程）	面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
教育学部	総合型選抜Ⅰ	面接、集団討論、実技、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
教育学部	総合型選抜Ⅱ	面接、集団討論、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
教育学部	私費外国人留学生入試	日本留学試験、小論文、面接、実技	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf
教育学研究科	一般選抜	筆記試験、口述試験、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/kyoikuyoukou2025.pdf
教育学研究科	特別選抜（推薦）	口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/kyoikuyoukou2025.pdf
医学部（医学科）	一般選抜（前期日程）	学力検査、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
医学部（医学科）	総合型選抜Ⅱ	面接、ケーススタディの自学自習	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
医学部（医学科）	私費外国人留学生入試	日本留学試験、学力検査、小論文、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf
医学部（医学科）	2年次編入学	個別学力検査、面接、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/r7igaku-hennyuyoukou.pdf
医学部（保健学科）	一般選抜（前期日程）	学力検査、小論文	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
医学部（保健学科）	総合型選抜Ⅱ	小論文、面接、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
医学部（保健学科）	第3年次編入学試験	学力検査、面接、小論文	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/r07nenndo-3nennji2ji.pdf
医学部（保健学科）	私費外国人留学生入試	日本留学試験、小論文、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf

学部・研究科	入試の種類	選抜方法	募集要項の記載ページ
医学部（心理支援科学科）	一般選抜（前期日程）	学力検査、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
医学部（心理支援科学科）	私費外国人留学生入試	日本留学試験、小論文、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf
医学研究科	一般入試	筆記試験、口頭試問	https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/mediafile/pdf/20250403142458790.pdf
保健学研究科（保健学専攻）（博士前期課程）	一般入試	学力検査、口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/themes/hirodaihokenigakubu/file/nsyusi/hokengaku/ippan_zenki/zenkiboshu_2025.pdf
保健学研究科（保健学専攻）（博士前期課程）	特別選抜（推薦）	口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/themes/hirodaihokenigakubu/file/nsyusi/hokengaku/ippan_zenki/zenkiboshu_2025.pdf
保健学研究科（保健学専攻）（博士前期課程）	外国人留学生特別選抜	口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/themes/hirodaihokenigakubu/file/nsyusi/hokengaku/ippan_zenki/zenkiboshu_2025.pdf
保健学研究科（保健学専攻）（博士後期課程）	一般入試	学力検査、口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/11/koukiboshu_2025_3.pdf
保健学研究科（保健学専攻）（博士後期課程）	外国人留学生特別選抜	口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/11/koukiboshu_2025_3.pdf
保健学研究科（心理支援科学専攻）（修士課程）	一般選抜	学力検査、口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/05/2025_sinri_daigakuin_bosyu_youkou.pdf
保健学研究科（心理支援科学専攻）（修士課程）	特別選抜（推薦）	口述試験、出願書類	https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2024/05/2025_sinri_daigakuin_bosyu_youkou.pdf
理工学部	一般選抜（前期日程）	学力検査	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
理工学部	一般選抜（後期日程）	学力検査	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
理工学部	総合型選抜 I	講義及びレポート、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
理工学部	私費外国人留学生入試	日本留学試験、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf

学部・研究科	入試の種類	選抜方法	募集要項の記載ページ
理工学部	第3年次編入学	面接、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/04/r7rikou_hennyuyoukou.pdf
理工学研究科(博士前期課程)	一般選抜	筆記試験、面接試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rizenyoukou2025.pdf
理工学研究科(博士前期課程)	特別選抜(社会人)	面接試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rizenyoukou2025.pdf
理工学研究科(博士前期課程)	特別選抜(外国人留学生)	面接試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rizenyoukou2025.pdf
理工学研究科(博士前期課程)	特別選抜(推薦)	面接試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rizenyoukou2025.pdf
理工学研究科(博士前期課程)	特別選抜(協定校推薦)	出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rizenyoukou2025.pdf
理工学研究科(博士後期課程)	一般選抜	口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rikouyoukou2025.pdf
理工学研究科(博士後期課程)	特別選抜(協定校推薦)	出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/rikouyoukou2025.pdf
農学生命科学部	一般選抜(前期日程)	学力検査	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
農学生命科学部	一般選抜(後期日程)	学力検査	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/09-R7_bsyk_comm.pdf
農学生命科学部	総合型選抜I	小論文、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/07/02-R7_sbyk_sogo.pdf
農学生命科学部	私費外国人留学生入試	日本留学試験、小論文、面接	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/01/03-R7_bsyk4_abro.pdf
農学生命科学部	第3年次編入学	面接、出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/04/r7nousei_hennyuyoukou.pdf
農学生命科学研究科	一般選抜	口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/nouseiyoukou2025.pdf
農学生命科学研究科	特別選抜(社会人)	口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/nouseiyoukou2025.pdf

学部・研究科	入試の種類	選抜方法	募集要項の記載ページ
		(口述試験免除の場合は出願書類)	
農学生命科学研究科	特別選抜(外国人留学生)	口述試験 (口述試験免除の場合は出願書類)	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/nouseiyokou2025.pdf
農学生命科学研究科	特別選抜(協定校推薦)	出願書類	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/nouseiyokou2025kyoutei.pdf
地域社会研究科	一般選抜	書類審査、口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/tiikishakaiyokou2025.pdf
地域共創科学研究科	一般選抜	口述試験	https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2050/12/tikyoyouyokou2025.pdf

分析項目6-4-4 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること

【分析の手順】

・教育上主要と認める授業科目の定義を確認する。

・教育上主要と認める授業科目への専任の教授又は准教授の配置状況（該当する授業科目数、そのうち専任の教授又は准教授が担当する科目数、専任の講師が担当する科目数）を確認する。

※実際に授業を担当しない場合でも、専任の教授又は准教授が授業の内容、実施、成績に関して責任をもっている場合は、その授業科目を分析項目の状況に準ずるものとして分析することが可能。

・基幹教員制度を導入している場合は、主要な授業科目を担当する基幹教員の配置状況を確認する。

※適切な科目担当となっていることの最低限の担保として、大学院についても分析する。

・教育上主要と認める授業科目（別紙様式6-4-4）

教育研究上の基本組織 又は教育課程	教育上主要と認める授業科目の定義	授業科目数	専任の教授又は准教授が 担当する科目数	備考
人文社会科学部 文化創生課程 文化資源学コース	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	140科目	134科目	
人文社会科学部 文化創生課程 多文化共生コース	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	136科目	129科目	
人文社会科学部 文化創生課程 経済法律コース	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	127科目	119科目	
人文社会科学部 文化創生課程 企業戦略コース	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	111科目	105科目	
人文社会科学部 文化創生課程 地域行動コース	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	102科目	95科目	
人文社会科学部 人文社会科学専攻	全ての専門教育科目	160科目	123科目	
教育学部	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	617科目	522科目	
教育学研究科	教育学研究科で開講する全ての専門科目	114科目	114科目	
医学部医学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	82科目	82科目	

医学部保健学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	411科目	410科目	
医学部心理支援科学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	76科目	66科目	
医学研究科	専門科目の必修及び選択必修科目	307科目	259科目	
保健学研究科 保健学専攻博士前期課程	修了要件に算入できる全ての専門教育科目	91科目	91科目	
保健学研究科 保健学専攻博士後期課程	修了要件に算入できる全ての専門教育科目	19科目	19科目	
保健学研究科 心理支援科学専攻	修了要件に算入できる全ての専門教育科目	20科目	20科目	
理工学部 数物科学科 (数理科学コース)	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	50科目	47科目	
理工学部 数物科学科 (物質宇宙物理学コース)	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	53科目	50科目	
理工学部 数物科学科 (応用計算科学コース)	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	61科目	57科目	
理工学部 物質創成化学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	51科目	47科目	
理工学部 地球環境防災学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	55科目	50科目	
理工学部 電子情報工学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	59科目	57科目	
理工学部 機械科学科 (知能システムコース)	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	63科目	59科目	
理工学部 機械科学科 (医用システムコース)	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	63科目	59科目	
理工学部 自然エネルギー学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	53科目	43科目	
理工学研究科 理工学専攻	必修及び選択必修科目	138科目	113科目	
理工学研究科 機能創成科学専攻	必修及び選択必修科目	50科目	44科目	
理工学研究科 安全システム工学専攻	必修及び選択必修科目	52科目	47科目	
農学生命科学部 生物学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	107科目	95科目	
農学生命科学部 分子生命科学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	80科目	71科目	

農学生命科学部 食料資源学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	105科目	92科目	
農学生命科学部 国際園芸農学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	102科目	93科目	
農学生命科学部 地域環境工学科	卒業要件に算入できる全ての専門教育科目	85科目	77科目	
農学生命科学研究科 生物学コース	全ての専門教育科目	82科目	73科目	
農学生命科学研究科 分子生命科学コース	全ての専門教育科目	65科目	57科目	
農学生命科学研究科 食料資源学コース	全ての専門教育科目	82科目	64科目	
農学生命科学研究科 国際園芸農学コース	全ての専門教育科目	70科目	65科目	
農学生命科学研究科 地域環境工学コース	全ての専門教育科目	61科目	55科目	
地域社会研究科	必修及び選択科目	7科目	7科目	
地域共創科学研究科	地域共創科目，スキル科目， 専攻科目，特別研究	84科目	72科目	
(全学共通)	全ての教養教育科目	691科目	388科目	

※基本組織の中で複数の課程に分かれている場合は、適宜行を追加し作成する。ただし、教育課程方針の策定単位との整合性に留意する。

分析項目6-5-1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること

【分析の手順】

・ガイダンス、担任制、学習成果の状況の組織的把握と対応、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導、助言が行われていることを確認する。

・通信教育を行う課程を置いている場合は、そのための履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていることを確認する。

・授業科目への学術の発展動向（担当教員の研究成果を含む。）の反映、他学部の授業科目の履修、編入学や秋期入学への配慮、修士（博士前期）課程教育との連携、国内外の他大学との単位互換・交換留学制度の実施、ダブル・ディグリー制度の導入等の取組を積極的に行っている場合は、その状況についても確認する。

・履修指導の実施状況（別紙様式6-5-1）

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
人文社会科学部	ガイダンス	人文社会科学部	年度当初：1年次（1回／課程ごとに実施）、2年次（1回／コースごとに実施） 夏季休業中（後期授業開始直前）：1年次（1回／課程ごとに実施） 後期（10月下旬）：2年次（1回／コースごとに実施）
人文社会科学部	担任制	人文社会科学部	1人の学生に主担任と副担任を配置する複数担任制をとっている。 1年次「基礎ゼミナール」の担任を主担任とし、当該学生の卒業まで主担任を務める。 副担任は学年毎に変わる。（1年次は学生が所属する課程の学務委員、2年次は学生が所属するコースの学務委員、3年次・4年次は学生が所属するゼミナールの教員）
人文社会科学部	学習成果の状況の組織的把握と対応	人文社会科学部	学務委員会で学生ごとの単位取得状況を確認し、取得単位数が基準を下回る場合は対象学生の保証人に成績通知表と成績不振のお知らせ文書を送付するとともに、対象学生の主担任に個別面談の実施を依頼している。また、年に1回、春先に全ての学生の保証人に対して単位取得動向（成績通知表）を送付している。
人文社会科学部	学習計画の指導	人文社会科学部	入学直後の1年次を対象として履修相談で対応するとともに、毎学期、主担任による行われるクラス面談等においても相談を受け付けている。
人文社会科学部	能力別クラス分け	人文社会科学部	文化創生課程1年次学生対象の「グローバル実践科目」と、多文化共生コース2年次学生対象の「英語コミュニケーション」の授業において、いずれも事前に外部英語試験（VELC test）を受験させ、その結果に基づいた能力別クラス分けを実施している。

人文社会科学部	基礎学力不足の学生に対する指導、助言	人文社会科学部	学務委員会で学生ごとの単位取得状況を確認し、取得単位数が基準を下回る場合は対象学生の保証人に成績通知表と成績不振のお知らせ文書を送付するとともに、対象学生の主任に個別面談の実施を依頼している。また、年に1回、春先に全ての学生の保証人に対して単位取得動向（成績通知表）を送付している。
人文社会科学部	他学部の授業科目の履修	人文社会科学部	他学部開講授業の履修を認めている。取得した他学部開講授業の単位は、20単位を上限として本学部の適宜修得科目の単位とすることができる。
人文社会科学部	国内外の他大学との単位互換	人文社会科学部	弘前学院大学との単位互換制度を実施している。
人文社会科学部	交換留学制度	人文社会科学部	本学の海外協定校から特別聴講学生として30人程の留学生を受け入れている。また、人文社会科学部からも海外協定校に10名程度留学している。
人文社会科学研究科	ガイダンス	人文社会科学研究科	入学年度当初に、1年次生を対象に実施している。
人文社会科学研究科	主・副指導教員	人文社会科学研究科	前期・後期の履修科目届の提出時に履修状況及び学習計画の指導及び助言を行っている。
人文社会科学研究科	日本語授業の受講	国際連携本部	日本語能力向上のため、指導教員と相談の上、留学生に日本語授業を受講させている。
人文社会科学研究科	学部の授業科目の履修	人文社会科学研究科	履修登録にあたり、指導教員と相談の上、学部及び教養教育科目の授業を受講させている。
人文社会科学研究科	他研究科の授業科目の履修	人文社会科学研究科	主指導教員と協議の上、他研究科の授業科目の履修を認めている。
人文社会科学研究科	他大学研究科の授業科目の履修	人文社会科学研究科	学長の許可のもと、他大学研究科の授業科目の履修を認めている。
教育学部	新入生ガイダンス	学務委員会	4月に新入生を対象として1回実施
教育学部	履修相談	学務委員会	4月に新入生を対象として2日実施
教育学部	クラスアワー	学務委員会	4月・7月・10月に実施
教育学部	履修単位数の確認	学務委員会	前期及び後期開始時の年2回、学生の履修単位数の確認を行い、CAP 制を適切に運用している。
教育学部	履修単位10単位未満の学生の把握	学務委員会	半期の履修単位が10単位未満の学生を把握（令和6年度は対象学生が延べ207人）したうえで、指導教員が面談を実施し、さらに必要に応じて特別面談を実施
教育学部	副専攻制度の導入	学務委員会	令和5年度に弘前大学学部横断型副専攻プログラムに6プログラムを提供
教育学部	複数免許取得推奨	学務委員会	令和5年度に複数免許の取得を推奨するためのカリキュラム改訂と学生向けの案内を作成
教育学研究科	新入生ガイダンス（新入生）	教育学研究科	年度当初 1回
教育学研究科	臨時（対象：全学年）	教育学研究科	教務担当窓口で直接問い合わせた学生には、個別対応で履修相談を実施。

医学部	ガイダンス	医学部医学科	年度当初・各学年（1～6年次）1回（1時間）
医学部	少人数グループ担任制 クラス担任（学年担任）	医学部医学科	1年次・2年次：10名程度に教員2～3名配置 3～6年次：各学年に教員2名配置
医学部	ガイダンス	医学部医学科	年度当初 専攻別，学年別（1回）
医学部	クラス担任制	医学部医学科	各専攻で学年ごとに2名以上配置している。専攻によっては，学籍番号ごとに人数を割り振っている。
医学部	ガイダンス	医学部医学科	年度当初 専攻別，学年別（1回）
医学部	クラス担任制	医学部医学科	学年ごとに2名以上配置している。
医学部	ガイダンス	医学部保健学科	年度当初 専攻別，学年別（1回）
医学部	クラス担任制	医学部保健学科	各専攻で学年ごとに2名以上配置している。専攻によっては，学籍番号ごとに人数を割り振っている。
医学部	ガイダンス	医学部心理支援科学科	年度当初 専攻別，学年別（1回）
医学部	クラス担任制	医学部心理支援科学科	学年ごとに2名以上配置している。
医学研究科	指導教員による履修指導	医学研究科	学生一人に対し教員を1名配置、研究指導のほか、履修に関する指導・助言を行っている。
医学研究科	単位修得状況の確認	医学研究科	学事委員会において、学生の2年次終了時点の単位修得状況を確認し、必要に応じて、指導を行っている。
保健学研究科	ガイダンス	保健学研究科	年度当初 対象：新入生 1回（1時間）
保健学研究科	指導教員	保健学研究科	学生1名に対し教員1名配置。博士後期課程においては，副指導教員を配置する。
理工学部	ガイダンス	理工学部	年度当初（春季入学，秋季入学それぞれ） 学部（1回），学科別（1回） 学期当初 担任によるクラスアワー
理工学部	担任制	理工学部	1年次，2年次，3年次研究室仮配属前においては基礎ゼミ担任 3年次研究室仮配属以降，4年次においては各研究室の教員が担任
理工学部	リメディアル教育	理工学部	主に総合型入試による入学者を対象とした数学，化学，物理のリメディアル教育を平成30年度より行っている。
理工学研究科	ガイダンス	理工学研究科	年度当初（春季入学，秋季入学それぞれ）
理工学研究科	指導教員，副指導教員，研究指導委員会	理工学研究科	前期課程では各研究室の教員が主指導教員となり，副指導教員1名と共に研究指導を行っている。また後期課程では，主副指導教員を含む5名で研究指導委員会を組織し，研究指導を行っている。
農学生命科学部	ガイダンス	農学生命科学部	1年次ガイダンス：4月（全体・学年別） 2年次～4年次ガイダンス：4月（学科別）

農学生命科学部	クラス担任による面談	農学生命科学部	年2回程度で適宜実施（学科別）
農学生命科学部	GPAに基づく個別指導	農学生命科学部	成績表受領後（10月、4月）、GPAに基づいて成績不振学生や長期欠席学生に対して個別指導を実施
農学生命科学研究科	「実践研究推進セミナー」	農学生命科学研究科	コースの教員が参加し、院生の学習進捗状況の把握と助言を行なっている。
農学生命科学研究科	授業科目への学術の発展動向（担当教員の研究成果を含む）の反映	農学生命科学研究科	コースの教員が各担当科目で適宜行なっている。
農学生命科学研究科	基礎学力不足の学生に対する指導、助言	農学生命科学研究科	指導教員による指導
農学生命科学研究科	ガイダンス、履修相談	農学生命科学研究科	指導教員による担任制で、ガイダンス、学習状況の把握、学習計画の指導
地域社会研究科	ガイダンス	学務委員会	入学時の新入生ガイダンスで教育課程プログラム、履修方法などについて説明を行い、履修指導を行っている。 また、指導教員1名及び副指導教員2名が、適宜履修指導を実施している。
地域共創科学研究科	ガイダンス	学務委員会	全体ガイダンスとして、入学時の新入生ガイダンスで教育課程プログラム、履修方法等について説明を行い、履修指導を行っている。
(全学共通)	教養教育ガイダンス	教養教育開発実践センター	全新生生に対して教養教育ガイダンスを実施
(全学共通)	英語プレイスメントテスト	教養教育開発実践センター	外部テスト(VELC Test)の点数により、一年次英語科目について、4段階のレベル分けを実施
(全学共通)	履修相談（教養教育英語）	教養教育開発実践センター	全新生生の希望者に対し、一年次英語科目について履修相談を実施
(全学共通)	学芸員資格取得ガイダンス	全学学芸員課程委員会	全新生の学芸員取得希望者に対するガイダンス
(全学共通)	教職ガイダンス	教職支援センター	人文社会科学部・理工学部・農学生命科学部・医学部保健学科新生の教職免許取得希望者に対するガイダンス

分析項目6-5-2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること

【分析の手順】

・オフィスアワーの設定、ネットワークを活用した学習相談等、各大学固有の事情等に応じて、学習相談、助言等の学習支援が行われているかについて確認する。

・通信教育を行う課程を置いている場合は、学習相談の体制を整備し、学習相談、助言等の学習支援が行われていることを確認する。

・学習相談の実施状況（別紙様式6-5-2）

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
人文社会科学部	オフィスアワー	人文社会科学部	各教員ともオフィスアワーを設定しており、シラバスを利用して、学生にオフィスアワーの時間等を公開している。
人文社会科学部	学習相談	人文社会科学部	毎学期、主担任によるクラス面談を通じて学習相談、助言等が行われている。
人文社会科学研究科	オフィスアワー	人文社会科学研究科	各教員とも最低週1回のオフィスアワーを設けている。
人文社会科学研究科	学習相談	人文社会科学研究科	前期・後期の履修科目届の提出時に指導及び助言が行われている。
教育学部	オフィスアワーの設定	学務委員会	各教員が設定した曜日・時間帯において研究室で対応している。 また、年度当初に各教員のオフィスアワー一覧を作成し、学生に提供している。
教育学研究科	オフィスアワー	教育学研究科	各教員が設定した曜日・時間帯において研究室で対応。
医学部	少人数グループ担任制 クラス担任（学年担任）	医学部医学科	1年次・2年次：10名程度に教員2～3名配置 3～6年次：各学年に教員2名配置
医学部	オフィスアワー	医学部医学科	各教員で時間を設定し、シラバスに掲載している。
医学部	オフィスアワー	医学部保健学科	各教員で時間を設定し、シラバスに記載している。
医学部	学習相談	医学部保健学科	クラス担任制により、相談は随時受付可能であり、クラスによっては、学生と教員との個別面談も行われている。
医学部	オフィスアワー	医学部心理支援科学科	各教員で時間を設定し、シラバスに記載している。

医学部	学習相談	医学部心理支援科学科	クラス担任制により、相談は随時受付可能であり、クラスによっては、学生と教員との個別面談も行われている。
医学研究科	オフィスアワー	医学研究科	各教員で時間を設定し、シラバスに掲載している。 また、教員のE-Mailアドレスについても、シラバスに掲載し、メール等による相談にも対応している。
保健学研究科	オフィスアワー	保健学研究科	各教員が時間を設定し、シラバスに記載している。
保健学研究科	学習相談	保健学研究科	各学生に配置した指導教員が随時相談に対応している。
保健学研究科	通信教育	保健学研究科	メールやテレビ会議システムを利用して、遠隔地で受講している学生の相談にも対応を行っている。
理工学部	オフィスアワー	理工学部	全教員がオフィスアワーを設定し、教員居室に掲示して対応している
理工学部	学習相談	理工学部	理工学部内に「学生相談室」を設け、毎日昼休み時間中に大学院生が学習相談に応じている（相談件数は令和5年度：27件、令和6年度：30件）
理工学研究科	オフィスアワー	理工学部	全教員がオフィスアワーを設定し、教員居室に掲示して対応している
農学生命科学部	オフィスアワー	農学生命科学部	各教員は1週間に2時間程度のオフィスアワーを設置しており、シラバスや教育者総覧、研究室のドアに掲示している。
農学生命科学部	学習相談	農学生命科学部	本学部では、学生担任制度（クラス担任教員による面談）、オフィスアワーの設置等により、学生からの学習相談等に対応している。また、履修方法や単位の取得状況、さらには学籍に関すること（留学、休学、復学、転学部、転学科、退学等）等については、所属学部の教務（学務）担当者が、教養教育については学生センター内の教養教育担当者が相談を受け付けている。
農学生命科学部	学習記録ノート (ポートフォリオ)	農学生命科学部 地域環境工学科	H18年度にJABEEプログラムの認定を受けている地域環境工学科では、クラス担任教員と面談しながら、これまでの学習の反省と今後の学習への抱負を明確にするための「学びの記録」という学習記録ノート（ポートフォリオ）を作成させている。
農学生命科学研究科	オフィスアワー	農学生命科学研究科	各教員は1週間に2時間程度のオフィスアワーを設置しており、シラバスや教育者総覧、研究室のドアに掲示している。
地域社会研究科	オフィスアワー	研究科	各教員が指定した曜日・時間帯においてオフィスアワーを実施
地域社会研究科	指導教員等による指導	研究科	指導教員1名及び副指導教員2名が直接あるいはメール等により学習相談に対応
地域共創科学研究科	オフィスアワー	研究科	各教員が指定した曜日・時間帯においてオフィスアワーを実施
地域共創科学研究科	指導教員等による指導	研究科	指導教員1名及び副指導教員2名が直接あるいはメール等により学習相談に対応

(全学共通)	イングリッシュ・ラウンジ	教養教育開発実践センター	<p>(1) ネイティブスピーカーレベルの教員を5名配置している（ネイティブスピーカーは2名）。</p> <p>(2) 英語に堪能な留学生の中から、イングリッシュ・ラウンジサポーターを配置している（令和6年度19名）。</p> <p>(3) 実践的な英語能力向上のために英会話を交わすことができるようにして、英語の学習相談に対応している。</p> <p>(4) 基礎英語、CLIL、TOEIC/TOEFLなどの多彩な講座を開設し、各学生の英語能力に応じた学習相談を実施している。</p> <p>(5) 多読用図書をはじめ、英語の書籍やDVDを配架し、読解力やコミュニケーション能力の伸長を図っている。</p>
(全学共通)	入学前教育プログラム	アドミッションセンター	<p>(1) 総合型選抜Ⅰの入学者に対し、大学入学前まで継続して学習を行ってもらうために、入学前教育を実施している。</p> <p>(2) 実施する教科については、数学・物理・化学・生物の4科目の中から学習者自身が選択する（複数科目選択可能）。</p> <p>(3) 実施方法については、専門業者の講師による各回30分程度の講義映像、講義資料、演習教材を本学ホームページ上に用意し、学習者自身が必要だと思う単元を選択して受講してもらう。</p> <p>(4) 令和6年度（令和7年度入学生分）より本方式にて実施することを予定しており、実施状況については、実施後に教育委員会で報告を予定している。</p>
(全学共通)	新入生を対象とした補習教育	アドミッションセンター	<p>(1) 大学において学修する上で必要となる基礎的な知識を修得することを目的として実施している。</p> <p>(2) 実施する教科については、数学・物理・化学の3科目の中から学習者自身が選択する（複数科目選択可能）。</p> <p>(3) 実施方法については、専門業者の講師による各回30分程度の講義映像、講義資料、演習教材を本学ホームページ上に用意し、学習者自身が必要だと思う単元を選択して受講してもらう。</p> <p>(4) 令和6年度より本方式にて実施しており、令和6年度は延べ3,962回動画が視聴されている。</p> <p>(5) 本学理工学部と連携した大学院生による個別学習相談も実施しており、個別学生の進度に応じた学修相談を行っている。</p>
(全学共通)	修学支援面談	学生修学支援室	半期の取得修得数が10単位未満の学生に対し、個別面談を実施している。
(全学共通)	ピアサポーターによる学修相談	教育推進機構	先輩の学部学生が、履修登録期間前後に主に新入生の学修相談（学修の方法、履修登録、学習内容、その他）に応じる

分析項目6-5-3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること

【分析の手順】

- ・インターンシップ等の実施状況を確認する。
- ・その他教育課程の目的に応じた取組を確認する。

・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式6-5-3）

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
人文社会科学部	インターンシップ	人文社会科学部	インターンシップA単位修得者32人
人文社会科学研究科	ティーチングアシスタント	人文社会科学部	人文社会科学部の実験・実習・演習の授業補助業務を通じて、職業的能力の涵養を行っている。
人文社会科学研究科	修士論文等中間報告会（FD 公開発表会）	研究科運営会議	修士論文等の中間報告会を年2回実施し、プレゼンテーション能力を養成している。
人文社会科学研究科	修士論文等成果発表会	研究科運営会議	修了予定者を対象に成果発表会を年2回実施し、プレゼンテーション能力を養成している。
教育学部	教育実習の実施	学務委員会・教育実習部門	1年次から4年次までを通じた教育実習プログラムを整備し、学生に供している
教育学部	教養教育科目	教育学部	教養教育科目「キャリア形成の基礎」において、教職に特化した教育学部独自のプログラムを開講している。
教育学部	教職キャリア関連科目	教育学部、近隣市町村教育委員会	「地域コラボレーション演習Ⅰ」では、弘前市内の小・中学生の学習サポートをしながら子どもたちとの関わり方について体験している。「地域コラボレーション演習Ⅱ」では、へぎ地体験や近隣地域における学習ボランティア等の教育活動に参加し、教育的観点から地域住民との交流をおこなっている。
教育学研究科	実習科目	教育学研究科	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組について、教職キャリア関連科目を学生の必修科目としていることから、大学院の学生も履修済みであることが想定されるため、大学院では開設していない。また、インターンシップは実施していないが、連携協力校を中心とした恒常的実習等を通じて、社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組をおこなっている。
医学部	専門授業科目	医学部医学科	医学部に入学したばかりの学生が実際に医療の現場を体験することにより、医学生としての自覚をもち、医師への動機づけとなることを目的とした「臨床医学入門（早期体験実習）」を1年次学生を対象に開講している。

医学部	専門授業科目	医学部医学科	地域医療の意義や実態について学ばせ、将来、自身が地域医療にどのように関わっていくのかを考えさせることを目的とした「地域医療入門」を2年次学生を対象に開講している。
医学部	看護職インターンシップ説明会の開催	医学部保健学科 看護学専攻就職支援委員	年1回（令和6年度は9月）開催、対象：3年生・2年生（各80人）。単位認定なし。 主に東北・北海道・関東圏の病院（R6年度は54施設）の参加を得て実施している。
医学部	卒業生による進路ガイダンス	医学部心理支援科学科 就職支援委員	年1回（後期）、対象は学部1年生から修士2年生（約50名）、単位認定なし。 県内の現場で働いている公認心理師による講演。
医学部	「法務省人間科学系体験プログラム（法務教官・法務技官）」参加への支援	医学部心理支援科学科	毎年、学部3・4年生（3名程度）を対象。単位認定なし。 プログラムに参加を希望する学生に対して、学科長が推薦し、申し込みに必要な書類作成の添削指導を学科教員が行っている。
医学研究科	「地域がん医療推進のための未来リーダー育成コース」の開設	学事委員会	幅広いネットワークを持ち、様々ながん医療従事者と共に将来の地域がん医療を構築できるリーダーを目指すためのコースを開設している。
医学研究科	「小児血液・がん専門医育成コース」の開設	学事委員会	小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会）、血液専門医（日本血液学会）を取得し、さらに小児血液・がん指導医および血液指導医を目指すためのコースを開設している。
医学研究科	「地域がん医療次世代リーダー育成コース」の開設	学事委員会	地域がん医療のリーダーとなり、次世代の医療人の育成ができる人材を目指すためのコースを開設している。
医学研究科	「地域がん医療を推進する次世代病理診断医育成コース」の開設	学事委員会	がんの臨床医療に貢献する病理診断ができる病理診断医を目指すためのコースを開設している。
医学研究科	「地域がん医療を推進する次世代放射線治療医育成コース」の開設	学事委員会	がん医療の現場において、緩和的放射線治療から高精度放射線治療さらに核医学治療や小線源治療も含めた質の高い専門医療を個々の患者さんの病態に応じて提供することができ、かつ地域がん診療拠点病院において中心的役割を担うことができる医師を目指すためのコースを開設している。
保健学研究科	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント活動	保健学研究科	令和6年度 TA：34人、RA：6人 令和7年度（5月1日現在） TA：40人、RA：5人
保健学研究科	保健学研究セミナー1，2	保健学研究科 （博士前期課程）	博士前期課程の研究内容について中間発表を行い、プレゼンテーション能力を養成している。
保健学研究科	教育・研究者育成コースワーク	保健学研究科 （博士後期課程）	保健学領域における教育・研究者に求められる教育観や教育方法の在り方、エビデンス探求方法論や研究倫理について学ぶとともに、研究企画力やプレゼンテーション能力を修得している。

保健学研究科	インタープロフェッショナルワーク論	保健学研究科 (博士後期課程)	専門領域の異なる学生同士が、最新の保健医療に関する複数の課題を取り上げ、各専門の立場からの多角的な討論を通してインタープロフェッショナルワークの理念・方法論を修得している。
理工学部	キャリア関連科目	理工学部	・キャリア関連科目であるマネジメント科目群として、経営管理論(受講者75人)、ベンチャービジネス論(受講者125人)、現代科学史(受講者240人)、知的財産論(受講者224人)、技術者倫理(受講者139人)、企業経営史(受講者83人)を開講している。(受講者数：令和6年度)
理工学部	インターンシップ	理工学部	・県内インターンシップに関して、令和6年度は33人が参加した。 ・インターンシップの単位認定制度に関して、令和6年度は2件の利用があった。 ・本校卒業生による進路ガイダンスとして、学部から博士後期課程まで在学した修了生に「博士後期課程修了OB・OG講演会」と称して講演してもらい、在学生約40人の参加があった。質疑応答を通じて先輩方の実体験やキャリアパスを聞く貴重な機会を得た。
理工学研究科	インターンシップや学外実習による社会経験の提供	理工学研究科	・理工学研究科博士前期課程では当該能力の涵養を教育上の重要な柱と位置づけ、講義以外の取組としてインターンシップや学外実習による社会経験の提供を行っている。
理工学研究科	キャリア支援プログラム(ガイダンス、就職セミナー、履歴書・面接指導等)の実施	理工学研究科	・理工学研究科博士前期課程では当該能力の涵養を教育上の重要な柱と位置づけ、講義以外の取組としてキャリア支援プログラム(ガイダンス、就職セミナー、履歴書・面接指導等)の提供を行っている。
理工学研究科	インターンシップ	理工学研究科	・理工学研究科博士後期課程の授業科目「機能創成科学実習」「安全システム工学実習」において、本学学内共同利用施設や公設および民間の研究機関あるいは野外等で、主副指導教員のもとに専門分野の研究開発業務に一定期間従事させている。 ・本校卒業生による進路ガイダンスとして、学部から博士後期課程まで在学した修了生に「博士後期課程修了OB・OG講演会」と称して講演してもらい、在学生約40人の参加があった。質疑応答を通じて先輩方の実体験やキャリアパスを聞く貴重な機会を得た。
農学生命科学部	インターンシップ	農学生命科学部	令和6年度は学部学生32名がインターンシップに参加し、専門科目の「インターンシップ」や「地域環境工学実習」として単位認定された。
農学生命科学研究科	インターンシップ	農学生命科学部	選択科目として「インターンシップ」を開講しているが、令和6年度は単位認定された学生はいなかった。

農学生命科学研究科	キャリア開発セミナー	農学生命科学研究科	技術者養成を目指す「実践研究プログラム」の必修科目として開講し、修了生による自身の高度専門職業人としてのキャリアアップ体験談を聴き、業界を知るという取り組みを行っている。 令和6年度からは履修者に加えて、農学生命科学部及び農学生命科学研究科学生の希望者へ授業の一部を開放し、聴講可能とした。
地域社会研究科	教育課程	研究科	本研究科は自立的で持続的な地域社会の構築に実践的に関わる高度専門職業人を養成するために、「地域政策形成論」「選択科目」「演習」「特別研究」からなる「地域政策立案能力志向型」の教育課程であり、様々な領域の複数教員による教育研究指導体制をとっている。
地域共創科学研究科	就職支援体制整備	学務委員会	各学生のニーズに合った就職情報提供ができるよう、学務委員会が主体となり研究科全体で支援を行うことを検討し、体制を整備した。
(全学共通)	インターンシップ	キャリアセンター	(学部生) 国内164施設、336人(うち、教養教育科目(選択)として単位認定された学生数5人。)
(全学共通)	インターンシップ	キャリアセンター	(大学院生) 国内22施設、24人

分析項目6-5-4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること

【分析の手順】

・履修上特別な支援を要する学生への学習支援については、あらかじめこれらの学生の人数等に関するデータを把握した上で、各大学固有の事情等に応じて行われている学習支援の実施状況について確認する。

・障害のある学生に対する支援については、関係法令の趣旨を考慮して確認する。

・履修上特別な支援を行うことが必要と考えられる学生が現在在籍していない場合でも、各大学固有の事情等に応じて学習支援を行うことのできる状況にあるかについて確認する。

※施設・設備のバリアフリー化への対応については、基準4-1において確認する。

・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式6-5-4）

障害のある学生

教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
教育学研究科	教育学研究科	全学の支援体制について情報提供をおこない、加えて独自のガイダンスや進路指導、きめ細かい面談や教員間で共通理解を図るなど支援体制の充実とその実施に努めている。
農学生命科学部	農学生命科学部	・必要に応じ、学科長会議等の学部内の委員会、会議で対応している。 ・学生生活上の相談に応じるため「なんでも相談員」を設置し、学生からの要望を聞き取る体制を整備している。
農学生命科学研究科	農学生命科学研究科	・必要に応じ、コース長会議等の研究科内の委員会、会議で対応している。 ・学生生活上の相談に応じるため「なんでも相談員」を設置し、学生からの要望を聞き取る体制を整備している。
(全学共通)	学生特別支援室	学生特別支援室にて、障害学生との建設的対話による配慮内容の検討、妥当性の確認、授業担当者への合理的配慮依頼を行っている。 (令和6年度実績：合理的配慮66件) その他、障害学生に対する相談対応、支援機器や書籍の貸出、学習スペース・休憩スペースの貸出も実施している。

留学生

教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
教育学研究科	教育学研究科	全学の支援体制について情報提供をおこない、加えて独自のガイダンスや進路指導、きめ細かい面談や教員間で共通理解を図るなど支援体制の充実とその実施に努めている。
(全学共通)	国際連携本部	入学当初の留学生に対して、早く大学生生活に慣れ、学習や研究が向上するように必要に応じてチューターがつけられている。また、入学時にオリエンテーションを実施し、情報提供の仕組み等を含めた大学生生活に関わる説明を実施しており、大学から学生への連絡は掲示板、メール、Microsoft Teamsで行われている。学習・研究上の問題、進学・その他の問題については、各教員が相談時間を設け指導・助言を行っている。緊急連絡や各種行事、奨学金募集の案内等については、メール、Microsoft Teamsで随時情報提供している。また、留学生に対する外国語による主な情報提供として、「外国人留学生の手引き」、「授業科目シラバス」、「留学プログラム時間割」等を作成して配付している。

その他履修上特別な支援を要する学生

教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
教育学部	学務委員会、学修支援部門	半期の履修単位が10単位未満の学生を把握（令和6年度は対象学生が延べ207名）したうえで、指導教員が面談を実施し、さらに必要に応じて特別面談を実施
教育学研究科	教育学研究科	全学の支援体制について情報提供をおこない、加えて独自のガイダンスや進路指導、きめ細かい面談や教員間で共通理解を図るなど支援体制の充実とその実施に努めている。
(全学共通)	アドミッションセンター	リメディアル教育を実施している。（数学Ⅲ、物理、化学、生物）

分析項目 6-5-5 正規学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

- ・提供された機会を利用して、正規学生が海外で学習していることを確認する。

※この分析項目は、項目の内容を十分に実現し優れて機能している場合に限り、分析する。

- ・国内学生海外派遣実績（別紙様式6-5-5）

【ダブル・ディグリー／ジョイント・ディグリー・プログラムによる海外派遣学生】

《学士課程》

教育プログラム (全学・学部)	交流大学等	協定	国又は 地域	派遣 区分	派遣 期間	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
						派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位
合計						0		0		0	

《大学院課程》

教育プログラム (全学・大学院)	交流大学等	協定	国又は 地域	派遣 区分	派遣 期間	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
						派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位
合計						0		0		0	

【短期海外派遣学生・超短期海外派遣学生】

《学士課程》

教育プログラム (全学・学部)	交流大学等	協定	国又は 地域	派遣 区分	派遣 期間	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
						派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位
HIROSAKIはやぶさカレッジ(全学)	オークランド工科大学	○	ニュージー ランド	超短期	2週	3					
HIROSAKIはやぶさカレッジ(全学)	トンブソン・リバーズ大学	○	カナダ	超短期	3週	7		5			
HIROSAKIはやぶさカレッジ(全学)	チェンマイ大学	○	タイ	超短期	3週			3			
HIROSAKIはやぶさカレッジ(全学)	チャールズダーウィン大学	○	オーストラ リア	超短期	2週					6	
アメリカ農業研修プログラム(農学生命科学部)			アメリカ	短期	6か月	1					
協定校・私費留学(全学)	マウント・ロイアル大学	○	カナダ	短期	7か月	1				1	
協定校・短期語学留学(全学)	オークランド工科大学	○	ニュージー ランド	超短期	2週	1					
協定校・短期語学留学(全学)	トンブソン・リバーズ大学	○	カナダ	超短期	3週	1				1	
協定校・短期語学留学(全学)	トンブソン・リバーズ大学	○	カナダ	超短期	1ヶ月			1		1	
協定校・短期語学留学(全学)	オアハカ州立自治ベニートフ アレス大学	○	メキシコ	超短期	3週	2					
協定校・短期語学留学(全学)	開南大学	○	台湾	超短期	2週					1	
協定校・短期語学留学(全学)	釜山大学校 言語教育院	○	韓国	超短期	3週			2			
協定校・短期語学留学(全学)	トリア大学	○	ドイツ	超短期	1ヶ月			1			
協定校・短期語学留学(全学)	チェンマイ大学	○	タイ	超短期	3週			3		1	
協定校・短期語学留学(全学)	カタール大学	○	イタリア	超短期	1ヶ月			1			
協定校・短期語学留学(全学)	オタゴ大学	○	ニュージー ランド	超短期	4週間					4	
協定校・短期語学留学(全学)	ミズーリ州立大学	○	アメリカ	短期	8日間					2	

交換留学(全学)	カリフォルニア州立大学モン トレイベイ校	○	アメリカ	短期	5か月	1	1			
交換留学(全学)	サンディエゴ州立大学	○	アメリカ	短期	5ヶ月	1	1			
交換留学(全学)	サンディエゴ州立大学	○	アメリカ	短期	11ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	ハワイ大学コミュニティカ レッジ	○	アメリカ	短期	4ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	ハワイ大学コミュニティカ レッジ	○	アメリカ	短期	9か月			1	1	
交換留学(全学)	メイン州立大学	○	アメリカ	短期	9か月	1	1	3	3	
交換留学(全学)	テネシー大学マーチン校	○	アメリカ	短期	11ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	国立台北教育大学	○	台湾	短期	11か月	1	1			
交換留学(全学)	中国文化大学	○	台湾	短期	9か月	1	1			1 1
交換留学(全学)	高雄大学	○	台湾	短期	12ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	トウンク・アブドゥル・ラー マン大学	○	マレーシア	短期	3か月	1	1			
交換留学(全学)	チェンマイ大学	○	タイ	短期	12ヶ月					1 1
交換留学(全学)	トンプソン・リバーズ大学	○	カナダ	短期	8ヶ月	1				1 1
交換留学(全学)	トリノ大学	○	イタリア	短期	5ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	トリノ大学	○	イタリア	短期	10ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	トリア大学	○	ドイツ	短期	10ヶ月			2	2	
交換留学(全学)	トリア大学	○	ドイツ	短期	5ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	エストレマドゥーラ大学	○	スペイン	短期	4ヶ月			1	1	
交換留学(全学)	ボルドー・モンテーニュ大学	○	フランス	短期	4ヶ月					1 1
交換留学(全学)	デブレッセン大学	○	ハンガリー	短期	1年	1	1			

交換留学(全学)	オタゴ大学	○	ニュージーランド	短期	3ヶ月			1	1		
交換留学(全学)	オタゴ大学	○	ニュージーランド	短期	6ヶ月			2	2	1	1
成績優秀学生語学研修(全学)	オークランド工科大学	○	ニュージーランド	超短期	2週	7					
スタディツアー(人文社会科学部)	北京理工大学		中国	超短期	4日間			5			
ゴールドコースト語学学校研修(人文社会科学部)	ゴールドコースト語学学校		オーストラリア	超短期	2週間			4			
メイン州立大学異文化コミュニケーション集中講座(教育学部)	メイン州立大学	○	アメリカ	超短期	3週間	2	2	7			
Mackay Memorial Hospital 臨床実習(医学部)	馬偕医学院	○	台湾	超短期	1ヶ月			4	4	4	4
ハワイ大学夏期ワークショップ HCCPP(医学部)	ハワイ大学		アメリカ	超短期	10日間			9		9	
台北医学大学看護学部受入プログラム(医学部)	台北医学大学	○	台湾	超短期	2週間			6			
海外研修入門(農)	中興大学		台湾	超短期	1週間			8	8		
海外研修入門(農)	健康科技大学		台湾	超短期	1週間			8	8		
海外研修入門(農)	リンカーン大学		ニュージーランド	超短期	1週間			7	7		
ハワイ短期海外研修			アメリカ	超短期	1週間			6			
オンラインプログラム	ラ・フロンテラ大学	○	チリ	短期	2か月	5					
オンラインプログラム	釜山大学校	○	韓国	超短期	2週	4					
オンラインプログラム	オタゴ大学	○	ニュージーランド	超短期	4週	6					
オンラインプログラム	トンプソン・リバーズ大学	○	カナダ	超短期	3週	5					
オンラインプログラム	ヨーク大学		イギリス	超短期	2週	5					
オンラインサマープログラム(全学)	慶北大学校	○	韓国	超短期	2週			3			
オンラインウィンタープログラム(全学)	慶北大学校	○	韓国	超短期	2週			1			

オンラインサマープログラム(全学)	グリーン・インターナショナル・テクノロジカル大学		フィリピン	超短期	2週			1			
オンラインサマープログラム(全学)	マルタ大学		マルタ	超短期	1週					7	
オンラインオータムプログラム(全学)	サラマンカ大学		スペイン	超短期	3週					1	
CSU Summer School (医学部)	コロラド州立大学	○	アメリカ	超短期	2週					4	0
合計						58	9	102	44	47	9

《大学院課程》

教育プログラム (全学・大学院)	交流大学等	協定	国又は 地域	派遣 区分	派遣 期間	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
						派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位	派遣 学生数	うち 単位
短期語学研修 (人文社会科学研究科)	AICOL(Australian International College of Language)	なし	オーストラリア	超短期	16日間			1	0		
メイン大学英語集中学習センター 異文化コミュニケーション講座 (教育学研究科)	メイン州立メイン大学	協定校	米国	超短期	3週間			1	0		
ラドン測定研修 (保健学研究科 (修士))	コロラド州立大学		アメリカ	超短期	2週			1	0		
European Summer School (保健学研究科 (修士))	ストラスブール大学	○	フランス	超短期	1週					3	0
European Summer School (保健学研究科 (博士))	ストラスブール大学	○	フランス	超短期	1週					1	0
弘前大学地域戦略研究所大学院学生海外留学支援事業	デンマーク工科大学	○	デンマーク	短期	1年	0	0	1	0	0	0
短期留学	エストレマドゥーラ大学	○	スペイン	短期	180日間					1	
合計						0	0	4	0	5	0

分析項目6-8-1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること

【分析の手順】

- ・学部、研究科等ごとの標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）を算出し確認する。
- ・大学等の目的及び学位授与方針に則した資格の取得者数を確認する（卒業が受験資格となるものは必須）。
- ・大学院課程においては、研究活動の実績の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであることを確認する。
- ・標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1）

教育研究上の基本組織	標準修業年限内の卒業（修了）率					「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人文社会科学部	86.4%	83.9%	87.9%	88.4%	87.7%	90.6%	90.0%	91.3%	91.7%	92.6%
人文社会科学研究科	47.8%	72.7%	66.7%	81.0%	85.0%	86.4%	60.9%	81.8%	77.8%	81.0%
教育学部	88.3%	92.5%	93.3%	89.7%	86.2%	95.9%	95.5%	93.9%	97.7%	97.8%
教育学研究科	88.6%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	87.5%	94.3%	100.0%	100.0%	100.0%
医学部医学科	68.9%	84.1%	81.1%	91.7%	88.6%	98.4%	98.4%	98.5%	96.2%	97.7%
医学部保健学科	95.10%	96.57%	96.11%	93.14%	90.48%	94.55%	95.57%	98.53%	98.04%	98.54%
医学部心理支援科学科				90.0%	81.82%					90.9%
医学研究科	46.7%	39.1%	33.3%	29.1%	38.5%	70.8%	77.8%	70.0%	69.6%	55.6%
保健学研究科保健学専攻 （博士前期課程）	75.8%	70.0%	84.4%	84.8%	63.0%	93.8%	93.9%	86.7%	90.6%	93.9%
保健学研究科保健学専攻 （博士後期課程）	42.9%	50.0%	61.5%	46.2%	23.1%	58.3%	70.0%	64.3%	64.3%	84.6%
理工学部	87.5%	87.0%	89.4%	90.0%	82.3%	92.5%	94.4%	92.4%	90.0%	94.8%

理工学研究科 (博士前期課程)	90.7%	91.4%	94.2%	91.9%	90.4%	92.1%	93.6%	94.3%	96.7%	91.9%
理工学研究科 (博士後期課程)	60.0%	66.7%	75.0%	77.8%	62.5%	100.0%	84.6%	78.6%	88.9%	87.5%
農学生命科学部	86.6%	81.8%	87.8%	89.3%	88.1%	88.3%	86.8%	95.6%	95.5%	92.5%
農学生命科学研究科	94.6%	88.6%	88.1%	85.4%	93.7%	94.1%	98.2%	90.9%	88.1%	85.4%
地域社会研究科	0.0%	0.0%	33.3%	40.0%	28.6%	57.1%	22.2%	28.6%	50.0%	33.3%
地域共創科学研究科		80.0%	65.4%	84.8%	96.2%			92.0%	76.9%	90.9%
人文学部 経済経営課程	-	-	-	-	-	93.0%	-	-	-	-

分析項目6-8-2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること

【分析の手順】

- ・就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであること等を確認する。
- ・就職先、進学先の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであること等を確認する。
- ・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（別紙様式6-8-2）

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
人文社会科学部	卒業生 (A)	255	255	281	271	276	
	進学者 (B)	0	10	9	8	9	弘前大学大学院、東京大学大学院、北海道大学大学院、東北大学大学院
	進学率 (B/A)	0.0%	3.9%	3.2%	3.0%	3.3%	
	就職希望者 (C)	224	219	256	245	245	
	就職者 (D)	216	209	251	244	238	公務員（地方公務、国家公務） 金融（青森銀行、みちのく銀行） 小売（紅屋商事、ニトリ） 学校教育（国立大学法人弘前大学）
	卒業生に対する就職率 (D/A)	84.7%	82.0%	89.3%	90.0%	86.2%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	96.4%	95.4%	98.0%	99.6%	97.1%	
人文社会科学研究科	卒業生 (A)	12	8	15	19	20	
	進学者 (B)	1	4	0	2	0	弘前大学大学院
	進学率 (B/A)	8.3%	50.0%	0.0%	10.5%	0.0%	
	就職希望者 (C)	7	1	6	13	12	
	就職者 (D)	6	1	6	13	11	公務員（地方公務、国家公務）
	卒業生に対する就職率 (D/A)	50.0%	12.5%	40.0%	68.4%	55.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
教育学部	卒業者 (A)	180	170	177	168	152	弘前大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、宮城教育大学大学院、東北大学大学院
	進学者 (B)	12	17	14	9	11	
	進学率 (B/A)	6.7%	10.0%	7.9%	5.4%	7.2%	
	就職希望者 (C)	136	133	142	144	136	教員 (各都道府県公立学校) 地方公務 (青森県職員)
	就職者 (D)	134	132	142	142	136	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	74.4%	77.6%	80.2%	84.5%	89.5%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	98.5%	99.2%	100.0%	98.6%	100.0%	
教育学研究科	卒業者 (A)	31	16	20	19	15	弘前大学大学院
	進学者 (B)	1	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	28	13	19	18	14	教員 (各都道府県公立学校)
	就職者 (D)	28	13	19	18	14	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	90.3%	81.3%	95.0%	94.7%	93.3%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
医学部医学科	卒業者 (A)	110	145	130	147	129	臨床研修先病院
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	107	129	118	135	124	
	就職者 (D)	107	129	118	135	124	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	97.3%	89.0%	90.8%	91.8%	96.1%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
医学部保健学科	卒業生 (A)	204	206	200	197	200	弘前大学大学院、北海道大学大学院、東北大学大学院、大阪大学大学院
	進学者 (B)	17	17	17	24	19	
	進学率 (B/A)	8.3%	8.3%	8.5%	12.2%	9.5%	
	就職希望者 (C)	180	178	180	165	171	医療・福祉 (弘前大学医学部附属病院、東北大学病院、北海道大学病院、手稲溪仁会病院、青森県立中央病院、八戸市立市民病院)
	就職者 (D)	179	178	180	165	171	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	87.7%	86.4%	90.0%	83.8%	85.5%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
医学部心理支援科学科	卒業生 (A)				9	10	弘前大学大学院
	進学者 (B)				8	7	
	進学率 (B/A)				88.9%	70.0%	
	就職希望者 (C)				1	3	教育・学習支援
	就職者 (D)				1	3	
	卒業生に対する就職率 (D/A)				11.1%	30.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)				100.0%	100.0%	
医学研究科	卒業生 (A)	63	44	44	41	46	医療・福祉 (各病院)
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	60	44	42	41	46	
	就職者 (D)	60	44	42	41	46	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	95.2%	100.0%	95.5%	100.0%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
保健学研究科 (博士前期課程)	卒業生 (A)	31	28	34	33	20	弘前大学大学院
	進学者 (B)	6	8	8	9	1	
	進学率 (B/A)	19.4%	28.6%	23.5%	27.3%	5.0%	
	就職希望者 (C)	24	20	26	24	18	医療・福祉 (弘前大学医学部附属病院)
	就職者 (D)	24	20	26	24	18	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	77.4%	71.4%	76.5%	72.7%	90.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
保健学研究科 (博士後期課程)	卒業生 (A)	8	11	11	13	13	大学教員 (国立大学法人弘前大学) 医療・福祉
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	8	11	9	12	13	
	就職者 (D)	8	11	9	12	13	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	100.0%	100.0%	81.8%	92.3%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
理工学部	卒業生 (A)	341	351	343	360	333	弘前大学大学院、北海道大学大学院、東北大学大学院、名古屋大学大学院、東京大学大学院、筑波大学大学院、京都大学大学院
	進学者 (B)	140	149	149	158	180	
	進学率 (B/A)	41.1%	42.5%	43.4%	43.9%	54.1%	
	就職希望者 (C)	182	179	180	184	139	公務員 (地方公務、国家公務) 製造業 (日本原燃、弘前航空電子、キオクシア岩手) 教員 (青森県立学校)
	就職者 (D)	181	175	175	178	138	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	53.1%	49.9%	51.0%	49.4%	41.4%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	99.5%	97.8%	97.2%	96.7%	99.3%	

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
理工学研究科 (博士前期課程)	卒業者 (A)	101	98	120	116	123	弘前大学大学院、京都大学大学院、北海道大学大学院、東京大学大学院
	進学者 (B)	4	4	6	4	7	
	進学率 (B/A)	4.0%	4.1%	5.0%	3.4%	5.7%	
	就職希望者 (C)	91	90	112	110	114	製造業 (日本原燃、三菱電機、日本航空電子工業) 電気・ガス・熱供給 (東北電力、北海道電力)
	就職者 (D)	89	90	112	109	113	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	88.1%	91.8%	93.3%	94.0%	91.9%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	97.8%	100.0%	100.0%	99.1%	99.1%	
理工学研究科 (博士後期課程)	卒業者 (A)	11	10	7	12	7	大学教員 学術・開発研究機関
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	5	6	5	8	6	
	就職者 (D)	5	6	5	8	6	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	45.5%	60.0%	71.4%	66.7%	85.7%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
農学生命科学部	卒業者 (A)	212	210	214	217	206	弘前大学大学院、北海道大学大学院、東北大学大学院、東京大学大学院、千葉大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院
	進学者 (B)	61	54	68	56	58	
	進学率 (B/A)	28.8%	25.7%	31.8%	25.8%	28.2%	
	就職希望者 (C)	139	136	140	151	137	公務員 (地方公務、国家公務) 複合サービス (ホクレン農業協同組合連合会) 小売 (紅屋商事、ユニバース)
	就職者 (D)	137	135	137	149	137	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	64.6%	64.3%	64.0%	68.7%	66.5%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	98.6%	99.3%	97.9%	98.7%	100.0%	

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
農学生命科学研究科	卒業生 (A)	55	42	40	39	56	岩手大学大学院
	進学者 (B)	6	8	4	4	7	
	進学率 (B/A)	10.9%	19.0%	10.0%	10.3%	12.5%	
	就職希望者 (C)	41	29	31	34	46	公務員 (地方公務、国家公務) 製造業 (ニプロ、ニプロファーマ) 専門・技術サービス (青森県産業技術センター、北海道立総合研究機構)
	就職者 (D)	37	29	30	34	46	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	67.3%	69.0%	75.0%	87.2%	82.1%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	90.2%	100.0%	96.8%	100.0%	100.0%	
地域社会研究科	卒業生 (A)	3	4	6	5	3	大学教員
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	3	2	4	3	2	
	就職者 (D)	3	2	4	3	2	
	卒業生に対する就職率 (D/A)	100.0%	50.0%	66.7%	60.0%	66.7%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
地域共創科学研究科	卒業生 (A)		20	20	32	31	弘前大学大学院、岩手大学大学院、北海道大学大学院
	進学者 (B)		4	1	3	1	
	進学率 (B/A)		20.0%	5.0%	9.4%	3.2%	
	就職希望者 (C)		9	15	27	27	地方公務
	就職者 (D)		8	15	26	23	
	卒業生に対する就職率 (D/A)		40.0%	75.0%	81.3%	74.2%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)		88.9%	100.0%	96.3%	85.2%	

教育研究上の基本組織		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な進学先/就職先
人文学部	卒業者 (A)	7	3	0	1	0	
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	6	2	0	0	0	地方公務 学校教員
	就職者 (D)	2	2	0	0	0	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	28.6%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

認証評価共通基礎データ様式【改正後基準】【大学(専門職大学含む)用】様式1(令和7年5月1日現在)

事項	記入欄		備考
大学の名称	国立大学法人弘前大学		
学校本部の所在地	青森県弘前市文京町1		
教育研究組織	学部・学科等の名称	開設年月日	所在地
	人文社会科学部 文化創生課程 社会経営課程	平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日	青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1
	教育学部 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース 中学校コース 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程	昭和24年5月31日 平成12年4月1日 平成28年4月1日 平成23年4月1日 昭和53年4月1日	青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1
	医学部 医学科 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻 心理支援科学科	昭和26年4月1日 平成12年10月1日 平成12年10月1日 平成12年10月1日 平成12年10月1日 平成12年10月1日 平成12年10月1日 平成12年10月1日 令和2年4月1日	青森県弘前市在府町5 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1
	理工学部 数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日	青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3
	農学生命科学部 生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日 平成28年4月1日	青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3
	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地
	人文社会科学研究科 人文社会科学専攻(M)	平成11年4月1日 令和2年4月1日	青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1
	医学研究科 医科学専攻(D)	昭和33年4月1日	青森県弘前市在府町5
	保健学研究科 保健学専攻(M) 保健学専攻(D) 心理支援科学専攻(M)	平成19年4月1日 平成19年4月1日 令和6年4月1日	青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市本町66番地1 青森県弘前市文京町1
	理工学研究科 理工学専攻(M) 機能創成科学専攻(D) 安全システム工学専攻(D)	平成22年4月1日 平成16年4月1日 平成16年4月1日	青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3 青森県弘前市文京町3
	農学生命科学研究科 農学生命科学専攻(M)	平成24年4月1日	青森県弘前市文京町3
	地域社会研究科 地域社会専攻(D)	平成14年4月1日	青森県弘前市文京町1
	地域共創科学研究科 地域リノベーション専攻(M) 産業創成科学専攻(M)	令和2年4月1日 令和2年4月1日 令和2年4月1日	青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1 青森県弘前市文京町1
	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地
専門職学位課程 教育学研究科 教職実践専攻(P)	平成29年4月1日	青森県弘前市文京町1	
学生募集停止中の学部・研究科等	人文学部経済経営課程(平成28年度学生募集停止、在学生数1人)		

学部・学科等の名称	基 幹 教 員					基準数	うち教授数	助手	基幹教員以外 の教員 (助手を除く)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数	備 考
	教授	准教授	講師	助教	計						
人文社会科学部											
文化創生課程 計(a~d)	6人	13人	2人	9人	30人	10人	5人	0人	10人	—	
a.	6人	13人	2人	9人	30人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	6人	13人	2人	9人	30人	—	—	—	—		8人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
人文社会科学部											
社会経営課程 計(a~d)	12人	14人	0人	6人	32人	14人	7人	0人	25人	—	
a.	12人	14人	0人	6人	32人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	12人	14人	0人	6人	32人	—	—	—	—		11人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
教育学部											
学校教育教員養成課程 計(a~d)	21人	24人	5人	10人	60人	8人	4人	0人	84人	—	
a.	21人	24人	5人	10人	60人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	21人	24人	5人	10人	60人	—	—	—	—		6人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
教育学部											
養護教諭養成課程 計(a~d)	3人	1人	0人	2人	6人	6人	3人	0人	10人	—	
a.	3人	1人	0人	2人	6人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	3人	1人	0人	2人	6人	—	—	—	—		5人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
医学部											
医学科 計(a~d)	40人	33人	17人	63人	153人	150人	30人	25人	62人	—	
a.	40人	33人	17人	63人	153人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	40人	33人	17人	63人	153人	—	—	—	—		113人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
医学部											
保健学科 計(a~d)	23人	13人	9人	30人	75人	22人	11人	7人	42人	—	
a.	23人	13人	9人	30人	75人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	23人	13人	9人	30人	75人	—	—	—	—		17人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
医学部											
心理支援科学科 計(a~d)	5人	4人	0人	1人	10人	6人	3人	0人	2人	—	
a.	5人	4人	0人	1人	10人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	5人	4人	0人	1人	10人	—	—	—	—		5人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
理工学部											
数物科学科 計(a~d)	10人	8人	0人	4人	22人	8人	4人	0人	22人	—	
a.	10人	8人	0人	4人	22人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	10人	8人	0人	4人	22人	—	—	—	—		6人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
理工学部											
物質創成化学科 計(a~d)	7人	6人	0人	4人	17人	8人	4人	0人	21人	—	
a.	7人	6人	0人	4人	17人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	7人	6人	0人	4人	17人	—	—	—	—		6人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
理工学部											
地球環境防災学科 計(a~d)	5人	5人	2人	3人	15人	8人	4人	0人	23人	—	
a.	5人	5人	2人	3人	15人	—	—	—	—		
b.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
小計(a~b)	5人	5人	2人	3人	15人	—	—	—	—		6人
c.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		
d.	0人	0人	0人	0人	0人	—	—	—	—		

学士課程

	研究科・専攻等の名称	研究指導教員及び研究指導補助教員							助手	非常勤教員	備考	
		研究指導教員	うち教授数	研究指導補助教員	計	研究指導教員基準数	うち教授数	研究指導補助教員基準数				基準数計
大学院課程	人文社会科学研究科 人文社会科学専攻(M)	47人	12人	0人	47人	3人	2人	2人	5人	0人	5人	
	医学研究科 医科学専攻(D)	39人	39人	25人	64人	30人	20人	30人	60人	18人	39人	
	保健学研究科 保健学専攻(M)	48人	26人	12人	60人	6人	4人	6人	12人	0人	9人	
	保健学研究科 保健学専攻(D)	39人	27人	5人	44人	6人	4人	6人	12人	0人	0人	
	保健学研究科 心理支援科学専攻(M)	9人	5人	0人	9人	2人	2人	3人	5人	0人	5人	
	理工学研究科 理工学専攻(M)	85人	43人	13人	98人	18人	12人	0人	18人	0人	9人	
	理工学研究科 機能創成科学専攻(D)	32人	21人	11人	43人	4人	3人	3人	7人	0人	0人	
	理工学研究科 安全システム工学(D)	36人	24人	9人	45人	4人	3人	3人	7人	0人	0人	
	農学生命科学研究科 農学生命科学専攻(M)	60人	21人	0人	60人	8人	6人	0人	8人	0人	0人	
	地域社会研究科 地域社会専攻(D)	29人	21人	0人	29人	3人	2人	3人	6人	0人	0人	
	地域共創科学研究科 地域リノベーション専攻(M)	23人	11人	1人	24人	2人	2人	2人	4人	0人	0人	
	地域共創科学研究科 産業創成科学専攻(M)	32人	13人	1人	33人	2人	2人	2人	4人	0人	0人	
	計	479人	263人	77人	556人	88人	62人	60人	148人	18人	67人	
	専門職学位課程	研究科・専攻等の名称	専任教員							助手	非常勤教員	備考
		専任教員	うち教授数	うち実務家専任教員数	うちみなし専任教員数	基準数	うち教授数	うち実務家専任教員数	うちみなし専任教員数			
教育学研究科 教職実践専攻(P)		48人	24人	23人	0人	35人	18人	14人	9人	0人	12人	
計	48人	24人	23人	0人	35人	18人	14人	9人	0人	12人		
校地等	区分	基準面積		専用		共用		共用する他の学校等の専用		計		備考
	校舎敷地面積	—		202476 m ²		m ²		m ²		202476 m ²		
	運動場用地	—		83271 m ²		m ²		m ²		83271 m ²		
	校地面積計	73540 m ²		285747 m ²		0 m ²		0 m ²		285747 m ²		
	その他	—		858621 m ²		m ²		m ²		858621 m ²		
校舎等施設・設備等	区分	基準面積		専用		共用		共用する他の学校等の専用		計		
	校舎面積計	67053 m ²		123809 m ²		m ²		m ²		123809 m ²		
	学部・研究科等の名称	室数										
	人文社会科学部	74 室										
	教育学部	106 室										
	理工学研究科	108 室										
	農学生命科学部	88 室										
	医学研究科	143 室										
	保健学研究科	87 室										
	地域社会研究科	4 室										
	被ばく医療総合研究所	6 室										
	地域戦略研究所	5 室										
	教育推進機構	10 室										
	国際連携本部	5 室										
	区分	講義室		演習室		実験演習室		情報処理学習施設		語学学習施設		
文京町キャンパス教室等施設	80 室		110 室		347 室		12 室		5 室			
本町キャンパス教室等施設	18 室		35 室		203 室		2 室		0 室			
青森市柳川キャンパス教室等施設	0 室		0 室		3 室		0 室		0 室			
サテライトキャンパス等	室		室		室		室		室			
図書館・図書資料等	図書館等の名称	面積		閲覧座席数								
	弘前大学附属図書館	5965 m ²		521 席								
	大学附属図書館医学部	1386 m ²		124 席								
	サテライトキャンパス	なし m ²		なし 席								
図書館等の名称	図書(うち外国書)		学術雑誌(うち外国書)				電子ジャーナル(うち国外)					
弘前大学附属図書館	694227 [157231] 冊		19304 [3948] 種				13548 [11840] 種					
大学附属図書館医学部	145588 [62607] 冊		6602 [2401] 種				[] 種					
サテライトキャンパス	なし [] 冊		なし [] 種				[] 種					
計	839815 [219838] 冊		25906 [6349] 種				13548 [11840] 種					
体育館	面積											
	文京町キャンパス	4290 m ²										
	本町キャンパス	1457 m ²										
	学園町キャンパス	2398 m ²										

[注]

- 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、別科・専攻科、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教育研究組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第41条）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」にそのことがわかるよう記載するとともに、備考欄に、①連携する学部や研究科、②どの学部や研究科から何名の教員が当該課程に所属しているか、を明記してください。
- 3 教育研究組織の欄に、専門職学科（大学設置基準第10章）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」や「備考欄」にそのことがわかるよう記載してください。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、「別科・専攻科等」の欄に記載してください。
- 5 所在地について、2以上の校地において行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「〇〇キャンパス」と記載してください。
- 6 教育研究実施組織の欄には、教育研究組織の欄に記載した組織単位で幹教員及び基幹教員以外の教員の数を記入してください。その際、専門職学科等を設置していない場合は「学士課程」、専門職学科等を設置している場合は「学士課程（専門職学科等含む）」の欄を使用してください。
- 7 基幹教員の数値は下記区分に基づき記載してください。
 - a. 専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの
 - b. 専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）
 - c. 専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）
 - d. 専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）
- 8 上記4に記載した、学部教育を担当する独立の組織がある場合には、組織名は、「学部・学科等の名称」の欄に「その他の組織等（〇〇）」と記載し、基幹教員及び基幹教員以外の教員の数を記載してください。なお、その場合は、「基準数（及び「うち教授数」）」の欄は「—」としてください。
- 9 教育研究実施組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第41条）に関する記載をする際には、「学士課程」又は「学士課程（専門職学科等含む）」の「備考欄」に学部等連携課程としての基幹教員数や所属組織等を記入してください。
- 10 基幹教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に大学を離れている場合は基幹教員に算入しないでください。また、大学設置基準第9条における「授業を担当しない教員」についても含めないでください。
- 11 基幹教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の基準数については、それぞれ以下に定める教員数を記載してください。
 - ・大学設置基準第10条別表第一及び別表第二（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学通信教育設置基準第8条別表第一（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学院設置基準第9条の規定に基づく「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示第175号）別表第一、別表第二及び別表第三（備考に規定する事項を含む。）
 - ・「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第1条及び第2条
- 12 「学士課程（専門職学科等含む）」のうち、「うち実務家基幹教員数」の欄については、大学設置基準第42条の3に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する基幹教員（実務家基幹教員）の教員数、「うちみなし基幹教員数」の欄については、1年につき6単位以上の授業科目を担当し、教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う基幹教員以外の者（みなし基幹教員）の教員数を記入してください。
- 13 「専門職学位課程」のうち、「うち実務家専任教員数」の欄については、「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第2条に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する専任教員（実務家専任教員）の教員数、「うちみなし専任教員数」の欄については、1年につき4単位以上の授業科目を担当し、教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う専任教員以外の者（みなし専任教員）の教員数を記入してください。
- 14 「学士課程（専門職学科等含む）」のうち、「〇〇学部〇〇専門職学科」以外の学部・課程においては、「うち実務家基幹教員数」、「うち2項該当数」、「うちみなし基幹教員数」の欄は「—」としてください。
- 15 「学士課程」のうち、薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部・学科及び教員養成に関する学部等については、「基幹教員」欄に記入した基幹教員のうちの実務家基幹教員の数を「備考欄」に記入してください。実務家基幹教員中にみなし基幹教員がいる場合は、さらにその内数を実務家基幹教員の数に（ ）で添えて記入してください。なお、ここにいう「実務家基幹教員」及び「みなし基幹教員」については、それぞれ「大学設置基準別表第一イ備考第九号の規定に基づき薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部に係る専任教員について定める件」（平成16年文部科学省告示第175号）及び「大学設置基準別表第一イ（1）備考第十一号の規定に基づき、教員養成に関する学部に係る基幹教員について定める件」（令和5年文部科学省告示第49号）第1項及び同第2項に定める教員を指します。
- 16 大学設置基準第57条に定める教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例を受けている場合には、特例を受けた学部・学科・課程等の「備考欄」に特例の内容を簡潔に記載してください。
- 17 「校舎敷地面積」、「運動場用地」の欄は、大学設置基準上算入できるものを含めてください。
- 18 寄宿舎その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第1項を参照）用地、附置研究所用地、駐車場、大学生協用地など大学設置基準上「校地」に算入できない面積は「校地等」の「その他」の欄に記入してください。
- 19 「校舎面積計」の欄は、学校基本調査の学校施設調査票（様式第20号）における学校建物の用途別面積の「校舎」の面積の合計としてください。
- 20 校地面積、校舎面積の「専用」の欄には、当該大学が専用で使用する面積を記入してください。「共用」の欄には、当該大学が他の学校等と共用する面積を記入してください。「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該大学の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を記入してください。
- 21 「基準面積」の欄は、大学設置基準第37条における「大学における校地」の面積（附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舎の面積を除く。）または大学通信教育設置基準第9条の校舎等の施設的面積としてください。
- 22 「教員研究室」の欄は、基幹教員数に算入していない教員の実験室は記入する必要はありません。

認証評価共通基礎データ様式【改正後基準】【大学(専門職大学含む)用】様式2(令和7年10月1日現在)

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考		
人文社会科学部	文化創生課程	志願者数	377	397	414	408	405	108%			
		合格者数	122	126	124	125	132				
		入学者数(A)	118	114	119	118	127				
		入学定員(B)	110	110	110	110	110				
		入学定員充足率(A/B)	107%	104%	108%	107%	115%				
		在籍学生数(C)	483	490	485	488	487				
		収容定員(D)	440	440	440	440	440				
	収容定員充足率(C/D)	110%	111%	110%	111%	111%					
	社会経営課程	志願者数	479	509	523	527	513	108%			
		合格者数	170	174	175	174	182				
		入学者数(E)	164	169	165	162	174				
		入学定員(F)	155	155	155	155	155				
		入学定員充足率(E/F)	106%	109%	106%	105%	112%				
		在籍学生数(G)	677	696	688	681	686				
収容定員(H)		620	620	620	620	620					
収容定員充足率(G/H)	109%	112%	111%	110%	111%						
人文学部	人間文化課程	志願者数	—	—	—	—	—		平成28年度募集停止、令和4年3月31日廃止		
		合格者数	—	—	—	—	—				
		入学者数(A)	—	—	—	—	—				
		入学定員(B)	—	—	—	—	—				
		入学定員充足率(A/B)	—	—	—	—	—				
		在籍学生数(C)	3	—	—	—	—				
		収容定員(D)	—	—	—	—	—				
	収容定員充足率(C/D)	—	—	—	—	—					
	現代社会課程	志願者数	—	—	—	—	—			平成28年度募集停止、令和4年9月30日廃止	
		合格者数	—	—	—	—	—				
		入学者数(A)	—	—	—	—	—				
		入学定員(B)	—	—	—	—	—				
		入学定員充足率(A/B)	—	—	—	—	—				
		在籍学生数(C)	1	1	—	—	—				
		収容定員(D)	—	—	—	—	—				
	収容定員充足率(C/D)	—	—	—	—	—					
	経済経営課程	志願者数	—	—	—	—	—				平成28年度募集停止
		合格者数	—	—	—	—	—				
入学者数(A)		—	—	—	—	—					
入学定員(B)		—	—	—	—	—					
入学定員充足率(A/B)		—	—	—	—	—					
在籍学生数(C)		4	2	2	1	1					
収容定員(D)		—	—	—	—	—					
収容定員充足率(C/D)	—	—	—	—	—						
人文社会科学部 人文学部	合計	志願者数	856	906	937	935	918	108%			
		合格者数	292	300	299	299	314				
		入学者数(I)	282	283	284	280	301				
		入学定員(J)	265	265	265	265	265				
		入学定員充足率(I/J)	106%	107%	107%	106%	114%				
		在籍学生数(K)	1,168	1,189	1,175	1,170	1,174				
		収容定員(L)	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060				
		収容定員充足率(K/L)	110%	112%	111%	110%	111%				

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考	
教育学部	小学校等課程教育専攻	志願者数	221	483	280	301	321	101%		
		合格者数	83	83	85	84	85			
		入学者数(A)	81	79	80	80	82			
		入学定員(B)	80	80	80	80	80			
		入学定員充足率(A/B)	101%	99%	100%	100%	103%			
		在籍学生数(C)	337	330	323	323	330			
		収容定員(D)	330	325	320	320	320			
	収容定員充足率(C/D)	102%	102%	101%	101%	103%				
	国語専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	19	23	14	16	11	114%	
			合格者数	9	8	7	8	8		
			入学者数(A)	9	8	7	8	8		
			入学定員(B)	7	7	7	7	7		
			入学定員充足率(A/B)	129%	114%	100%	114%	114%		
			在籍学生数(C)	35	34	32	33	32		
			収容定員(D)	28	28	28	28	28		
	収容定員充足率(C/D)	125%	121%	114%	118%	114%				
	社会専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	18	13	16	22	12	117%	
			合格者数	8	7	9	10	8		
			入学者数(A)	8	6	9	10	8		
			入学定員(B)	7	7	7	7	7		
			入学定員充足率(A/B)	114%	86%	129%	143%	114%		
			在籍学生数(C)	34	32	31	33	32		
			収容定員(D)	28	28	28	28	28		
	収容定員充足率(C/D)	121%	114%	111%	118%	114%				
	数学専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	15	10	13	10	11	109%	
			合格者数	8	8	8	7	7		
			入学者数(A)	8	8	8	7	7		
			入学定員(B)	7	7	7	7	7		
			入学定員充足率(A/B)	114%	114%	114%	100%	100%		
			在籍学生数(C)	31	32	32	33	31		
収容定員(D)			30	29	28	28	28			
収容定員充足率(C/D)	103%	110%	114%	118%	111%					
理科専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	10	23	19	21	8	111%		
		合格者数	7	8	8	11	6			
		入学者数(A)	6	8	8	11	6			
		入学定員(B)	7	7	7	7	7			
		入学定員充足率(A/B)	86%	114%	114%	157%	86%			
		在籍学生数(C)	35	33	33	33	33			
		収容定員(D)	30	29	28	28	28			
収容定員充足率(C/D)	117%	114%	118%	118%	118%					
音楽専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	3	5	7	1	5	107%		
		合格者数	2	3	5	1	5			
		入学者数(A)	2	3	5	1	5			
		入学定員(B)	3	3	3	3	3			
		入学定員充足率(A/B)	67%	100%	167%	33%	167%			
		在籍学生数(C)	16	16	16	14	14			
		収容定員(D)	14	13	12	12	12			
収容定員充足率(C/D)	114%	123%	133%	117%	117%					
美術専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	6	3	9	6	2	127%		
		合格者数	5	3	5	5	2			
		入学者数(A)	5	3	5	4	2			
		入学定員(B)	3	3	3	3	3			
		入学定員充足率(A/B)	167%	100%	167%	133%	67%			
		在籍学生数(C)	14	14	16	17	14			
		収容定員(D)	12	12	12	12	12			
収容定員充足率(C/D)	117%	117%	133%	142%	117%					
保健体育専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	10	20	18	14	15	128%		
		合格者数	6	7	6	6	7			
		入学者数(A)	6	7	6	6	7			
		入学定員(B)	5	5	5	5	5			
		入学定員充足率(A/B)	120%	140%	120%	120%	140%			
		在籍学生数(C)	26	28	26	26	26			
		収容定員(D)	22	21	20	20	20			
収容定員充足率(C/D)	118%	133%	130%	130%	130%					
技術専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	4	16	3	5	2	80%		
		合格者数	2	4	3	3	1			
		入学者数(A)	2	3	3	3	1			
		入学定員(B)	3	3	3	3	3			
		入学定員充足率(A/B)	67%	100%	100%	100%	33%			
		在籍学生数(C)	12	13	11	11	10			
		収容定員(D)	12	12	12	12	12			
収容定員充足率(C/D)	100%	108%	92%	92%	83%					
家庭科専攻	中学校等課程教育専攻	志願者数	9	9	7	8	10	153%		
		合格者数	5	4	3	6	7			
		入学者数(A)	5	3	3	5	7			
		入学定員(B)	3	3	3	3	3			
		入学定員充足率(A/B)	167%	100%	100%	167%	233%			
		在籍学生数(C)	19	18	15	16	18			
		収容定員(D)	12	12	12	12	12			
収容定員充足率(C/D)	158%	150%	125%	133%	150%					

初等 中学校 英語 専攻 コース	学校 教育 課程 教育 専攻 養成	志願者数	7	11	8	7	5	108%			
		合格者数	5	7	5	6	4				
		入学者数(A)	5	7	5	6	4				
		入学定員(B)	5	5	5	5	5				
		入学定員充足率(A/B)	100%	140%	100%	120%	80%				
		在籍学生数(C)	25	25	25	25	23				
		収容定員(D)	22	21	20	20	20				
		収容定員充足率(C/D)	114%	119%	125%	125%	115%				
		志願者数	19	32	32	27	40			100%	
		合格者数	8	11	10	10	11				
入学者数(A)	8	11	10	10	11						
入学定員(B)	10	10	10	10	10						
入学定員充足率(A/B)	80%	110%	100%	100%	110%						
在籍学生数(C)	40	40	41	40	42						
収容定員(D)	40	40	40	40	40						
収容定員充足率(C/D)	100%	100%	103%	100%	105%						
志願者数	63	63	64	28	57	105%					
合格者数	22	22	22	17	24						
入学者数(E)	22	22	22	17	22						
入学定員(F)	20	20	20	20	20						
入学定員充足率(E/F)	110%	110%	110%	85%	110%						
在籍学生数(G)	85	88	89	82	85						
収容定員(H)	80	80	80	80	80						
収容定員充足率(G/H)	106%	110%	111%	103%	106%						
志願者数	—	—	—	—	—			平成28年度募集停止、令和6年3月31日廃止			
合格者数	—	—	—	—	—						
入学者数(E)	—	—	—	—	—						
入学定員(F)	—	—	—	—	—						
入学定員充足率(E/F)	—	—	—	—	—						
在籍学生数(G)	2	2	1	—	—						
収容定員(H)	—	—	—	—	—						
収容定員充足率(G/H)	—	—	—	—	—						
教育学部 合計	合計	志願者数	404	711	490	466	499	106%			
		合格者数	170	175	176	174	175				
		入学者数(I)	167	168	171	168	170				
		入学定員(J)	160	160	160	160	160				
		入学定員充足率(I/J)	104%	105%	107%	105%	106%				
		在籍学生数(K)	711	705	691	686	690				
		収容定員(L)	660	650	640	640	640				
		収容定員充足率(K/L)	108%	108%	108%	107%	108%				

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
医学部	医学科	志願者数	350	476	585	640	709	100%	
		合格者数	113	113	112	112	112		
		入学者数(A)	112	112	112	112	112		
		入学定員(B)	112	112	112	112	112		
		入学定員充足率(A/B)	100%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数(C)	817	803	800	782	780		
		収容定員(D)	772	772	772	772	772		
収容定員充足率(C/D)	106%	104%	104%	101%	101%				
医学部医学科 合計		志願者数	350	476	585	640	709	100%	
		合格者数	113	113	112	112	112		
		入学者数(I)	112	112	112	112	112		
		入学定員(J)	112	112	112	112	112		
		入学定員充足率(I/J)	100%	100%	100%	100%	100%		
		在籍学生数(K)	817	803	800	782	780		
		収容定員(L)	772	772	772	772	772		
収容定員充足率(K/L)	106%	104%	104%	101%	101%				

<編入学>

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
医学部	医学科	入学者数(2年次)	20	20	20	20	20	
		入学定員(2年次)	20	20	20	20	20	
		入学者数(3年次)						
		入学定員(3年次)						
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
医学部医学科 合計		入学者数(2年次)	20	20	20	20	20	
		入学定員(2年次)	20	20	20	20	20	
		入学者数(3年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(3年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(4年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(4年次)	0	0	0	0	0	

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
医学部	保健学科	志願者数	535	743	455	608	481	104%	
		合格者数	214	208	211	220	221		
		入学者数(A)	210	202	207	213	210		
		入学定員(B)	200	200	200	200	200		
		入学定員充足率(A/B)	105%	101%	104%	107%	105%		
		在籍学生数(C)	834	825	828	842	833		
		収容定員(D)	860	860	860	860	860		
収容定員充足率(C/D)	97%	96%	96%	98%	97%				
医学部保健学科 合計		志願者数	535	743	455	608	481	104%	
		合格者数	214	208	211	220	221		
		入学者数(I)	210	202	207	213	210		
		入学定員(J)	200	200	200	200	200		
		入学定員充足率(I/J)	105%	101%	104%	107%	105%		
		在籍学生数(K)	834	825	828	842	833		
		収容定員(L)	860	860	860	860	860		
収容定員充足率(K/L)	97%	96%	96%	98%	97%				

<編入学>

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
医学部	保健学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	3	2	1	1	1	
		入学定員(3年次)	30	30	30	30	30	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
医学部保健学科 合計		入学者数(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(3年次)	3	2	1	1	1	
		入学定員(3年次)	30	30	30	30	30	
		入学者数(4年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(4年次)	0	0	0	0	0	

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
医学部	心理支援科学科	志願者数	22	27	24	32	30	106%	令和2年度改組 令和5年度完成
		合格者数	11	11	11	11	11		
		入学者数(A)	11	11	10	11	10		
		入学定員(B)	10	10	10	10	10		
		入学定員充足率(A/B)	110%	110%	100%	110%	100%		
		在籍学生数(C)	21	32	42	43	43		
		収容定員(D)	20	30	40	40	40		
収容定員充足率(C/D)	105%	107%	105%	108%	108%				
医学部心理支援科学科 合計		志願者数	22	27	24	32	30	106%	
		合格者数	11	11	11	11	11		
		入学者数(I)	11	11	10	11	10		
		入学定員(J)	10	10	10	10	10		
		入学定員充足率(I/J)	110%	110%	100%	110%	100%		
		在籍学生数(K)	21	32	42	43	43		
		収容定員(L)	20	30	40	40	40		
収容定員充足率(K/L)	105%	107%	105%	108%	108%				

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
理工学部	数物科学科	志願者数	204	307	271	223	211	103%	
		合格者数	87	85	84	91	95		
		入学者数(A)	80	80	78	81	81		
		入学定員(B)	78	78	78	78	78		
		入学定員充足率(A/B)	103%	103%	100%	104%	104%		
		在籍学生数(C)	324	320	321	323	317		
		収容定員(D)	316	316	316	316	316		
	収容定員充足率(C/D)	103%	101%	102%	102%	100%			
	物質創成化学科	志願者数	93	223	187	139	115	101%	
		合格者数	52	62	58	62	55		
		入学者数(A)	52	53	52	53	52		
		入学定員(B)	52	52	52	52	52		
		入学定員充足率(A/B)	100%	102%	100%	102%	100%		
		在籍学生数(C)	217	222	219	217	216		
		収容定員(D)	210	210	210	210	210		
	収容定員充足率(C/D)	103%	106%	104%	103%	103%			
	地球環境防災学科	志願者数	146	252	180	151	219	103%	
		合格者数	66	67	68	71	75		
		入学者数(A)	66	65	65	67	72		
		入学定員(B)	65	65	65	65	65		
		入学定員充足率(A/B)	102%	100%	100%	103%	111%		
		在籍学生数(C)	270	270	271	264	269		
		収容定員(D)	264	264	264	264	264		
	収容定員充足率(C/D)	102%	102%	103%	100%	102%			
	電子情報工学科	志願者数	143	229	156	149	124	106%	
		合格者数	60	59	59	61	63		
		入学者数(A)	59	58	58	58	58		
		入学定員(B)	55	55	55	55	55		
		入学定員充足率(A/B)	107%	105%	105%	105%	105%		
		在籍学生数(C)	238	240	239	237	237		
		収容定員(D)	224	224	224	224	224		
	収容定員充足率(C/D)	106%	107%	107%	106%	106%			
	機械科学科	志願者数	161	307	243	172	199	103%	
		合格者数	84	85	84	87	93		
		入学者数(A)	83	80	80	80	89		
		入学定員(B)	80	80	80	80	80		
		入学定員充足率(A/B)	104%	100%	100%	100%	111%		
		在籍学生数(C)	330	332	333	339	346		
		収容定員(D)	324	324	324	324	324		
	収容定員充足率(C/D)	102%	102%	103%	105%	107%			
	自然エネルギー学	志願者数	55	105	71	129	74	99%	
		合格者数	31	32	32	33	32		
入学者数(E)		30	30	28	31	30			
入学定員(F)		30	30	30	30	30			
入学定員充足率(E/F)		100%	100%	93%	103%	100%			
在籍学生数(G)		120	123	124	121	122			
収容定員(H)		122	122	122	122	122			
収容定員充足率(G/H)	98%	101%	102%	99%	100%				
地球環境学科	志願者数	—	—	—	—	—		平成28年度募集停止、令和5年9月30日廃止	
	合格者数	—	—	—	—	—			
	入学者数(E)	—	—	—	—	—			
	入学定員(F)	—	—	—	—	—			
	入学定員充足率(E/F)	—	—	—	—	—			
	在籍学生数(G)	3	1	1	—	—			
	収容定員(H)	—	—	—	—	—			
収容定員充足率(G/H)	—	—	—	—	—				
知能機械工学科	志願者数	—	—	—	—	—		平成28年度募集停止、令和4年9月30日廃止	
	合格者数	—	—	—	—	—			
	入学者数(E)	—	—	—	—	—			
	入学定員(F)	—	—	—	—	—			
	入学定員充足率(E/F)	—	—	—	—	—			
	在籍学生数(G)	1	1	—	—	—			
	収容定員(H)	—	—	—	—	—			
収容定員充足率(G/H)	—	—	—	—	—				
理工学部 合計	志願者数	802	1,423	1,108	963	942	103%		
	合格者数	380	390	385	405	413			
	入学者数(I)	370	366	361	370	382			
	入学定員(J)	360	360	360	360	360			
	入学定員充足率(I/J)	103%	102%	100%	103%	106%			
	在籍学生数(K)	1,503	1,509	1,508	1,501	1,507			
	収容定員(L)	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460			
	収容定員充足率(K/L)	103%	103%	103%	103%	103%			

<編入学>

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
理工学部	数物科学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	0	1	0	1	0	
		入学定員(3年次)	2	2	2	2	2	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
	物質創成化学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	1	1	1	1	1	
		入学定員(3年次)	1	1	1	1	1	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
	地球環境防災学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	1	2	0	0	0	
		入学定員(3年次)	2	2	2	2	2	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
	電子情報工学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	0	3	0	2	2	
		入学定員(3年次)	2	2	2	2	2	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
機械科学科	入学者数(2年次)							
	入学定員(2年次)							
	入学者数(3年次)	3	2	5	4	3		
	入学定員(3年次)	2	2	2	2	2		
	入学者数(4年次)							
	入学定員(4年次)							
ギ-工学科	入学者数(2年次)							
	入学定員(2年次)							
	入学者数(3年次)	0	2	2	1	0		
	入学定員(3年次)	1	1	1	1	1		
	入学者数(4年次)							
	入学定員(4年次)							
理工学部 合計	入学者数(2年次)	0	0	0	0	0		
	入学定員(2年次)	0	0	0	0	0		
	入学者数(3年次)	5	11	8	9	6		
	入学定員(3年次)	10	10	10	10	10		
	入学者数(4年次)	0	0	0	0	0		
	入学定員(4年次)	0	0	0	0	0		

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
農学生命科学部	生物学科	志願者数	100	171	119	175	160		
		合格者数	44	44	44	46	47		
		入学者数(A)	42	44	40	43	45		
		入学定員(B)	40	40	40	40	40	107%	
		入学定員充足率(A/B)	105%	110%	100%	108%	113%		
		在籍学生数(C)	169	178	177	170	169		
		収容定員(D)	160	160	160	160	160		
	収容定員充足率(C/D)	106%	111%	111%	106%	106%			
	分子生命科学科	志願者数	108	90	155	117	124		
		合格者数	43	46	44	45	46		
		入学者数(A)	41	42	40	44	44		
		入学定員(B)	40	40	40	40	40	106%	
		入学定員充足率(A/B)	103%	105%	100%	110%	110%		
		在籍学生数(C)	171	170	170	175	176		
		収容定員(D)	160	160	160	160	160		
	収容定員充足率(C/D)	107%	106%	106%	109%	110%			
	食料資源学科	志願者数	113	151	129	195	166		
		合格者数	57	62	58	61	61		
		入学者数(A)	55	57	56	58	60		
		入学定員(B)	55	55	55	55	55	104%	
		入学定員充足率(A/B)	100%	104%	102%	105%	109%		
		在籍学生数(C)	229	227	224	229	234		
		収容定員(D)	220	220	220	220	220		
	収容定員充足率(C/D)	104%	103%	102%	104%	106%			
	国際園芸農学科	志願者数	104	160	193	157	143		
		合格者数	55	55	55	57	58		
		入学者数(A)	50	52	54	53	57		
		入学定員(B)	50	50	50	50	50	106%	
		入学定員充足率(A/B)	100%	104%	108%	106%	114%		
		在籍学生数(C)	209	210	217	210	223		
		収容定員(D)	200	200	200	200	200		
	収容定員充足率(C/D)	105%	105%	109%	105%	112%			
	地域環境工学科	志願者数	56	80	104	195	93		
		合格者数	31	33	34	37	35		
		入学者数(E)	30	32	30	36	33		
		入学定員(F)	30	30	30	30	30	107%	
入学定員充足率(E/F)		100%	107%	100%	120%	110%			
在籍学生数(G)		130	130	129	131	132			
収容定員(H)		120	120	120	120	120			
収容定員充足率(G/H)	108%	108%	108%	109%	110%				
農学生命科学部 合計	志願者数	481	652	700	839	686			
	合格者数	230	240	235	246	247			
	入学者数(I)	218	227	220	234	239			
	入学定員(J)	215	215	215	215	215	106%		
	入学定員充足率(I/J)	101%	106%	102%	109%	111%			
	在籍学生数(K)	908	915	917	915	934			
	収容定員(L)	860	860	860	860	860			
	収容定員充足率(K/L)	106%	106%	107%	106%	109%			

<編入学>

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
農学生命科学部	生物学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	0	1	1	0	0	
		入学定員(3年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(4年次)						
	分子生命科学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	0	1	1	2	0	
		入学定員(3年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(4年次)						
	食料資源学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	1	0	1	1	1	
		入学定員(3年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(4年次)						
	国際園芸農学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	1	1	0	0	1	
		入学定員(3年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(4年次)						
地域環境工学科	入学者数(2年次)							
	入学定員(2年次)							
	入学者数(3年次)	0	0	0	0	1		
	入学定員(3年次)	0	0	0	0	0		
	入学者数(4年次)							
農学生命科学部 合計	入学者数(2年次)	0	0	0	0	0		
	入学定員(2年次)	0	0	0	0	0		
	入学者数(3年次)	2	3	3	3	3		
	入学定員(3年次)	0	0	0	0	0		
	入学者数(4年次)	0	0	0	0	0		
	入学定員(4年次)	0	0	0	0	0		

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
人文社会科学研究科	人文社会科学専攻	志願者数	28	23	22	15	25	111%	令和2年度改組 令和3年度完成
		合格者数	25	21	21	12	19		
		入学者数(A)	21	19	19	12	18		
		入学定員(B)	16	16	16	16	16		
		入学定員充足率(A/B)	131%	119%	119%	75%	113%		
		在籍学生数(C)	29	41	45	38	33		
		収容定員(D)	32	32	32	32	32		
	収容定員充足率(C/D)	91%	128%	141%	119%	103%			
	文化科学専攻	志願者数	—	—	—	—	—		令和2年度募集停止、 令和7年3月31日廃止
		合格者数	—	—	—	—	—		
		入学者数(E)	—	—	—	—	—		
		入学定員(F)	—	—	—	—	—		
		入学定員充足率(E/F)	—	—	—	—	—		
		在籍学生数(G)	10	5	2	1	—		
		収容定員(H)	—	—	—	—	—		
	収容定員充足率(G/H)	—	—	—	—	—			
	応用社会科学専攻	志願者数	—	—	—	—	—		令和2年度募集停止、 令和4年9月30日廃止
		合格者数	—	—	—	—	—		
		入学者数(E)	—	—	—	—	—		
		入学定員(F)	—	—	—	—	—		
		入学定員充足率(E/F)	—	—	—	—	—		
在籍学生数(G)		2	1	—	—	—			
収容定員(H)		—	—	—	—	—			
収容定員充足率(G/H)	—	—	—	—	—				
人文社会科学研究科 合計	志願者数	28	23	22	15	25	111%		
	合格者数	25	21	21	12	19			
	入学者数(I)	21	19	19	12	18			
	入学定員(J)	16	16	16	16	16			
	入学定員充足率(I/J)	131%	119%	119%	75%	113%			
	在籍学生数(K)	41	47	47	39	33			
	収容定員(L)	32	32	32	32	32			
	収容定員充足率(K/L)	128%	147%	147%	122%	103%			

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
教育学研究科	教職実践専攻	志願者数	20	21	16	20	23	104%	令和2年度改組 令和3年度完成
		合格者数	20	20	16	20	21		
		入学者数(A)	20	18	16	20	20		
		入学定員(B)	18	18	18	18	18		
		入学定員充足率(A/B)	111%	100%	89%	111%	111%		
		在籍学生数(C)	32	38	34	35	40		
		収容定員(D)	36	36	36	36	36		
	収容定員充足率(C/D)	89%	106%	94%	97%	111%			
	学校教育専攻	志願者数	—	—	—	—	—	0%	令和2年度募集停止、 令和6年3月31日廃止
		合格者数	—	—	—	—	—		
		入学者数(A)	—	—	—	—	—		
		入学定員(B)	—	—	—	—	—		
		入学定員充足率(A/B)	0%	0%	0%	0%	0%		
		在籍学生数(C)	6	2	1	—	—		
収容定員(D)		—	—	—	—	—			
収容定員充足率(C/D)	—	—	—	—	—				
教育学研究科 合計	志願者数	20	21	16	20	23	104%		
	合格者数	20	20	16	20	21			
	入学者数(I)	20	18	16	20	20			
	入学定員(J)	18	18	18	18	18			
	入学定員充足率(I/J)	111%	100%	89%	111%	111%			
	在籍学生数(K)	38	40	35	35	40			
	収容定員(L)	36	36	36	36	36			
	収容定員充足率(K/L)	106%	111%	97%	97%	111%			

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
医学研究科	医科学専攻	志願者数	66	64	59	57	61	101%	
		合格者数	65	64	59	57	60		
		入学者数(A)	65	64	59	57	59		
		入学定員(B)	60	60	60	60	60		
		入学定員充足率(A/B)	108%	107%	98%	95%	98%		
		在籍学生数(C)	269	288	296	300	313		
		収容定員(D)	240	240	240	240	240		
		収容定員充足率(C/D)	112%	120%	123%	125%	130%		
医学研究科 合計	志願者数	66	64	59	57	61	101%		
	合格者数	65	64	59	57	60			
	入学者数(I)	65	64	59	57	59			
	入学定員(J)	60	60	60	60	60			
	入学定員充足率(I/J)	108%	107%	98%	95%	98%			
	在籍学生数(K)	269	288	296	300	313			
	収容定員(L)	240	240	240	240	240			
	収容定員充足率(K/L)	112%	120%	123%	125%	130%			

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
保健学研究科	(博士前期課程) 保健学専攻	志願者数	41	39	29	40	41	106%	
		合格者数	36	36	28	34	36		
		入学者数(A)	32	33	27	32	35		
		入学定員(B)	30	30	30	30	30		
		入学定員充足率(A/B)	107%	110%	90%	107%	117%		
		在籍学生数(C)	70	74	67	64	77		
		収容定員(D)	60	60	60	60	60		
	収容定員充足率(C/D)	117%	123%	112%	107%	128%			
	(博士後期課程) 保健学専攻	志願者数	16	19	22	14	13	105%	
		合格者数	13	13	13	14	12		
		入学者数(A)	13	13	13	13	11		
		入学定員(B)	12	12	12	12	12		
		入学定員充足率(A/B)	108%	108%	108%	108%	92%		
		在籍学生数(C)	56	55	54	53	49		
		収容定員(D)	36	36	36	36	36		
	収容定員充足率(C/D)	156%	153%	150%	147%	136%			
	(修士課程) 心理学専攻	志願者数	—	—	—	11	8	117%	令和6年度改組 令和7年度完成
		合格者数	—	—	—	7	7		
		入学者数(E)	—	—	—	7	7		
		入学定員(F)	—	—	—	6	6		
		入学定員充足率(E/F)	—	—	—	117%	117%		
		在籍学生数(G)	—	—	—	7	14		
		収容定員(H)	—	—	—	6	12		
	収容定員充足率(G/H)	—	—	—	117%	117%			
	保健学研究科 合計	志願者数	57	58	51	65	62	106%	
		合格者数	49	49	41	55	55		
		入学者数(I)	45	46	40	52	53		
入学定員(J)		42	42	42	48	48			
入学定員充足率(I/J)		107%	110%	95%	108%	110%			
在籍学生数(K)		126	129	121	124	140			
収容定員(L)		96	96	96	102	108			
収容定員充足率(K/L)		131%	134%	126%	122%	130%			

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
理工学研究科	(博士前期課程) 理工学専攻	志願者数	127	138	148	139	168	111%	
		合格者数	124	130	142	133	163		
		入学者数(A)	121	124	135	128	155		
		入学定員(B)	120	120	120	120	120		
		入学定員充足率(A/B)	101%	103%	113%	107%	129%		
		在籍学生数(C)	231	251	262	261	283		
		収容定員(D)	240	240	240	240	240		
	収容定員充足率(C/D)	96%	105%	109%	109%	118%			
	(博士後期課程) 機能創成科学専攻	志願者数	2	2	5	4	4	53%	
		合格者数	2	2	4	4	4		
		入学者数(E)	2	2	4	4	4		
		入学定員(F)	6	6	6	6	6		
		入学定員充足率(E/F)	33%	33%	67%	67%	67%		
		在籍学生数(G)	7	5	9	11	14		
		収容定員(H)	18	18	18	18	18		
	収容定員充足率(G/H)	39%	28%	50%	61%	78%			
	(博士後期課程) 安全システム工学専攻	志願者数	7	7	8	11	5	120%	
		合格者数	7	6	8	11	5		
		入学者数(E)	7	6	7	11	5		
		入学定員(F)	6	6	6	6	6		
		入学定員充足率(E/F)	117%	100%	117%	183%	83%		
		在籍学生数(G)	26	27	26	23	24		
		収容定員(H)	18	18	18	18	18		
	収容定員充足率(G/H)	144%	150%	144%	128%	133%			
	理工学研究科 合計	志願者数	136	147	161	154	177	108%	
		合格者数	133	138	154	148	172		
		入学者数(I)	130	132	146	143	164		
入学定員(J)		132	132	132	132	132			
入学定員充足率(I/J)		98%	100%	111%	108%	124%			
在籍学生数(K)		264	283	297	295	321			
収容定員(L)		276	276	276	276	276			
収容定員充足率(K/L)		96%	103%	108%	107%	116%			

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
農学生命科学研究科	農学生命科学専攻	志願者数	45	53	67	54	57	99%	
		合格者数	43	52	66	51	56		
		入学者数(A)	42	48	63	45	50		
		入学定員(B)	50	50	50	50	50		
		入学定員充足率(A/B)	84%	96%	126%	90%	100%		
		在籍学生数(C)	92	90	104	109	98		
		収容定員(D)	100	100	100	100	100		
		収容定員充足率(C/D)	92%	90%	104%	109%	98%		
農学生命科学研究科 合計		志願者数	45	53	67	54	57	99%	
		合格者数	43	52	66	51	56		
		入学者数(I)	42	48	63	45	50		
		入学定員(J)	50	50	50	50	50		
		入学定員充足率(I/J)	84%	96%	126%	90%	100%		
		在籍学生数(K)	92	90	104	109	98		
		収容定員(L)	100	100	100	100	100		
		収容定員充足率(K/L)	92%	90%	104%	109%	98%		

研究科名	専攻名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
地域社会研究科	地域社会専攻	志願者数	5	13	13	6	12	110%	
		合格者数	5	8	8	4	9		
		入学者数(A)	5	8	7	4	9		
		入学定員(B)	6	6	6	6	6		
		入学定員充足率(A/B)	83%	133%	117%	67%	150%		
		在籍学生数(C)	38	39	34	31	35		
		収容定員(D)	18	18	18	18	18		
		収容定員充足率(C/D)	211%	217%	189%	172%	194%		
地域社会研究科 合計		志願者数	5	13	13	6	12	110%	
		合格者数	5	8	8	4	9		
		入学者数(I)	5	8	7	4	9		
		入学定員(J)	6	6	6	6	6		
		入学定員充足率(I/J)	83%	133%	117%	67%	150%		
		在籍学生数(K)	38	39	34	31	35		
		収容定員(L)	18	18	18	18	18		
		収容定員充足率(K/L)	211%	217%	189%	172%	194%		

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考
地域共創科学研究科	地域リノベーション専攻	志願者数	15	17	21	20	23	96%	令和2年度改組 令和3年度完成
		合格者数	12	17	14	19	19		
		入学者数(A)	12	17	11	15	17		
		入学定員(B)	15	15	15	15	15		
		入学定員充足率(A/B)	80%	113%	73%	100%	113%		
		在籍学生数(C)	25	32	34	32	34		
		収容定員(D)	30	30	30	30	30		
		収容定員充足率(C/D)	83%	107%	113%	107%	113%		
	産業創成科学専攻	志願者数	15	18	16	14	14	91%	令和2年度改組 令和3年度完成
		合格者数	15	17	16	13	12		
		入学者数(E)	14	16	15	12	11		
		入学定員(F)	15	15	15	15	15		
		入学定員充足率(E/F)	93%	107%	100%	80%	73%		
		在籍学生数(G)	26	31	35	32	25		
収容定員(H)	30	30	30	30	30				
収容定員充足率(G/H)	87%	103%	117%	107%	83%				
地域共創科学研究科 合計		志願者数	30	35	37	34	37	93%	
		合格者数	27	34	30	32	31		
		入学者数(I)	26	33	26	27	28		
		入学定員(J)	30	30	30	30	30		
		入学定員充足率(I/J)	87%	110%	87%	90%	93%		
		在籍学生数(K)	51	63	69	64	59		
		収容定員(L)	60	60	60	60	60		
		収容定員充足率(K/L)	85%	105%	115%	107%	98%		

[注]

- 1 学生を募集している学部・学科（課程）、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
- 2 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、上の表（〈編入学〉の表ではない方）の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。
- 10 博士前期課程を看護課程として、博士後期課程を医学課程としている博士課程については、博士前期課程と博士後期課程にそれぞれ分けて記入してください。